



東洋圖書公司

租稅論

寶節德氏原著  
矢野常太郎譯述

發兌

三田印刷所

全



寶氏租稅論序

租稅ハ國ノ最大事ニシテ人民ノ貧富産業ノ興廢ノ由  
テ別ル、所ナリ故ニ何國ヲ問ハス經濟ヲ講スルモノ  
最モ此ニ力ヲ用ヒサルハアラス而ノ現今我邦ニ於テ  
ハ之ヲ以テ更ニ尤モ重要ノ題案ト爲ス要スルニ其故  
ニアリ歐米諸國ハ産業隆盛ニシテ資本饒多ナルヲ以  
テ政府ノ歲入ヲ擧テ之ヲ全國ノ財富ニ比較スレハ其  
比率極テ微ナリ我邦ハ然ラズ政府ノ歲入ハ七千六百  
萬圓ニ過キスシテ之ヲ壤地畧ホ同シキ英佛ノ歲入ニ  
比スルニ其十ノ一ノミ何ソ其レ寡少ナルヤ然レトモ  
其歲入ヲ以テ之ヲ人民ノ財富ニ比較スレハ其比率ノ



過大ナル英佛ニ幾倍スルヤヲ知ラス然ラハ則チ歐米  
諸國ニ於テハ租税ノ題案ハ僅カニ經濟世界ノ一小部  
分ヲ占ムト雖モ我邦ニ於テハ殆ト其大半ヲ占ム是レ  
我邦ニ於テ殊ニ勉テ租税ノ理ヲ講究セサル可カラサ  
ル所以ノ一ナリ今ヤ我邦人民ハ未タ參政ノ權ヲ有セ  
ス而シテ僅ニ政務ニ參與スルヲ得ルモノ地方稅收支ノ  
一事ノミ惟此一事ニ係ル言論ハ之ヲ實際ニ施行スル  
ヲ得ルカ故ニ之ヲ彼ノ汎然タル各種ノ政論ニ比ス  
レハ廻カニ人民ノ利害ニ適切ナル者トス然ルニ今ノ  
政事ヲ論スルモノ概チ天下國家ノ事ニ於テ高談放言  
シ却テ租税ノ事ニ到テハ之ヲ視テ以テ瑣事細故ト爲

シテ顧ミサルカ如キ者アリ吾輩之レヲ憂フルヤ久シ  
是レ我邦ニ於テ殊ニ勉テ租税ノ理ヲ講究セサル可カ  
ラサル所以ノ二ナリ頃日矢野常太郎君寶氏租税論ヲ  
譯述シ余ニ序ヲ求メラル乃チ受テ之ヲ讀ムニ全篇ヲ  
七章ニ分チ租税ノ原理ヨリ地方稅ノ得失ニ至ルマテ  
細大論シ盡サ、ルハナシ蓋シ寶氏ノ學ハ彌兒氏ヲ祖  
述シ理論甚タ深遠ナラスト雖モ往々實驗ニ出テ事務  
ニ適切ナル者アリ是レ我邦ノ地方ノ政務ニ參スルモ  
ノ及ヒ初學ノ徒ニ於テ俱ニ甚タ便トナス所ナリ然リ  
ト雖モ我邦ニハ自ラ我邦ノ經濟アリ其英國ニ施シ及  
ヒ之ヲ施ス可キト爲スモノヲ舉テ直ニ之ヲ我邦ニ施



用ス可ラス故ニ余ハ寶氏ノ論ニ於テ取ル所アリ取ラ  
サル所アリ是書ヲ讀ムモノハ精細ニ講究シテ而ル後  
チ能ク其取捨スル所ヲ知ル可キノミ矢野君ノ之ヲ譯  
スルモ亦蓋シ此意ニ外ナラサル可キ也

明治十八年七月

犬養毅撰

### 寶氏租稅論序

一國政府ノ成立ハ人民ノ財産性命ヲ保護スルニ外ナ  
ラス政府ノ成立スルヲアラサランカ何ニヨリテカ財  
産ノ鞏固ヲ冀圖ス可ケン何ニヨリテカ性命ノ安全ヲ  
欲望スルヲ得ン此故ニ社會ノ生存スル限リハ政府ノ  
成立ヲ要スルヲ知者ヲ待ツテ後チニ知ラサル也然レ  
正政府ノ成立ヲ冀圖センニハ租稅ナカル可カラズ政  
府ニシテ租稅ヲ徵收スルアラスンハ政府ノ成立ハ一  
日モ之レヲ望ム可カラサルナリ此故ニ政府ハ租稅ヲ  
徵收スルノ權理アル也人民ハ租稅ヲ負擔スルノ義務  
アル也政府ニシテ租稅ヲ徵收スルアラスンハ政府ノ



職分ヲ盡シタルモノト謂フ可カラス人民ニシテ租税  
ヲ負擔スルコトアラスンハ人民ノ義務ヲ勉メタルモノ  
ト稱ス可カラズ政府其職分ヲ盡シ人民其義務ヲ勉メ  
以テ初メテ完全ナル社會ヲ組織スルヲ得ルナリ然レ  
ニ政府ノ租税ヲ徵收スルニ法則アリ徵收ス可カラサ  
ルノ租税ヲ徵收シ徒ラニ無用ノ事業ヲ起シ敢テ人民  
ノ疾苦ヲ顧ミサルカ如キアラハ人民ハ決シテ之レニ  
服從セサルナリ蓋シ無用ノ土木ヲ興シ害惡ノ事業ヲ  
起スカ如キハ租税徵收ノ主意ニ反スレハナリ人民ノ  
福利ヲ増進スルノ外決シテ他ニ租税ノ徵收ヲ望ム可  
カラサル也嗚呼收税官吏ノ職亦難イ哉余ノ頃日譯ス

ル所ロノ租税論ハ有名ナル先ノ經濟學士ニシテ驛遞  
事務總長ナリシ寶節德氏ノ原著ナリ其議論ノ正確ニ  
シテ且平易ナルハ他ノ租税論中未タ嘗テ望見セサル  
所ロナリ苟クモ此書ヲ通讀スルノ士ハ其身ヲ裨益シ  
國民タルノ職分ヲ誤ラサルニ庶幾カラシ歟

明治二十年五月三日

矢野常太郎誌



凡例

- 一此書ハ「フオセツト」氏ノ著述セル經濟書ヨリ租稅論ノ一卷ヲ拔萃シタルモノナリ此故ニ前卷ト關係スル所ナキニアラサルモ文勢ヲ失ハンコトヲ恐レ敢テ之レヲ消除セス讀者幸ヒニ之レヲ怪シム勿レ其前卷ノ如キハ他日之レヲ譯述スルノ日アル可シ
- 一欄外ニ掲クル所ロノ註解ハ寶氏妻君ノ作爲セル示針ニシテ原書ノ傍ニ掲ケタルヲ譯セシモノナリ蓋シ讀者ニ尤モ便利ナラント信スレハナリ
- 一顯著ナル人名地名ノ譯字ハ率チ先譯ノ例ニ倣フ
- 一文字ノ右旁ニ單柱ヲ施スモノハ人名ニシテ雙柱ヲ施スモノハ國名或ハ都名ナリ
- 一書中一磅ポンドトアルハ我國ノ五圓ニ相當シ一志シリングトアルハ我國ノ二十五錢ニ相當シ一ペニトアルハ我國ノ二錢一厘ニ相當セリ且ニ「ベルセント」トアルハ百分ノ一ト謂フ義ナリ
- 一譯方ハ平易ヲ專一トナシ敢テ裝飾ヲ加ヘス蓋シ原文ノ論旨語勢ヲ失ハンコトヲ恐ルレハナリ而シテ其譯誤ノ如キハ大方ノ教示ヲ待ツ

譯者識



寶氏租稅論目錄

第一章

租稅ノ原理ヲ論ス

第二章

所得稅論

第三章

商品稅及ヒ他ノ間稅

第四章

地稅論

第五章

貧民救助法及ヒ貧民ニ對スル貧民救助法ノ勢力

第六章

地方稅論



第七章

地方税ノ偶事

目錄終

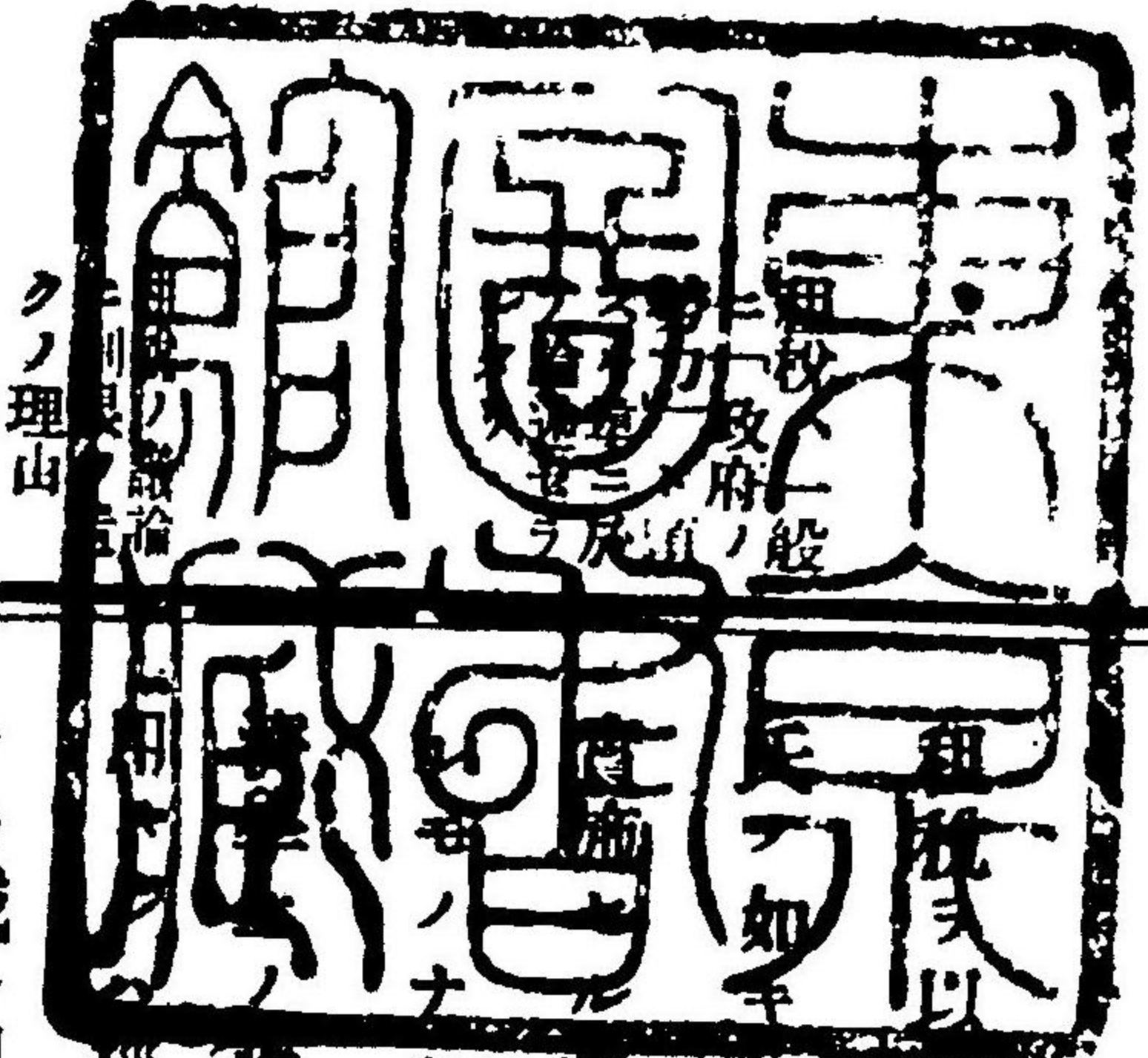
租稅論

英國 フォセット氏 原著  
日本 矢野常太郎 翻譯

第一章 租稅ノ原理ヲ論ス

租稅ノ原理ヲ論ス

租稅ノ原理ヲ論スルニ「政府ノ勢力」ト題スル章ヲ設ケテ之レヲ續述セリ政府ノ法律ハ如何ナルモノニテモ直接或ハ間接ニ一國ノ經濟ニ幾分カ勢力ヲ有スナルコトハ疑フ可カラサルノ眞理ト謂フ可シ是故ニ國會議院ノ條例モ相當ニ經濟學ノ區域ハ實際ニ無限ノモノトナルトナラン此故ニ租稅ヲ論スルニ於テモ或ル制限ヲ置カサルヲ得ス之レカ制限ヲ設ケント欲セハ租稅ノ論述ハ金銀ヲ得ルヲ目的トナス所置ヲ論スルニ外ナラサルトトナス可シ其金銀タルヤ政府カ自己ニ消費スルニ非ラスンハ他人ヲシテ之レカ消費ヲ命令スルモノナリ地方税並ヒニ一般





ノ租税ヲ兼有スル租税ナル文字ハ其中ニ金銀ヲ得ルヲ目的トナス所置ヲ含蓄スルヤ明カナリ何トナレハ租税ハ金錢ヲ得ント欲スルノ外他ニ一ノ目的ヲ有セサレハナリ徵收シタル租税ハ政府ノ支配スル如何ナル目的ニモ消費スルヲ得可シト雖人民ハ決シテ或ル補助ノ目的ヲ達センカタメニ租税ヲ拂フ可キ義務アラサル也例ヘハ火酒ニ租税ヲ賦課スレハ之カタメニ火酒ノ價直ヲ騰貴セシムルカ故ニ酩酊セシムル火酒ノ消費ハ必ス減少ス可シ此故ニ火酒ニ賦課スルノ租税ハ適度ニ飲酒セシムルノ効用アリト謂フヲ得ヘシ然レモ政府ハ飲酒ヲ禁制スルヲ苦慮スルトハ雖酒火酒ニ租税ヲ賦課スルハ歳入ヲ得ント欲スル單一ナル目的ニ外ナラス勿論此租税ニシテ他ノ補助ノ目的ヲ達シ人民ノ道德ヲ改良スルヲアレハ幸福ナル可シト雖酒税ヨリテ徵收シタル歳入ノ必要ナルニ非ラスシテ飲酒ヲ禁遏スルノ目的ヲ以テ此租税ヲ徵收セント思考スルハ狂愚者ノ外他ニ之レアラサル可シ斯ノ如キ問題ヲ精密ニ思考スレハ經濟學ニ關セスシテ道德學ニ關スルノ思考ヲ含蓄スルニ到ルナラン經濟學ハ單ニ富ノ生産、分配及交換ニ或ル格段ナル所置ハ如何ナル勢力ヲ及ホスカヲ説明

租税ハ種々  
ノ結果ヲ得  
スルヲ得ヘ  
シ其中ニ於  
テ吾人ハ唯  
富ノ生産  
分配及交換  
ノ事ヲ思  
考ス可シ

政府ハ租税  
ヲ徵收セサ  
ルヲ得ス

スルニ外ナラス若シ經濟學ニシテ格段ナル所置ハ善ナルカ惡ナルカヲ判定セント欲スルハ是レ經濟學ノ區域ヲ超越セシモノト謂フ可シ此故ニ我輩ハ經濟學上ノ議論ニ於テ直接ニ富ノ生産、分配及交換ニ關係セサルモ間接ニ一國ノ經濟上ニ影響ヲ及ホスノ或ル目的ヲ達セントナス政府ノ所業ハ成ル可ク論述セサルヲ勉メサル可カラス此進路ヲ採用スルキハ種々ノ利益ヲ得ラル、モノナリ政府ハ歳入ヲ抱有スルニアラサルヨリハ決シテ之レカ成立ヲ望ム可カラサルヤ明カナリ例ヘハ政府ノ法律ハ其法律ノ認可スル刑罰ヲ不從順ノ人民ニ實行スルニ非ラズンハ死文ト少シモ異ナル所ナカル可シ此刑罰ヲ實行スルノ人民ハ政府ノ雇人ナリ此故ニ政府ノ雇人ハ自己ノ成就セル義務ノタメニ或ル報酬ヲ要求セサルヲ得ス此故ニ政府ハ其雇人ニ拂ハンカタメニ歳入ヲ所持セサルヲ得サルナリ此歳入ハ租税ノ手段ヲ用非テ徵收スルヲ得ヘシト雖若シ斯ノ如キ手段ヲ使用スレハ歳入ハ租税ニヨリテ得タルモノト謂フ可カラス何トナレハ租税ハ法律ニヨリテ租税ヲ徵收スルノ權理ヲ賦與サレタルモノナリトナリトテ含蓄スレハナリ而シテ其法律ハ如何ナル社會ノ種



租税ノ正道  
ヲ決定スル  
或ル主義ア  
リヤ否

アダム、スミス氏租税ノ  
確言

租税ハ被税  
者ノ負担ニ  
比例セサル  
可カラズ

租税ハ正確  
ナラサル可  
カラズ

族ヨリ租税ハ拂ハル、モノナルカヲ決定スルノミナラス且其種族ノ租税ヲ拂ハサル  
ヲアレハ之レカタメム受クル所ノ刑罰ヲ視示スルモノナリトノヲ含蓄スレハナ  
リ此故ニ直チニ一疑問ノ發出スルアリ日夕或ル格段ナル租税ハ正道ノモノナルカ不  
正道ノモノナルカ人民カ拂フ可キ責任ヲ有スルモノナルカ有セサルモノナルカヲ決  
定スルニ適當ナル或ル主義アリヤ否ヤトノテ是レナリアダム、スミス氏ハ租税ノ主  
義ハ左ノ四則ヨリ引出スルヲ得可キヲ思考セリ租税ノ原則ト稱セラレタル此等ノ  
四則ハアダム、スミス氏ノ言葉ノ儘之レヲ記載ス可シ  
(第一)各政府ノ下ニ棲息スル人民ハ成ル可ク其人民ノ能力ニ比例シテ政府ヲ維持ヒ  
ンカタメニ出費セサルヲ得ス之レヲ再言スレハ人民カ政府ノ保護ニヨリテ得タル所  
得ニ比例シテ各々政府ヲ維持センカ爲ニ出費セサルヲ得サルナリ所謂租税ノ公平ト  
不公平ハ此確言ヲ注意スルト否トニヨリテ成立ス  
(第二)各人民カ拂フ可キ義務ヲ有スル租税ハ正確ノモノタラサルヲ得ス隨意ノモノ  
タル可カラサルナリ徴收ノ時期、徴收ノ方法、拂ハレム分量ハ被税者及ヒ他ノ人民

租税ハ被税  
者ノ負担ニ  
比例セサル  
可カラズ

ニ極メテ明瞭ノモノタラサルヲ得ス若シ然ラスンハ租税ヲ拂フ可キ人民ハ多少集税  
者ノ權内ニ陷ラサルヲ得ス集税者ハ人民ノ愚昧ナルヲ奇貨トシテ夥多ノ租税ヲ徴收  
スルカ否ヲスンハ斯ノ如キ多税ノ恐懼ヲ抱カシメ自己ニ苞苴ヲ出サシムルノ弊害ノ  
ルニ到ル可シ租税ノ不正確ハ集税者ノ高慢及腐敗ヲ獎勵スルモノニシテ集税者ハ高  
慢及腐敗ナル所業ナキトキト雖正自然ニ不人望ヲ免カル能ハサルモノナリ人民カ租  
税ヲ拂フ可キトキニ當リ其正確ナルヲ要スルノ大切ナルトハ各國ノ經驗ヨリ見ユル  
如ク不正確ノ最小度ハ不公平ノ著ルシキ度ヨリモ其害ノ大ナルヲ見テ知ルヲ得ヘシ  
(第二)各租税ハ被税者ニ尤モ便利ナル時限或ハ便利ナル方法ニ於テ徴收セサルヲ得  
サルナリ地代税及家賃税ノ如キモノハ地代及ヒ家賃ノ拂ハレタル片ニ於テ拂ハル可  
キモノナレハ被租者ノ拂フ可キ尤モ便利ナル片ニ於テ徴收セサルヲ得ス或ハ被税者  
カ拂フ可キ金錢ヲ有チタル片ニ於テ徴收ス可キモノナリ贅澤品ノ如キ消費ス可キ物  
品ニ賦課シタル租税ハ結局消費者ニヨリテ拂ハル、モノニシテ且消費者ノ便利ナル  
方法ニヨリテ拂ハル、モノナリ消費者ハ物品ヲ購求ス可キ機會ヲ得ルニ從ツテ徐々



租税ハ國庫ニ收入スルノ金額ニ超シテ人民ノ囊裡ヨリ取去ラサルヲ勉ム可シ

ニ租税ヲ拂フモノナリ消費者ハ物品ヲ購求スルト否トハ自己ノ自由ナルカ故ニ物品税ノタメニ著ルシキ不便利ヲ消費者ノ蒙ムルヲアラハ是レ消費者ノ過チノヨ  
(第四)各租税ハ成ル可ク國庫ニ收入スルノ外人民ノ囊裡ヨリ取り去ラサルヲ勉ムサル可カラズ租税ハ人民ノ囊裡ヨリ左ノ四法ニヨリテ國庫ニ收入スルノ外過利ノ金銭ヲ徴收スルヲ得可レ(第一)租税ヲ徴收センカタメニハ官吏ヲ多ク使用セサルヲ得ス官吏ヲ使用スルニハ月給ヲ要スルヲナレハ之レカタメニ租税ノ大部ヲ消費シ且官吏ニ苞苴ヲ與フルカタメニ人民ニ過利ノ租税ヲ賦課スルヲ得可シ(第二)租税ノ徴收ハ社會ノ勤勞及資本ノ部分ヲシテ夥多ノ生産職業ヨリ最小ノ生産職業ニ轉移セシムルヲ得可シ(第三)租税ノ拂ヒヲ嫌忌シタル人民カ受ケル所ノ身代限並ヒニ他ノ刑罰ノタメニ租税ハ屢ハ不幸ナル人民ヲシテ零落ニ陥ラレメ之レカタメニ其人民ノ資本ヲ使用シテ得ラル可キ利益ヲ社會ニ與フルヲ得サルニ到ルヲアル可シ(第四)集稅者カ屢ハ來リテ檢査ヲナスカタメニ人民ヲシテ不要ナル恐懼震栗ヲ受ケシメ抑壓ヲ蒙ラシムルノ恐レナキニアラサル可シ

四規則ノ短

讀者ノ思考ヲ補助センカタメニ以上ノ租税ノ四規則即チ四主義ヲ單簡ニ左ノ如ク記載ス可シ

- (第一) 租税ハ公平ヲ要ス
- (第二) 徴收スヘキ分量ハ決シテ正確ナル可カラズ
- (第三) 租税ハ尤モ便利ナル時限尤モ便利ナル方法ニ於テ徴收セラレサルヲ得ス
- (第四) 政府ハ成ル可ク被稅者ヨリ徴收セル金額ヲ多ク得サル可カラズ

以上ノ四主義中後ノ三主義ノ大切ナルヲハアダム・スミス氏ノ論述シタル後世人ノ一般ニ許容スル所トナリ又後ノ三主義ヲ論スルノ不要ナルニ到レリ其三主義ハ後章ニ於テ種々ノ格段ナル租税ヲ論スル時ニ當リテ説明ヲ附加スルヲアル可シ然レ此四主義中第一ノモノハ明瞭ニ説明スルヲ以テ必要ノモノトナサ、ルヲ得ス此故ニ我輩ハ租税ノ公平トハ何ヲ謂フカヲ説明セサルヲ得ス而シテ我輩ハ又租税ノ公平ヲ得ル最良法ニ關シテ鑿探スルコトアル可シ  
租税ノ公平トハ普通ニ使用サレタル言葉ナレハ精密ニ説明センヲ甚々困難ナリト謂

最後ノ三主義ノ眞理ハ爭フ可カラズ  
租税ノ公平ハ説明ニ不満足ナリ



結婚者及  
獨身者ニ租  
稅ノ第一主  
體ヲ適合セ  
シメテ之ヲ  
説明スルノ  
困難

ハサルヲ得ス或人ハ租稅ノ公平ヲ得ント欲スレハ社會ノ人民カ其財產ニ比例シテ租  
稅ヲ拂フニヨリテ得ラレ可シト思考スルカ如シ然レモ人民ノ財產ニ從ツテ租稅ヲ賦  
課スルトノコトハ租稅ハ公平ナラサル可カラスト稱スルヨリ明瞭ナル思考ヲ顯ハシタ  
ルモノト謂フ可カラス人民ハ其財產ニ從ツテ租稅ヲ拂ハサル可カラストノ教訓ハ政  
治家ニ補助ヲ與フルコト少ナキハ猶ホ政治家ヲシテ租稅ハ公平ヲ要ストノ確說ニ服從  
ス可シト謂フニ異ナラス決シテ此教訓ハ正當ナル租稅法ヲ組織スルノ補助トナルモ  
ノニ非ラサルナリ一人ノ財產ハ他人ノ財產ト一樣ナルカ否ヤチ決定セント企ツル時  
ニ當リ困難ノ直チニ生出スルハ疑フ可カラサルコト、謂フ可シ甲乙ノ二人アリ各々  
一年ニ一千「ポンド」ノ收入アル田地ヲ所持スル地主ナリト假定ス可シ甲ハ獨身者ニシ  
テ決シテ結婚ヲナスヲ欲セス乙ハ十八ノ小兒ノ外ニ自己ニ關係スル許多ノ人アリト  
ナサンニ若シ斯ノ如クンハ甲ノ財產ハ乙ノ財產ニ同シトハ嚴シキ言葉ヲ用ユルニア  
ラスンハ言難キトナル可シ然レモ乙ハ許多ノ親族ヲ抱有スルモ甲ハ獨身者ナリトノ  
故ヲ以テ甲ノ拂フ可キ義務ヲ有スル租稅ヨリ乙ヲ取除カント欲スルハ租稅法ノ許サ

商品ノ稅ノ  
不課税ノ人  
賦課ハ歳入  
課税ニヨリテ  
得セラル

ル所ロナル可シ實際當時或國ニ於テ流行セル租稅法ニテハ乙ハ甲ヨリ租稅ノ寡少  
ヲ拂フコトヲサスレテ反ツテ夥多ノ租稅ヲ拂フノ傾向ナキニアラス何トナレハ乙ハ  
甲ヨリ許多ノ親族ヲ有スルカ故ニ乙ハ租稅ヲ賦課セラレタル物品ノ多額ヲ拂フ可ケ  
レハナリ例ヘハ此二人カ我國ニ於テ生活スルナラハ乙ハ許多ノ親族ヲ有スルカ故ニ  
甲ヨリハ慥ニ許多ノ茶ヲ購求スルコトナラン又恐クハ許多ノ牛肉、酒類等ヲ購求スル  
ナラン乙ハ又甲ヨリハ廣大ナル家屋ヲ要セサルヲ得ス從ツテ地方稅ノ巨額ヲ乙ヨリ  
徵收スルコトナラン此故ニ商品ヨリ徵收スル租稅ニ關シテハ各己人カ其財產ヲ比例シ  
テ租稅ヲ拂ハシムルノ企テヲナスコト甚タ容易ナルコトヲ得ス此故ニ一己人ハ財產ニ比  
例シテ租稅ヲ賦課スルヲ以テ租稅ノ公平ノ基礎ナリトナサハ賦課シタル租稅ハ過半  
ニハ不公平ノ結合シテ離レサルカ如シ  
然レトモ人或ハ言ハン商品稅ニシテ斯ク不同ナル賦課ヲ別異ノ人民ニ與フルコト前記  
ノ如クナラハ租稅ノ公平ハ所得稅ノ適當ナル整理ニヨリテ回復セサル可カラサル  
ノ必要ヲ感スルニ到ラント此故ニ所得稅ヲ思考セサル可カラサレモ唯愛ニ於テハ嘗



租税ハ政府  
ヨリ得タル  
保率ニ比例  
セサル可カ  
ラズトノ説  
ルノ不満足  
性質

テ要求セシ所得税ヲ徴收セントノ企甲乙ノ二人ヲ其財産ニ比例シテ租税ヲ拂ハシム  
ルニ於テハ餘リ効力ヲ有セサルモノナルコトヲ記載スルヲ以テ必要トス許多ノ人民カ  
所得ノ種類ノ異ナルニ從ツテ所得税ノ割合ヲ異ニセサルヲ得サルコトヲ主張セシトハ  
雖モ決シテ如何ナル關係ニ於テモ同一ナル種類ノ所得ニ租税ノ割合ヲ異ニス可キノ  
道理アル可カラズ一ノ所得ハ獨身者ニ屬シ他ノ所得ハ許多ノ親族ニ屬スルノ故ヲ以  
テ所得税ノ割合ヲ異ニセハ如何ナル人ニテモ之ヲ了解スルニ困ムコトナラン此故ニ租  
税ノ公平ハ人民ノ財産ニ從ツテ租税ヲ賦課スルノ謂ニアラサルヤ明瞭ナリ何トナレ  
ハ之レニヨリテ租税ノ公平ヲ達セント企ツルハ無益ナル目的ナレハナリ  
無數ノ學者カ十分完全ナリト思考スル租税ノ公平ノ他ノ基礎アリ此等ノ學者ハ政府  
ノ歳入ハ人民ノ性命財産ヲ保護スルニ使用セラル、モノナルカ故ニ各人民カ政府ノ  
歳入ニ仕拂フ全額ハ政府ノ保護ヨリ得タル利益ニ比例セサルヲ得サルコトヲ確定セリ  
然レモ此方法ニヨリテ租税ノ公平ヲ得可キモノトナセハ保護セラレタル財產ニ租税  
ヲ賦課スルノ必要ナルノミナラス且社會ノ人民ノ上ニ人頭税ヲ賦課スルヲ以テ必

アダム、スミス  
ハ不透明ナル  
ハ其言中ニ  
租税ハ所得  
ニ比例シテ  
シテ又拂フ  
可キ能力ニ  
比例セサル  
ノ意味ヲ含  
ム

要トナサ、ルヲ得ス各人民ノ性命ハ其人民ニ取リテハ或ル價直ヲ有スルモノナルカ  
故ニ人民ノ身体ヲ保護セシカタメニ政府ハ社會ノ各人民ノ上ニ或ル利益ヲ與ヘタル  
モノト謂フ可シ然レモ人頭税ヲ賦課スルカ如キハ明カニ誤謬ノモノナラン此故ニ租  
税ノ公平ヲ得ント欲スル此企テハ如何ニモ適當ノ如ク見ユレモ嚴密ニ思考スルノ價  
直殆ント之レアラサルナリ  
アダム、スミス氏ハ慥カニ或ル格段ナル場合ニ於テ租税ノ公平ハ得ラル可キヤ否ヤ  
ヲ決定スルノ企テヲ思考セサルモノ、如シ氏ノ言語ハ外面ヨリ望見スレハ明瞭ナル  
カ如クナレモ時トシテハ正確不變ノ意味ヲ顯ハス能ハサルコトナキニアラス氏ノ言ハ  
左ノ如シ「各政府ノ下ニ棲息スルノ人民ハ成ル可ク其人民ノ能力ニ比例シテ政府ヲ  
維持センカ爲ニ補助セサルヲ得ス之レヲ再言スレハ人民ハ政府ノ保護ヲ受ケタル所  
得ニ比例シテ政府ノ維持ノ爲ニ補助セサルヲ得ス」各租税ノ組織ハ此根本ノ主義ヲ  
基礎トナサ、ル可カラサルコトヲ反覆論述セリ我輩ハ氏ノ如キ有名ナル記者ニハ常ニ  
尊敬ヲ表スルモノナレモ氏ノ使用セル此言ヲ精密ニ解剖スレハ租税ノ第一主義ハ明



アダム、スミス  
ハ困窮ニシ  
ス氏ノ言  
ハ不立  
ナリ  
茶  
ハ困窮ニシ  
ス氏ノ言  
ハ不立  
ナリ

瞭ナラサルノミナラス實用ノ目的ヲ達セント欲スルハ無用ノモノタルヲ見出ス可キ  
ヲ信スルナリアダム、スミス氏ハ第一ニ政府ノ下ニ棲息スル人民ハ其人民ノ能力ニ  
比例シテ政府ヲ維持センカ爲ニ補助セサル可カラサルヲ確定セルトヲ觀察スルニ  
難カラス而シテ氏ハ租税ノ第一主義ノ此記載ヲ一層明瞭ナラシメンカタメニ別異ノ  
言葉ニ於テ其主義ヲ説明シタルトヲ宣言セリ何トナレハ氏ハ人民ノ能力ニ比例シテ  
政府ヲ補助スルトハ「政府ノ保護ヲ受ケタル所得ニ比例シテ政府ヲ補助スル」トノ  
ニ外ナラサルヲ説明スレハナリ第一主義ノ此二様ノ記載ニシテ或ル精密ナル意味ア  
リトナサハ此二様ノ記載ハ同一ノ意味ニアラスシテ全ク別異ノモノヲ意味スルト明  
カナリ

拂フ可キ能  
力ハ所得ニ  
比例シタル  
モノトモ  
ス可カラ  
ス

ニ一疑問ノ直チニ發出スルアリアダム、スミス氏ハ「拂フ可キ能力」ト謂フ言ヲ以テ  
如何ナル意味ヲ顯ハサシムルトヲ欲スルカ「拂フ可キ能力」ハ人間ノ抱有スル富ノ全  
額ニヨリテ算定スルヲ得可キカ若シ斯ノ如クンハ一年ニ五十「ポンド」ノ所得ヲ有ス  
ルノ人民ハ一年ニ百「ポンド」ノ所得ヲ有スルノ人民ノ半額ノ租税ヲ拂ハサル可カラ  
ス此組織ハ果シテ正當ナルモノナリヤ否ヤヲ論述スルニ及ハス唯「拂フ可キ能力」ト  
謂フ言ニハ往々別異ノ意味ヲ附着セシムルヲ得可シトノトヲ示視スルヲ以テ必要ト  
ス而シテアダム、スミス氏ハ正確ニ如何ナル意味ヲ附着セシメテ可ナルヤヲ説明セ  
サルモノ、如シ或人ハ左ノ如ク論述セリ五十「ポンド」ノ所得ニシテ其所持ニ向ツテ  
ハ唯生活ノ必要物ヲ供給スルニ相當スルモノトナセハ其所得ヲ保持スルノ人民ハ租  
税ノ一部ヲ「拂フ可キ能力」ヲ有スルモノト謂フヲ得ストアダム、スミス氏ハ恐ラク  
ハ斯ノ如キ思考ヲ度外視シテ顧リミサルモノ、如シ此故ニ氏ノ説ニ於テハ租税ノ公  
平法ヲ完全ナラシメンカタメニハ一年ニ百「ポンド」ノ所得ヲ有スルノ人民ハ一年ニ  
五十「ポンド」ヲ有スルノ人民ヨリハ二倍ヲ政府ノ歳入ニ拂ハサル可カラストナセハ



アドム、スミス氏ノ言ハ公平法ノ基礎ヲ備ヘ  
商品税ハ拂フ可キ能力ニ比例シテ賦課スルハス

則チ可ナラント假定スルモノ、如シ此説忍ラクハ氏ノ思考スル所ロナル可シ何トナレハ氏ハ氏ノ説ヲ正確ナラシメンカタメニ各人民ハ政府カ人民ヲ保護スル所得ノ全額ニ比例シテ補助セサル可カラストノコトヲ確定シタレハナリ然レモ此事ヲシテアドム、スミス氏ノ主義ノ意味ナリトナスモ或ル格段ナル租税ノ正道ヲ得ルノ手段タル租税ヲ公平ナラシムルノ基礎ヲ備フルヤ否ヤヲ質問スルヲ得可シ我輩チレテ此主義ヲ我國ノ租税法ニ適合セシメテ此主義ノ實利ヲ試験セシム可シ  
商品ニ租税ヲ賦課シテ歳入ヲ得ルノ必要ヲ感スルナラハ租税ノ公平ハ決シテ得フル可キモノニアラサルコトハ既ニ已ニ確定シタリ各人民カ商品ノ上ニ賦課シタル租税ヲ拂フ全額ハ全ク商品ノ消費ニヨリテ規定サレサルヲ得ス決シテ租税ヲ拂フ可キ各人民ノ能力ニ比例シテ規定サル、モノニアラサルナリアダム、スミス氏ノ説明ニ從ヘハ之レカタメニ必ス不公平ヲ成出セサルヲ得ス其不公平ハ直税ニヨリテ得タル歳入ノ部分ヲ整理スルニヨリテ療治スルヲ得サルナリ高尚ナル職業（教師醫師ノ如キモノ）ノ如キ或ル一時ノ原因ヨリ得タル所得ハ地面ヨリ得タル所得ト一樣ナル割合

ニ於テ租税ヲ賦課ス可キヤ否ヤハ争フ可キ疑問タルヲ得可シ然レモ所得税所持者ニシテ所得税ニアラサル他ノ租税ヲ其能力ニ比例シテ拂ハサルノ故ヲ以テ何人タリトモ同種同額ノ兩所得ニ別異ノ租税ヲ賦課セサル可カラスト思考スルモノハ決シテ之レアラサル可シ

以上ノ議論ハアダム、スミス氏ノ租税ノ第一主義ハ或ル格段ナル租税ノ不正ヲ試ロムルノ實用ヲナサ、ルモノナリトノコトヲ顯ハシタルモノナリ實際此點ヲ視示スルコト必要ナル可シ何トナレハ租税ニ關スル夥多ノ誤謬ハアダム、スミス氏ノ此第一主義ヲ基礎トナスモノナレハナリ其謬誤ノ例證ハ所得税ノ整理ニ向ツテナシタル種々ノ議論中ニ屢ハ目撃スル所ロナリ例ヘハ一時ノ原因ヨリ得タル所得ハ永久ノ原因ヨリ得タル所得ト一樣ナル割合ニ於テ租税ヲ賦課サル可キモノニアラサルコトハ屢ハ確定セリ一時ノ歳入ヲ所持スルモノハ永久ノ歳入ヲ所持スルモノト一樣ナル割合ニ於テ租税ヲ拂フ可キ能力ヲ有セサル可シ何トナレハ前者ハ未來ノ出來事ニ對シ之レニ準備センカタメニ後者ヨリハ所得ノ大部ヲ除去セサルヲ得サレハナリトノコトヲ論ス

アドム、スミス氏ノ第一主義ハ租税ノ基礎ニ正道ヲ備ヘ用フコトヲナスモ



ルモノアリ斯クノ如キノ議論ハ誤謬ヲ含蓄セサルヲ得ス若シアダム、スミス氏ノ租  
 税ノ第一主義ニシテ他ノ賦課セラレタル租税ニ適合スルモノナラハ所得税ノ如キ或  
 ル格段ナル租税ニ此主義ヲ適合セシムルモ完全ニシテ相當ノモノト稱ス可シ然レト  
 モ此第一主義ノ一般ノ適合ハ以前ニ陳述セル如ク決シテ出來可キモノニアラス此故  
 ニ必ス或ル租税ト結合シテ離レサル不公平ハ格段ナル一租税ヲ人民ノ能力ニ比例シ  
 テ拂ハサル可カラサルカ如クニ整理センコトヲ企ツルモ決シテ之レカタメニ減少スル  
 ノ望ミアル可カラサルナリ

此議論ヲ説明センカタメニ政府ノ歳入ハ二十「ペルセント」ノ所得税ト茶ノ如キ一般  
 ノ消費品ノ上ニ賦課シタル巨額ノ租税ニヨリテ得ラレタルモノナルコトヲ假定セヨ又  
 爰ニ甲乙ノ二人アリテ一年ニ甲ノ所得ハ五百「ポンド」ニシテ乙ノ所得ハ千「ポンド」  
 ナルコトヲ假定セヨ若シ甲及ヒ乙トシテ小兒ノ一樣ナル數ヲ有ツナラハ甲及乙ハ茶ノ  
 恐クハ殆ント一樣ナル分量ヲ買フナラン而シテ此故ニ甲及乙ト茶ノ税ニ關シテハ租  
 税ヲ拂フ可キ一人ノ能力ハ他人ノ能力ノ二倍ナルニモ拘ハラヌ一樣ナル所得ノ全額

租税ノ組織  
 ニ適合セシ  
 ムタル第一  
 主義ノ不要  
 用ナルコトノ  
 説明

ヲ拂フナラン若シ所得税ニシテアダム、スミス氏ノ第一主義ト精密ナル一致ニ於テ  
 徴收シ甲及乙ノ二人ヲシテ拂フ可キ其能力ニ比例シテ所得税ヲ拂ハシムルコトアルモ  
 租税ノ不公平ハ明カニ療養サル、ヲ得サルナリ茶税ト結合セル此不公平ヲ除去セン  
 カタメニハ最小ノ所得ヲ所持スル人ニ或ル辨償ヲナスコト必要ナラン而シテ此故ニ所  
 得税ノ最小額ヲ一年ニ五百「ポンド」ノ所得ヲ所持スル人ヨリ徴收セサルヲ得ス何ト  
 ナレハ其人ハ一千「ポンド」ノ所得ヲ所持スル人ヨリハ茶税ニ所得ノ大部ナル割合ヲ  
 拂ヘハナリ我輩ハ實ニ租税ノ賦課ヲ整理スル斯ノ如キ企ハ決シテ完全ナル公平ヲ生  
 スル能ハサルヲ許容スルモノナリ然レモ唯斯ノ如キ進路ヲ採用スルニヨリテノ租  
 税ノ公平ニ近接スルヲ得可シ此故ニアダム、スミス氏ノ租税ノ第一ノ規則ハ或ル成  
 立セル租税法ノ下ニ於テ或ル格段ナル租税ニハ適合ス可カラスト雖モ然レモ此主義  
 ヲ左ノ方法ニ於テ顯ハセハ其真正ナルコト疑フ可カラス其方法トハ各人民カ租税ニ於  
 テ拂フ全額ハ政府ノ歳入ヲ補助ス可キ人民ノ能力ニ比例セサルヲ得ストハ、是レナ  
 リ

第一主義ノ  
 真正ナル記  
 載



租税ノ公平  
ハ近接シテ  
得ラル可シ

我輩カ今種々ノ格段ナル租税ノ上ニナサント欲スル議論ニ於テ租税ノ第一主義ノ説  
明セント欲スル租税ノ公平ハ決シテ完全ニ了得スル能ハサルヲ顯ハスナル可シ然  
レモ租税ノ公平ハ一種族カ一國歳入ノ部分ト必ス結合セル租税ノ不公平ヨリ困難セ  
ル不利益ヲ辨償センカタメニ其種族ニ或ル他ノ租税ニ關シテ或ル利益ヲ賦與スル  
ニヨリテ近接シ得可キハ疑フ可カラサルコト信スルナリ

一時ノ所得  
ハ永久ノ所得  
ノ如クニ  
租税ヲ賦課  
ス可キモ  
ナルヤ否

第二章  
所得稅論  
インカム・タックス

別章ヲ設ケテ所得稅ヲ論スルヲ我輩ノ尤モ冀望スル所ナリ此所得稅ノ徵收及所得  
稅ノ出來事ト結合セル種々ノ疑問ニ關シテハ今日ト雖モ猶經濟學者中紛々トシテ議  
論ノ一致スル所アラサルカ如シ爭論ノ重要ナル一點ハ一時ノ原因ヨリ興ル所ノ所  
得ハ永久トシテ思考スルヲ得可キ所得ノ如ク同一ナル割合ニ於テ收稅サル可キモ  
ナリヤトハ是レナリ此疑問ニ關シテ記述セシ最多數ノ人民ハ同一ノ割合ニ於テ賦  
課ス可カラサルモノトナシ自己ノ職掌ニヨリテ一年ニ一千「ポンド」ノ所得ヲ得タル  
狀師ハ陸地ヨリ一年ニ一千「ポンド」ノ所得ヲ得タル地主ノ如クニ高キ所得稅ヲ賦課  
ス可キモノニアラストノ甚タ決定セル説ヲ主張スルヤ疑フ可カラサルナリ此説ヲ支  
持センカタメニ主張セル議論ハ二種類ニ分離スルヲ得可シ其第一種類ハ或ル算理ヲ  
基礎トシ他ノ一種類ハ租税ノ原理ニ訴フルモノ、如シ此故ニ我輩ヲシテ第一ニ算術  
上ノ思考ヨリ支持セラレタリト想像セシ議論ヲ思考セシム可シ



高尚ナル職掌ニヨリテ得ラル可キ人民ノ所得ハ或ル年數間ノ所得トシテ思考スルヲ得ヘシ此故ニ或ル永久ノ原因ヨリ一年ニ所得ノ一千「ポンド」ヲ得ル人民ハ或ル年數間ニ一千「ポンド」ノ年金ヲ得ル人民ヨリハ多額ノ所得稅ヲ賦課セサル可カラサルヲ主張セリ此議論ヲ説明センカタメニハ我輩其方法無量ナルヲ想像スルヲ得可シ第一ニ此疑問ヲ純粹ノ算術上ノ疑問トシテ思考レ然ル後ニ年金ヲ領收スル人民ノタメニ主張サレタル議論即チ年金領收者ハ永久ノ所得ヲ所持スル人ト一様ナル割合ニ於テ徵收セラレタル租稅ヲ拂フニ適當セサルモノナルトノヲ基礎セル議論ヲ思考スルハ尤モ便利ナルヲナラン

算術上ノ議論ハ尤モ明瞭ニ凡例ニヨリテ説明サル、ヲ得ルナラン今利子ノ流行セル割合ハ三「ベルセント」ニシテ甲及乙ノ二兄弟カ各々其父ヨリ二万「ポンド」ヲ世襲セリト假定セヨ甲ハ自己ノ金錢ヲ元金トナセリ而シテ其利子ノ割合ハ三「ベルセント」ナルカ故ニ甲ハ一年ニ六百「ポンド」ノ永久ノ所得ヲ得ルナル可シ乙ハ二万「ポンド」ヲ出タシテ生涯ノ間永續スル千二百「ポンド」ノ年金ヲ購求セリ而シテ所得稅ハ一「ポ

ド」ニツキ一「セルリング」(二十「セルリング」)ナリト假定ス可シ租稅徵收ノ現行法ニ從ヘハ甲ハ一年ニ三十「ポンド」ヲ拂ヒ乙ハ一年ニ六十「ポンド」ヲ拂フナラン然ルキニ疑問ノ生出スルアリ曰ク甲及乙ハ各々財產ノ一様ナル額高ヲ所持スルヲチ思考スレハ此租稅法果シテ公平ナルモノナリヤ否ヤトノト是レナリ此疑問ニ答ンカタメニ第一ニ所得稅ハ一様ニシテ永久ノ租稅ナルヲ想像ヒシム可シ而シテ政府ハ此租稅ヲ賦課スルヲ欲望スルヲト想像セシム可シ假説ニヨリテ乙ノ生涯ノ間一年ニ一千二百「ポンド」ノ年金ハ精密ニ三「ベルセント」ニ於テ永續スル一年ニ六百「ポンド」ノ年金ノ價直ニ一様ナルヲハ充分明カナリト謂フ可シ何トナレハ此年金ハ孰レモ二万「ポンド」ノ仕拂金ニヨリテ得ラル可ケレハナリ然レモ若シ所得稅ニシテ永久五「ベルセント」ノ一様ナル割合ニ於テ確定セラル、ナラハ甲ノ二万「ポンド」ハ永久一年ニ三十「ポンド」ノ所得稅ヲ拂ハル、ナラン何トナレハ甲ハ其二万「ポンド」ヲ永久年金ノ形体ニ於テ拂ヒタルモノト想像シタレハナリ然レモ乙ノ二万「ポンド」ハ乙ノ生涯ノ間一年ニ唯六十「ポンド」ヲ拂ハハ可ナルヲナラン何トナレハ一年ニ一千二百「ポンド」ノ乙ノ年



金ハ乙ノ死去ト共ニ失フモノナレハナリ若シ甲及乙カ各自ニ保有セル一万「ポンド」ノ上ニ所得税ヲ拂ハント欲スレハ甲及乙ハ政府ニ精密ニ一様ナル額高ヲ拂フナラシ何トナレハ乙ノ生涯ノ間永續ス可キ一年ニ六十「ポンド」ノ年金ノ現價ハ一年ニ三十「ポンド」ノ永久ノ年金ノ價直ト一様ナルモノナラサルヲ得ヌ何トナレハ此等ノ年金ハ現在ノ價直ニ於テ一様ナルコトハ既ニ假定セラレタレハナリ此故ニ所得税ニシテ永久ニシテ且一様ノモノナリシナラハ限リアル年數ノ間年金ノ如キ一時ノ所得ハ永久ノ所得ノ如ク同一ナル割合ニ於テ賦課セラレサル可カラサルコトハ算術上ノ基礎ノミニテモ望見スルヲ得可シ以上ノ凡例ニ於テ永久ノ所得ハ一時ノ所得ノ如ク一様ノ割合ニ於テ賦課セラル、モノナリト想像セシキハ然ルキニ甲及乙ハ各々其父ヨリ世襲セシ二万「ポンド」ノ上ニ賦課セラレタル所得税ヲ拂ハンニハ一様ナル額高ヲラサル可カラサルコトナラン此整理ハ正當ニシテ公平ノモノナルナラン何トナレハ乙ハ一時ノ年金ニ於テ金錢ヲ拂ヒタリトノ故ヲ以テ永久ノ年金ヲ得ンカタメニ金錢ヲ拂ヒタル甲ヨリハ何故ニ些少ノ所得税ヲ拂ハサル可カラサルヤ之レニ對シテ確定シ

若シ所得税ニシテ永久ノ所得ハ一時ノ所得ノ如ク一様ノ割合ニ於テ賦課セラル、モノナリト想像セシキハ然ルキニ甲及乙ハ各々其父ヨリ世襲セシ二万「ポンド」ノ上ニ賦課セラレタル所得税ヲ拂ハンニハ一様ナル額高ヲラサル可カラサルコトナラン此整理ハ正當ニシテ公平ノモノナルナラン何トナレハ乙ハ一時ノ年金ニ於テ金錢ヲ拂ヒタリトノ故ヲ以テ永久ノ年金ヲ得ンカタメニ金錢ヲ拂ヒタル甲ヨリハ何故ニ些少ノ所得税ヲ拂ハサル可カラサルヤ之レニ對シテ確定シ

割合ニシテ永久ノ所得ハ一時ノ所得ノ如ク一様ノ割合ニ於テ賦課セラル、モノナリト想像セシキハ然ルキニ甲及乙ハ各々其父ヨリ世襲セシ二万「ポンド」ノ上ニ賦課セラレタル所得税ヲ拂ハンニハ一様ナル額高ヲラサル可カラサルコトナラン此整理ハ正當ニシテ公平ノモノナルナラン何トナレハ乙ハ一時ノ年金ニ於テ金錢ヲ拂ヒタリトノ故ヲ以テ永久ノ年金ヲ得ンカタメニ金錢ヲ拂ヒタル甲ヨリハ何故ニ些少ノ所得税ヲ拂ハサル可カラサルヤ之レニ對シテ確定シ

タル道理一モ之レアル能ハサレハナリ然レモ若レ一時ノ所得ニシテ永久ノ所得ヨリハ低度ノ割合ニ於テ租税ヲ賦課サル、トアラハ甲ノ上ニ損害ヲ蒙ルコト實ニ疑フ可カラサルナリ假令ハ生涯ノ年金ハ年々二「ベルセント」半ノ所得税ヲ拂フニモ拘ハラズ永久ノ所得ハ五「ベルセント」ノ所得税ヲ拂フトアリト假定セヨ此假定ニ從ヘハ二万「ポンド」ノ上ニ所得税ヲ拂ハンカタメニ乙ハ唯甲ノ半額ヲ拂フノミナラン甲及乙ハ元來各々二万「ポンド」ヲ所持シ而シテ兩人ノ自由ナル嗜好ニ於テ別種ノ放金ヲ撰ヒタリトノコトヲ記憶スレハ甲及乙カ双方拂フ可キ額高ハ何故ニ一様ナル可カラサルカヲ質問スルヲ得可シ此故ニ我輩ハ以上ノ凡例ヲ以テ單一ナルカ如シト雖モ若シ所得税ニシテ永久スルモノニシテ且一様ノモノナラハ一時ノ所得ハ永久ノ所得ノ如ク同一ノ割合ニ於テ租税ヲ賦課セラレサル可カラサルコトハ確乎タル算術上ノ議論ヲ賦與シタルモノナリト思考スルナリ然レモ今論述セル歸結ハ格段ナル假説ヲ基礎トセルモノナリ而シテ同一ナル歸結カ所得税ノ永久ナラス一様ナラサルコト雖モ眞理ニ合スルモノナルカ之レヲ吟味セサル可カラズ



然レモ所得  
税ハ永久ノ  
モノナラス  
又ニ様ノモ  
ノナラス

所得税ニシ  
テ規定セル  
時ノ間永続  
スルモノナ  
ラハ一時ノ  
所得ハ低  
ナル租税  
賦課セラレ  
サレ可カラ  
ス

我國ノ政治家ハ再三再四所得税ヲ以テ一時ノ方便ニ外ナラストナシテ之レヲ即述セ  
リ所得税ノ一時ノ性質ニ關シテノ此主張ニ固有ノ形体ヲ與ヘンカタメニ年々此租税  
ノ永續スルハ格段ナル議パブリックオピニオン院ノ餘例ニヨルモノトナセリ且人民ハ絶ヘス代々ノ出  
納院 尙書ノタメニ所得税ハ此國ノ財政ニシテ其減少ニ差支アラスンハ直チニ之  
レヲ減少セサル可カラサルヲ確證セラレタリ此故ニ所得税ハ決シテ永久ノモノニ  
アラス且一様ノモノニアラス何トナレハ我英國ノ財政法ニ於テ此所得税ノ如ク其性  
質ノ一時ニシテ割合ノ變化スル租税アラサレハナリ此事ヲ心中ニ蓄フレハ上ニ論述  
セル見識ハ維持スルヲ得ス而シテ一時ノ所得ト永久ノ所得トハ最早同一ノ割合ニ於  
テ賦課ス可カラサルモノ、如シ

此點ヲ規定センカタメニ我輩ヲシテ以前ノ例證ヲ再考セシム可シ而シテ所得税ハ五  
「ペルセント」ニシテ五年間賦課セラル、モノナリト想像セシム可シ且又甲ハ其金錢ヲ元金  
トナシ一年ニ六百「ポンド」ノ所得ヲ得乙ハ二万「ポンド」ヲ以テ一千二百「ポンド」ノ生

然レモ所得  
税ハ永久ノ  
モノナラス  
又ニ様ノモ  
ノナラス

涯ノ年金ヲ購求シタリト假定ス可シ此故ニ若シ永久ノ所得及ヒ一時ノ所得ニ一様ナ  
ル割合ニ於テ收税セラル、ナラハ甲ハ所得税ノ永續スル五ケ年間ニ三十「ポンド」ノ  
五倍即チ百五十「ポンド」租税ヲ拂フナランニ乙ハ三百「ポンド」ノ所得税ヲ拂フナ  
ル可シ此賦課法ハ決シテ正當ノモノニアラスト論スルヲ得可シ何トナレハ甲及ヒ乙  
ハ元來財産ノ同額ヲ所持シナカラ唯別異ノ方法ニヨリテ金錢ヲ拂ヒタリトノ故ヲ以  
テ何故ニ乙ハ甲ノ二倍ノ所得税ヲ拂ハサル可カラサルヤ少シモ其理由ヲ見出スル能  
ハサレハナリ此故ニ若シ所得税ニシテ我輩ノ五年間ト假定シタルカ如ク限リアル時  
限ノモノナラハ一時ノ所得ハ永久ノ所得ヨリハ低下ノ割合ニ於テ租税ヲ賦課セラレ  
サルカ如ク見ユルナリ然レモ經驗ヨリシテ思考スレハ所得税ノ續ク可キ時限ハ近接  
セル精密ヲ以テスルモ視示スルヲ得可カラサルヲ證明セリ此故ニ此不正確ノタメ  
ニ租税ハ元來定メタル時限ヨリハ長ク續カシムルヲナカル可シトノ假説ヲ基礎トシ  
テ或ル公平ナル整理法ヲ組織セント欲スルヲ決シテ出來可カラサルニ到レリ試ロ  
ミニ我輩ヲシテ斯ノ如キ整理法ヲ我國ニ採用シ之レカタメニ起リタル結果ハ如何ナ



我英國ニ於テ別製ノ割合ヨリ起リタル結果

ルモノナルカヲ望見セシム可シ

一千八百五十四年ニ於テ我カ出納尙書ハ確乎トシテ所得税ハ徐々ニ減少セラル、ナラン而シテ一千八百六十年ニ到レハ全ク廢止セシムルナラントノヲ明言セリ此場所ニ於テハ今記載セシ場合ト精密ニ同一ナル場合ヲ顯ハシタルモノト謂フ可シ何トナレハ我輩カ以前ニ論述セシ凡例ヲ再考シ甲及ヒ乙ノ二兄弟カ一千八百五十四年ニ於テ各々一萬「ポンド」ヲ所持スルニ到リタリト假定スルヲ得可ケレハナリ甲ハ二萬「ポンド」ヲ元金ニ拂ヒ一年ニ六厘「ポンド」ノ永久ノ所得ヲ得タルモ乙ハ二萬「ポンド」ヲ以テ一千二百「ポンド」ノ生涯ノ年金ヲ購求セリ此故ニ一時ノ所得ニシテ永久ノ所得ト同一ノ割合ニ於テ賦課サル、モノナラハ乙ハ甲ヨリ所得税ノ二倍ヲ拂ハサルヲ得サルヲナラン今若シ所得税ニシテ六ヶ年ノ後ニハ消滅スルヲ正確ナル唯一時ノ賦課ナリシナラハ乙ハ自己ノ所得ハ甲ノ財産ト同一ナル額高ヨリ得タルモノナレハ甲及ヒ乙ハ所得税ノ同額ヲ拂ハサル可カラサルナリト論スルモ敢テ不當ノヲト謂フ可カラス且又乙ハ甲及ヒ乙カ所持セル二萬「ポンド」ノ上ニ所得税ヲ拂ハント欲スレハ

二人ハ同一ナル租税ノ額高ヲ拂フナラン然レモ一時ノ所得ヲシテ永久ノ所得ト同一ノ割合ニ於テ賦課セラル、ナラハ乙ハ甲ノ二倍ノ租税ヲ拂ハサルヲ得サルヲナラント論スルヲ得ヘシ

所得税ハ必ラス一千八百六十年ニ於テ廢止セラル、モノナラントノヲ信スルノ人々ハ今乙ノ宣言セル議論ニ答フルト甚々困難ナルヲ見出スルナル可シ然レモ一時ノ所得ノタメニ斯ノ如ク論述セル議論ヲ許容スレハ其結果ハ如何ナルモノトナル可キ乎一千八百六十年ノ曙光既ニ來ルモ所得税ハ決シテ消除セラレス又減少セラレサルナリ實ニ減少セサルノミナラス之ニ反シテ大ニ増加スルニ到レリ此故ニ我輩ハ若シ一千八百五十四年ニ於テ我カ政治家カ所得税ハ唯六ヶ年ノ間永續スルモノナリトノ假定ヲ信シ凡テ一時ノ所得ノ資本ヲ集合シ財産ノ額ニシテ同一ナラハ例ヒ別異ノ放金ヲナスト雖モ所得税ノ同一ノ額高ヲ拂ハサル可カラサル如ク所得税ヲ整理スルアラハ公平ノ整理ヲ得ル能ハサルノミナラス之レニ反シテ大害ヲ永久ノ所得ノ所持者ニ蒙ラシムルモノナルヲ主張スルモノナリ他ノ例證ニヨリテ斯ノ如キノ整理法

所得税永続  
中限ノ不正  
確ナルカ  
メニ一時ノ  
所得ト永久  
ノ所得ト久  
間ニ公平ナ  
ル整理ヲ妨  
害ス



企テラレタ  
ル整理法ヨ  
リ起ル弊害  
ノ例證

ヨリ起ル所ロノ害惡ヲ一層明瞭ニ説明スルヲ得可シ  
兄弟ノ一人ナル乙カ二万「ポンド」ノ世襲金ヲ以テ六ヶ年間永續ス可キ四千「ポンド」ノ  
年金ヲ購求シタリト假定セヨ他ノ兄弟ナル甲ハ二万「ポンド」ヲ資本金トナシ一年ニ  
六百「ポンド」ノ永久ノ所得ヲ得タリ又一千八百五十四年ニ於テ所得稅ハ五「ベルセン  
ト」ニシテ此租稅ノ一千八百六十年ニ於テ廢止セララル、マテハ同額ニテ變化セサルモ  
ノナリシトノ「イ」ヲ假定セシム可シ若シ永久ノ所得ニシテ一時ノ所得ノ如ク同一ノ割  
合ニ於テ租稅ヲ賦課セララル、モノナラハ甲ハ此六ヶ年ノ間所得稅トシテ百八十一「ボン  
ド」拂フ「イ」ナラン然ルニ乙ハ四千「ポンド」ノ年金ヲ買ヒタルカタメニ一千二百「ポンド」  
ノ所得稅ヲ拂フ「イ」ナラン所得稅ニシテ元來定メタル期限ノ終リニ於テ消滅スル「イ」確  
カナレハ斯ノ如キ結果ハ非常ニ不相當ナル「イ」ハ決シテ疑フ可カラヌ前既ニ甲及ヒ乙  
ハ各々二万「ポンド」ヲ世襲セシカタメニ租稅ハ彼ニ厚クシテ此レニ薄キ「イ」アル可カ  
ラサル「イ」ヲ論述セリ此故ニ一見スレハ甲及ヒ乙ハ唯一年ニ卅「ポンド」ヲ拂ハサル可  
カラサルカ如シ之レカタメニ乙ノ所得ハ八分ノ七「ベルセント」ノ租稅ヲ賦課セヨル

所得稅ハ永  
久ノモノト  
思考セサル  
可カラヌ

「イ」ナラン斯ノ如キ整理法ノ公平ヲ得ルハ所得稅ヲシテ全ク規定セル期限ニ消滅セ  
シムルニヨルナリ然レ「レ」經驗ノ証明スル所ロニテハ此租稅廢棄ノ期限ハ決シテ正確  
ニ先見ス可カラサルモノ、如シ何トナレハ一千八百六十年ノ到着シタリシ「イ」ニ所得  
稅ノ放棄ハ永遠ニ持續セシメタレハナリ此故ニ既ニ記述セ「レ」整理法ニ從ヘハ年金ヲ  
購求セシ乙ノ二万「ポンド」ハ全額ヲ合スルモ所得稅ニハ唯百八十「ポンド」ヲ拂ヒタル  
「イ」ナラン然ルニ甲ハ既ニ乙ト同額ヲ拂ヒタル上ニ租稅ノ永續ス可キ期限ノ間一年ニ  
三十一「ポンド」ノ所得稅ヲ拂ハサルヲ得サル「イ」ナラン此故ニ我輩ハ尤モ單簡ニシテ尤  
モ正當ナル企テハ所得稅及ヒ或ル他ノ租稅ヲシテ永久ノモノトナスニ在リト思考ス  
ルモノナリ一國ノ所得ノ上ニ仕拂フ所ロノ金額ハ常ニ不正確ナルモノナルカ故ニ格  
段ナル租稅ノ減少セラル、カ或ハ消滅スルノ期限ヲ前見スルハ如何ナル人ト雖トモ  
決シテ出來可カラサル「イ」ナラン然レ「レ」所得稅ヲ永久ノモノトナシテ思考スル「イ」ハ算  
術上ノ議論ノ全重力ニヨリテ永久ノ所得ト一時ノ所得ノ上ニ賦課シタル割合ニ於テ  
ハ或ル差違ナカ「レ」可カラヌトノ說ニ十分反對スルヲ得可キナリ斯ノ如キ歸結ヲ補助



スル算術上ノ議論アルノミナラス他ノ附從セル道理アリテ同一ノ割合ヲ贊助セシムルヲ得可シ

第一ニ同一ナル所得稅ハ容易ナル勞苦ト微少ナル費用トヲ以テ徵收スルヲ得可シト論述セラル可レ然レモ一時ノ所得ノ資本ヲ集合スルノ企テヲ基礎トシテ整理法ヲ組織スルナラハ必ス之レカタメニ偶交雜厥ノ有様ヲ呈出セサルヲ得ス例ハハ限リアル時限ノ間年金ヲ所持セシ一己人ヨリハ毎年所得稅ノ異ナル額高チ拂ハサルヲ得サルトナラン何トナレハ一時ノ年金ノ資本價直ハ年々減少スルモノナレハナリ鑛山ノ如キ投機ノ資本ヨリ得タル所得ノ資本ノ價直ヲ思考センカタメニ繁雜不確ナル規則ノ變化ヲ設ケサルヲ得ス商業及ヒ高尚ナル職掌ヨリ起ル所得ノ資本ノ價直ヲ算定スルノ困難ナルカタメニ猶ホ多クノ繁雜ナル思考ヲ要スルトナラン例ハハ一年ニ一千「ポンド」ノ高尚ナル職掌上ノ所得ヲ所持スル四十歳ノ狀師ハ一様ナル職掌上ノ所得ヲ所持スル六十歳ノ狀師ヨリハ高キ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セサルヲ得ス前者ノ所得ハ後者ノ所得ヨリハ甚々長ク續クト相違ナカル可シ此故ニ前者ノ資本ノ價直ハ後者ノ資

且彼ノ整理法ハ其レヨリ起ル混交雜ノ行ス可カラサルニ到ル可シ

狀師ト代言人ノ所得ヲ困難スルノ

本ノ價直ヨリハ甚々大ナラサルヲ得ス其他無數ノ困難ヲ容易ニ了得セシムルヲ得可シ狀師ノ所得ハ狀師ノ死去ニ於テ全ク其親族ニ對シテ消失スルモノナリ然レモ代言人カ自己ノ職掌ヨリ得タル所得ハ一部分ハ代言人ノ死去シタル後ニモ其親族ニヨリテ得ラル、トアル可シ何トナレハ其代言人ノ所行ノ評判ヲ世人ニ知ラシムルヲ得可ケレハナリ之ヲ再言スレハ或ル人民カ死去シタル代言人ノ親族ニ或ル年金ヲ拂フ可キ仲間トシテ代言ノ職掌ヲナスコアル可ケレハナリ此故ニ代言人カ職掌上ノ所得ノ資本價直ハ同額ノ狀師ノ資本價直ヨリハ大ナラサル可カラス此故ニ法律ノ一部ヨリ得タル所得ハ其職掌ノ他ノ部分ヨリ得タル所得ヨリハ高キ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セラレサルヲ得サルトナラン此等ノ如キ繁雜セル疑問ヲ定メント欲スレハ租稅ニ附着スル尤モ害惡ナル性質ヲ所得稅ニ與ヘサルヲ得ス何トナレハ所得稅ハ其額正確ナル能ハス且起リ得可キ種々ノ場合ニ於テ所得稅ヲ徵收センカタメニ所得稅ノ徵收者及ヒ委員ノ全体ヲ使用セサル可カラサルノ困難ヲ成出シ之レカタメニ租稅徵收ノ費用及ヒ不便利ハ無量ノモノナル可ケレハナリ以上ノ思考ハ所得稅ハ一様ナル割合ニ



於テ賦課セサル可カラストノ吾人ノ確信ヲ強盛ナラシムルモノト謂フ可シ而シテ我輩ハ猶許多ノ信用ヲ以テ此説ヲ維持スルモノナリ何トナレハ主張セラル、ヲ得可キ算術上ノ議論ハ所得稅徵收ノ現行法ニ反セサルノミナラス寧ロ之レヲ補助スルノ傾向アレハナリ

然レモ同一ノ所得稅ノ主義ニシテ或ル算術上ノ議論ヨリ全ク獨立シタル道理ニヨリテ反對スル所口トナレリ我輩カ今思考セント欲スル此道理ハ實際世人ノ一般ニ租稅ノ公平ヲ説明シタリト思考セルアダム・スミス氏ノ第一ノ確言ヲ基礎トナセリ一様ナル所得稅ニ反對スルノ人ハ一時ニシテ且不正確ナル所得ト永久ニシテ且正確ナル所得ト一様ナル割合ニ於テ租稅ヲ賦課セサル可カラサルヤ否ヤハ全ク算術上ノ思考ヨリハ獨立シテ決定セサルヲ得サルヲ主張セリ例ヘハ商賣或ハ高尙ナル職掌ヨリ得タル所得ハ資本金或ハ陸地ノ財産ノ如キ永久ニシテ且正確ナル原因ヨリ得タル所得ヨリハ甚々低下ノ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セサル可カラサルヲ確定セリ何故ニ此區別ヲナサ、ル可カラサルヤト尋ヌレハ之レニ答フルニ一年ニ一千「ポンド」ノ所

以上ノ算術  
上ノ理論ヲ  
リテ獨立シ  
ル整理法ヲ  
助スル論議

得ヲ得ル商賣人並ヒニ高尙ナル職掌ニ關スルノ人ハ同一ノ所得ヲ資本金及ヒ陸地ノ財産ヨリ得タル一己人ノ如ク容易ニ拂フヲ能ハストノ言ヲ以テスレハ充分ナリト思考セリ此事ノ眞實ナルトハ決レテ疑フ可カラズ何トナレハ商賣人並ヒニ高尙ナル職務ニ關スル人ノ所得ハ甚々不正確ノモノニシテ且其人ノ死去スルアレハ直チニ失ハルノ恐レナキニアラス然レニ永久ノ所得ヲ所持スルノ人ハ其人ノ死去スルアルモ其所得ノ親族ニ分配スルヲ以前ト少シモ異ナルヲナカル可シ此故ニ若シ此第一ノ主義ナル各單一ナル租稅ハ各己人カ租稅ヲ拂フ可キ能力ニ比例シテ拂ハサル可カラストノ説果シテ相違スルヲアラスンハ所得稅ハ同一ノ割合ニ於テ賦課ス可カラサルヤ疑フ可カラサルノ眞理ト謂フ可シ

前章ニ於テ此主義ハ理論上ニ於テハ充分眞理ニ合スルモノナリシヲハ既ニ之レヲ説明セリ而シテ此主義ニシテ實際ニ賦課シタル凡百ノ租稅ヲ整理スルニ適當スルモノナラハ此主義ハ租稅ノ公平ヲ確收シタルヤ疑フ可カラサルヲナラン然レモ此主義ニヨリテハ此事ヲ能ス可カラサルトハ既ニ論述シタリ如何ナル整理法アルモ一己人ノ

公平ノ主義  
ハ理論上ニ  
於テハ眞正  
ニ行ハル可  
カラスルモ  
一ノ租稅唯  
ニ適合セシ  
メタルトキ  
ハ甚々不相



シテ其財産ニ比例シテ商品上ノ租税ヲ拂ハシムルヲ能ハサルナラン各人民カ其租税ヲ拂フ所ノ額高ハ其人氏ノ消費スル商品ノ分量ニ關スルモノナリ此故ニ或ル格段ナル租税ヲ各人民カ其財産ニ比例シテ拂ハシムル如クニ整理スルモ租税ノ公平ハ必スシモ得ラル可キモノニアラサルヲ決定セリ例ヘハ所得税ニシテ此規則ニ從ツテ精密ニ整理セラル、ナラハ我國ノ力役者ハ其租税ニ幾分カノ分前ヲ拂フヤ疑フ可カラス我カ現今ノ財政法ニ斯ノ如キ變化ヲ導キタリトナスモ慥カニ租税ノ公平ヲ得ラル可ニシモアラサルナラン力役社會ヨリ所得税ヨリ免除スルハ尤モ正當ノモノト謂ハサルヲ得ス何トナレハ第一ニ力役社會ヨリ所得税ヲ徵收スルハ甚々困難ナレハナリ第二ニ力役社會ハ茶税ノ如キ或ル租税ニ關シテ富豪社會ヨリハ割合ニ巨額ノ租税ヲ拂ヘハナリ通例ニ力役社會ニヨリテ所持セラレタルカ如キ所得ノ上ニ所得税ノ賦課ヲ廢止スルヲハ茶税ノ如キ賦課ト必ス結合セル租税ノ不公平ニ辨償ヲ與フルモノト謂フ可シ此故ニ租税ノ不公平ハ既ニ記載シタル規則ヲ或ル格段ナル租税ニ適合セシムレハ減少セサルナキノミナラハ寧ロ増加スルノ恐レナキニアラサルナリ

租税ノ公平ハ各單一ナル租税ヲ斟酌スルニヨリテヨリハ歳入ヲ全体ノモノトシテ思考スルニヨリテ尤モ善良ニ得ラル、モノナリ若シ或ル租税ニシテ不一様ニ或ル格段ナル種族ノ上ニ蒙シムルヲ見出スレハ之レヲ療養センニハ此租税ヲ或ル錯雜シタル整理法ニヨリテ之レヲ整理センヲ企ツルハ決シテ良策ト稱ス可カラス其租税ノタメニ害ヲ受ケタル格段ナル種族ヲシテ他ノ租税ニヨリテ關係シテ利益ナル位置ヲ賦與スルニヨリテ租税ノ不公平ヲ療養セサル可カラス例ヘハ茶税ハ勞働社會ノ上ニ甚々不相當ニ抑制ヲ蒙ラシムルモノト謂フ可シ然レモ租税ノ此不公平ヲ償ハント欲スレハ茶税ヲシテ一己人カ其財産ニ比例シテ拂ハシムル如クニ公平ナラシメテ各人民ニ辨償ヲ與フルヨリハ所得税ヲ廢止スルヲ如何ナル點ヨリ思考スルモ尤モ願ハシキト謂ハサルヲ得ス茶税ヲシテ多ク公平ナル租税ダラシメント欲スル種々ノ議論ナキニテ例ヘハ茶税ヲシテ其價直ニ比例シテ賦課スルナラハ不公平ノ一原因ハ療養セラル、ヲ得ルヲナラン今日貧民ニヨリテ消費サレタル茶ノ上ニ拂フ所ノ租税ハ茶ノ價直ニ比例シテハ上等ノ茶ノ上ニ拂ハル、租税ヨリハ殆ント三倍ノ割合ニ



相當セリ然レ茶ノ如キ商品ノ上ニ其價直ニ比例シテ租稅ヲ賦課スルコトハ實際ニ行ハル可カラサルコトヲ見出セリ此等ノ茶價比例稅ハ實際茶ノ商賣ニ干渉スル錯雜ナル整理法ヲ保有セルカ故ニ其租稅ハ一見スレハ正當ナルカ如クナレモ其全結果ニ於テハ以前ノ茶稅ヨリハ眞實ニ甚々不利益ナルヲ証明スルモノト謂フ可シ此故ニ我輩ヲシテ所得稅ヲ公平ナラシメンカタメニ一般ニ好ンテ採用セル凡百ノ企テニ對シ一様ナル障害ノ興起スルコト無キヤ否ヤヲ吟味セシム可シ

所得稅ヲ拂ハシメント欲スルニ各人民カ其財産ニ比例シテ之レヲ賦課スルノ企テヲナスアラハ之レカタメニ殆ント疑フ可カラサルノ障害ヲ惹起セスハアラス直チニ一疑問ノ發スルアリ曰ク租稅ヲ拂フ可キ金額ノ或ル度量ヲ供給センニハ如何ンシテ之レヲ爲スヲ得可キ乎トノコト是レナリ斯ノ如キ度量トナスニ所得ノ得ラル可キ源因ノ性質ヲ以テス可カラス何トナレハ殆ント各人民ノ所得ハ別異ノ源因ヨリシテ得ラル、モノナレハナリ人民ノ所得ノ或ル部分ハ永久ニシテ他ノ部分ハ一時ノモノナルヲ得可シ此故ニ一己人ノ全所得ノ唯一部分ヲ思考セテ其人ノ財産ヲ判斷セントスル

各人民ノ所得ノ比例シテ租稅ヲ拂ハシムルノ困難

ハ決シテ出來可カラサルコト謂フ可シ假ヘハ甲ハ陸地ノ財産ニ於テ一年ニ二千「ポンド」ヲ所持スルヲ得可シ之レニ加ヘテ甲ノ職掌ヨリ一年ニ一千「ポンド」ヲ得ルコトヲ得可シ他ノ一己人ナル乙ハ陸地ノ財産ニ於テ一年ニ唯五百「ポンド」ヲ所持スルヲ得可シ然レモ資金ヨリシテ一年ニ一千「ポンド」ノ永久ノ所得ヲ所持スルヲ得可シ同一ナル所得稅ヲ不可トナスノ人口ハ如何ナル道理ニ於テ乙カ一年ニ資金ヨリ得ル所ノ一千「ポンド」ハ甲カ一年ノ職掌ヨリ得ルト想像セシ一千「ポンド」ヨリハ高キ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セサル可カラサルヲ主張スルヤ乙ハ甲ヨリハ多ク貧窮ノ人民ナリ此故ニ乙ハ其歳入ノ一部ニ關シテ租稅ヲ拂フニ甲ヨリハ都合善シトノ故ヲ以テ租稅ノ割合ヲ高カラシメサル可カラストノコトヲ主張スル能ハサル可シ今既ニ論述シタル困難ニ加フルニ所得ノ各種類ニ租稅ノ賦課セサル可カラサル割合ヲ隨意ノ規則ニヨリテ確定スルコト必要ナリ其割合タルヤ絶ヘサル議論トナルコトナラン職掌上ノ所得ニ關シテ一年ニ一千「ポンド」ノ所得ヲ得ル所業ヲナス代言人ハ同一ノ價直ノ所業ヲナス狀師ヨリハ遙カニ富有ノ人ト謂フ可キコトハ既ニ之レヲ陳述セリ何トナレハ代言



人ハ其職掌ノ評判ヲ賣ルカ然ラスンハ其子ニ其評判ヲ殘ス<sup>ト</sup>アルモ狀師ノ所業ハ決  
 レテ他人ニ賣却シ又ハ之レヲ取扱ハシムル<sup>ト</sup>能ハサレハナリ此故ニ若シ所得ノ永久  
 ノ源因ニシテ五「ベルセント」ノ割合ニ於テ租税ノ賦課セラル<sup>ト</sup>アルナラハ如何ナ  
 ル主義ニヨリテ各々狀師及ヒ代言人ノ所得ヨリ徴収セサル可カラサル所得税額ヲ決  
 定スル<sup>ト</sup>得可キ乎我輩其主義ノ見出スルニ苦シムナリ且又永久ノ所得ト一時ノ所得  
 トハ別異ノ割合ニ於テ租税ヲ賦課ス可キ説ニ反シテ論述ス可キ大勢力ヲ有スル他ノ  
 道理アリ所得税ニ對シテ經濟上ノ道理ヨリ議論サル可キ重要ナル反對説ノ一ハ所得  
 税ハ貯蓄ノ上ノ租税ナルカ故ニ用心ヲ失望セシメサル<sup>ト</sup>謂フニアリ單一ナル  
 例証ニヨリ此異説ハ永久ノ所得ヲ一時ノ所得ヨリ高キ割合ニテ租税ヲ賦課セラル<sup>ト</sup>  
 ナラハ益々増加セル勢力ヲ以テ租税ヲ賦課セラル<sup>ト</sup>ニ至ラント<sup>ト</sup>ナリテ証明スル<sup>ト</sup>セ  
 ト謂フヘシ例ヘハ一年ニ三千「ポンド」ノ所得ヲ有シ年々一千「ポンド」ヲ貯蓄スルノ職  
 務ニ關スル人アリト思考セヨ巨五「ベルセント」ノ所得税ハ一時ノ原因ヨリ得タル所  
 得ノ上ニ賦課シ永久ノ所得ヨリ拂フ可キ所得税ハ十一「ベルセント」ナリト假定セヨ貯

現今ノ組織  
 恐クハ最良  
 ナル可シ

蓄セラレタル一千「ポンド」ノ上ニ賦課セラレタル所得税ハ五「ベルセント」ナリ即チ五  
 十「ポンド」ナリ一千「ポンド」ハ五「ベルセント」ノ所得税ヲ拂ノ可キ筈ナレハ別ニ五十  
 「ポンド」ノ所得ヲ用意セサル可カラス此五十「ポンド」ノ所得ノ上ニ一年ニ十「ベルセ  
 ント」ノ所得税ヲ拂ハサル可カラス此故ニ所得税ヲシテ永久ニ續クモ、トナヒハ貯  
 蓄セレ一千「ポンド」ヨリ五千「ポンド」ヲ第一ニ徴収サレ之レ、加ヘテ一年ニ五「ポンド」  
 ノ所得税ヲ引續キテ徴収セラル、ナリ五「ポンド」ノ絶ヘサル年金ノ價直ハ百六十六  
 「ポンド」ナルカ故ニ消費サレシ一千「ポンド」ヨリハ唯五十「ポンド」ノ所得税ヲ徴収ス  
 ルノミナレ<sup>ト</sup>貯蓄サレシ一千「ポンド」ヨリハ二百十六「ポンド」ノ所得税ヲ徴収スルモ  
 ノナリト<sup>ト</sup>イフ望見セラル可シ此等ノ思考及ヒ附加スル<sup>ト</sup>得可キ他ノ思考ハ所得税  
 徴收ノ現行法ハ之ノ變化スルモ決シテ實際利益タラサルモノナリトノ歸結ヲ正確ナ  
 ラシムルモ<sup>ト</sup>謂フ可シ今日徴收スル所ノ所得税ハ今既ニ論述セシ困難ト錯雜トチ  
 避除セルモ<sup>ト</sup>謂フ可シ又或ル租税ト結合セル整理ニシテ眞理ノ精細ナルモ、ナラ  
 ハ租税ノ徴集ハ費用甚々過多ナラサル<sup>ト</sup>得スト<sup>ト</sup>イフ記憶セサル可カラス且若シ整



理ノ錯雜セル手段ニヨリテ此租稅ヲ公平ナラシメント欲スルノ企テヲナサハル可カ  
 ヲサルナラハ之レカタメニ許多ノ實際ノ困難ヲ生出スルヲ確カナルヲナラン其困難  
 タルヤ恐クハ論議ノ種トナルヲナラン而シテ此租稅ノ整理ニヨリテ格段ニ利益ヲ受  
 ケンヲ目的トナス人々ト雖モ多ク不満足ヲ受クルヲナラン例ヘハ所得稅ニヨリテ  
 得ラレタル全額ノ著ルキ部分ハ現今ノ整理法ニテハ最大ノ容易ト最小ノ費用ヲ以  
 テ徵收セラル可シトノヲ記載スルヲ得可シ國債銀行ノ分前及ヒ鐵道ノ分前等ヨリ  
 得タル所得ハ割賦金ヲ賦與スルノ以前ニ全額ヲ拂フカ故ニ一人ノ資本主及ヒ株主ヨ  
 リ租稅ヲ徵收スルノ費用ヲ避除サル、ヲ得可シトノヲ記憶スレハ直チニ此事ヲ理  
 解セラル、ナラン若シ租稅ノ割合ニシテ各人民ノ所得額ノ多少ニヨリテ變化スルモ  
 ノナラハ此整理ヲ永續セシムルヲ出來可カラサルヤ明カナルヲナラン何トナレハ租  
 稅ヲ徵收スルノ以前ニ凡百ノ原因ヨリ各資本主或ハ株主ノ所得ハ幾何ナルカヲ確定  
 スルヲ必要ナル可ケレハナリ

所得稅ノ割合果シテ所得ノ性質ニヨリ變化スルノミナラス且又所得額ノ多少ニヨリ

租稅ノ偶  
 事トシテ  
 偶ノ意味

テ變化スルモノトナセハ租稅ヲ徵收スルノ困難並ヒニ其費用ノ増加スルハ勿論ノ  
 ナルカ故ニ所謂徐々増加ノ所得稅即チ遞次所得稅ノ採用ニ反對シタル強盛ナル議論  
 ヲ生出スルニ到リタリ屢ハ租稅ノ割合ハ各人民所得ノ全額ニヨリテ増加セサル可カ  
 ラサルヲ主張スルモノアリ既ニ論議セシ反對說ノ外ニ所得稅ノ割合ヲ所得額ニ從  
 ツテ徐々ニ増加セシム可シトノ主張ハ此租稅ハ無用心ヲ獎勵スルモノナリトノ反對  
 說ヲ強盛ナラシムルヲ殆ント無量ノヲナラン此遞次増加所得稅ノ主張ハ暗々裡ニ政  
 府カ人民ノ所得ヨリ徵收ス可キ比例ハ其人民ノ貯蓄高ノ直接ノ割合ニ於テ増加セサ  
 ル可カラサルヲ主張スル主義ヲ認可モノナラン此反對說ノ勢力ハ今我輩カ所得稅  
 ノ偶<sup>インシヤンス</sup>事ヲ論議スルニ當リ猶充分ニ理解セラル、ヲナル可シ

所得稅ノ偶事ト稱スル此言葉ハ以前ニ使用セラレサルモノナルカ故ニ之レヲ説明ス  
 ル實ニ必要ノヲナラン凡テ租稅ハ屢ハ租稅ヲ徵收サル、人ヨリ眞實ニ拂ハレサル  
 ハ充分明瞭ナルト謂フ可シ例ヘハ牛肉稅ハ實際牛肉ノ消費者ニヨリテ拂ハル、モ  
 ノナリト雖モ名ノミハ絞乳者ヨリ拂ハル、モノナリ何トナレハ牛肉ノ價直ハ賦課セ



ラレタル租税ノ金額ニヨリテ増加スルモノナレハナリ之レニ同シク商品ノ凡百ノ租  
 税ハタトヒ政府ハ一般ニ商品ノ生産者或ハ商品ノ輸入者ニ租税ヲ賦課スルトハ雖モ  
 眞實ハ消費者ニヨリテ拂ハル、モノナリ此故ニ此等ノ租税ノ偶事ハ消費者ノ上ニ墮  
 落スルモノナリト謂ヘリ此故ニ租税ノ偶事ハ租税ノ虚名ノ拂ヒト眞實ノ拂ヒトヲ區  
 別スルモノナリト思考スルヲ得可シ他ノ例証トシテ陸地ノ上ニ賦課セラル、貧民賦  
 課ノ偶事ハ結局地主ノ上ニ墮落セルモノナリ何トナレハタトヒ斯ノ如キ割合ハ一般  
 ニ農夫ヨリ拂ハル、モノナレモ地代金ハ斯ノ如キ割合ノアラサリシキヨリモ甚々高  
 價トナルトアル可ケレハナリ然レモ閑暇ノアルアレハ其割合ノ或ル増加ハ閑暇ノ永  
 續スル限りハ農夫ノ上ニ墮落ス可シ今記載セシ此等ノ租税ノ偶事ハ追躡スルニ甚々  
 容易ナリ然レモ所得税ノ如キ或ル他ノ租税ノ偶事ニ關シテハ錯雜ニシテ緊切ナル許  
 多ノ疑問ノ生出スルアルナル可シ此等ノ疑問中ノ二三、疑問ヲ我輩ハ今思考スルノ  
 勞ヲ取ラン

所得税ハ資本ヨリ拂ハル、ト或ハ儉約ノ増加ノ手段ニヨリテ貯蓄サル、トニヨリテ

所得税ノ偶  
 事ハ資本ヨリ  
 拂ハル、ト  
 或ハ儉約ノ  
 増加ノ手段  
 ニヨリテ貯  
 蓄サル、ト  
 ニヨリテ

別異ノ結果ヲ興起スルモノナリ此ノ結果ヲ顯ハサンカタメニハ所得税ハ資本ニ關セ  
 ル或ル根本ノ問題ニ折々關係セルモノナルヲ記憶セサル可カラズ第一ノ場合ニ於  
 テハ租税ノ偶事ハ一部分力役社會ノ上ニ墮落スレモ第二、場合ニ於テハ租税ノ偶事  
 ハ租税ヲ拂フ人ヨリハ或ル他ノ人ノ上ニ墮落スルノ恐レアルトナシ此事ノ然ラサル  
 可カラサルノ道理ハ左ノ思考ヨリシテ明瞭ナル可シ一國ノ工業ヲ補助スル所口ノ資  
 本ハ順環シキエレーナングカビタル資本及ヒ固定資本ト名ツクル二部分ヨリ組織セラレタリトナ  
 履ハ以前ニ論述シタリ一國ノ順環資本ハ貸銀ノ拂ハル、所口ノ原因ナリ此故ニ若シ  
 此資本ヲ減少セラル、トアラハ力役社會ニ分賦ス可キ金額ハ最小ノモノタラサルヲ  
 得ス必スヤ些少ナル平均ノ貸銀ヲ受取ルトナラン一國ノ固定資本ハ器械、家蓄及ヒ  
 或ル永久ノ形体ニ於テ成立シ富ノ未來ノ生産ニ補助ヲ與フルトテ目的トセル富ノ各  
 種類ヨリ成立セルモノナリ此故ニ或ル租税ニシテ一國ノ固定資本ヲ減少シ之レカタ  
 メニ器械ノ使用ヲ減少シ有益ナル公共ノ事業ヲ實施スルヲ甚々シク減少スルナラハ  
 其國ノ工業ハ妨害サレ一國富強ノ進歩ハ殘害セラル、トナラン所得税ニシテ迅速ニ



富ヲ蓄積スル邦國ノ資本ヨリ一部分拂ハル、トアラハ其金額ハ固定資本ヨリ拂ハル、ニアラスシテ順環資本ヨリ引去セラル、ナラントハ殆ント正確ノモノト謂フ可シ力役者ノ關係セル所ロニテハ第一ニ所得稅ニシテ固定資本ヨリ拂ハル、モ順環資本ヨリ拂ハル、モ餘リ差違ナキトナル可シ何トナレハ器械及ヒ鐵道ノ如キ固定資本ハ唯力役ニヨリテノミ構造セラル、モノナルカ故ニ些少ノ金額ヲ斯ノ如キ工業ノ上ニ消費スルトアラハ貸銀ハ些少ノ金額ヲ分配セラル、トナル可ケレハナリ此故ニ所得稅ニシテ全額或ハ一部分一國ノ資本ヨリ拂ハル、トアルナラハ拂ハル、所ロノ全体ノ貸銀ハ減少セサルヲ得サルトヲ望見スルヲ得ヘシ此故ニ所得稅ノ或ル部分ニシテ國內ニ使用サル、ヲ得可キ資本ヨリ拂ハル、ナラハ租稅ノ偶事ハ直接ニ力役者ヨリ徵收セラレサルモ一部分ハ力役者ノ上ニ墮落スルヤ疑ヒヲ容レサルナリ此租稅ノ賦課ニヨリテ實際一種族ヨリ他ノ種族ノ上ニ變化スル手術ヲ説明スルト敢テ無益ノトニアラサル可シ

賦課セラレタル所得稅ハ十「ベルセント」ニシテ國中盡ク其租稅ノ半分ハ一人ノ一身

租稅ノ偶事  
ノ變化セラ  
ル、手術ノ

上ノ費用ヨリ節儉シ他ノ半分ハ資本ヨリ拂ヒタリト假定セヨ此假説ニ從ヘハ一年ニ二千「ポンド」ノ全歳入ヲ所持スル一人ナル甲ハ一年ニ二百「ポンド」ノ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セラル、ナラン此故ニ甲ノ眞正ノ利益ハ一千八百「ポンド」ナリ甲ノ一身ノ費用ハ一ケ年ニ一千「ポンド」ナルカ故ニ甲ハ年々自己ノ事業ニ資本トシテ使用スルヲ得可キ八百「ポンド」ヲ儉約スルナル可シ若シ所得稅ノ賦課セラル、トアラリシナラハ甲ノ年々ノ歳入ハ二千「ポンド」ニテアルナラン然レモ我輩ノ假説ニ從ハハ唯十一年ニ二百「ポンド」ノ二分ノ一ヲ消費スルトナラン其二百「ポンド」ハ若シ所得稅ノ廢止セラレタルキハ甲ノ所得ニ添加セラル、所ロノモノナリ此故ニ若シ所得稅ノ賦課セラル、トアラサリシナラハ甲ハ毎年九百「ポンド」ヲ貯蓄スルヲ得ルナラン而レテ此金額ヲ資本トシテ甲ハ自己ノ事業ニ使用スルヲ得可シ此故ニ甲ノ貯蓄スル資本ノ金額ハ年々所得稅ノタメニ二百「ポンド」ヲ減少スルモノト謂フ可シ然レモ順環資本ハ力役者ノ賃金ヲ拂フトニヨリテ使用セラル、カ故ニ所得稅ハ年々甲カ力役者ニ拂フ金額ノ百「ポンド」ヲ減少スルモノト謂フ可シ此故ニ此百「ポンド」ノ金額ハ恰セ



直接ニカ役社會ニヨリテ拂ハレタルカ如ク真正ニカ役社會ニ影響ヲ及ホスヤ疑ヲ容レサルナリ

資本ヨリ拂ハル、所ノ所得稅ノ精密ナル比例ヲ視示スルトハ出來可カラサルト謂フ可レ然レモ所得稅ハ他ノ國ニ於テヨリハ或ル國ニ於テ遙カ廣大ナル程度ニ於テ資本ヨリ拂ハル、トアルハ充分正確ノモノト謂フ可シ之ヲ例センニ印度ノ工業上ノ進歩ハ資本ノ欠亡セルカタメニ退縮セラレタリトノトヲ記載スルヲ得可シ印度ニ於テ資本ノ蓄積ハ非常ニ些少ナルカタメニ所得稅ヲ此國ニ賦課スルトアレハ其國ノ資本ヲ減少セサルヲ得ス之レカタメニ著ルシク其國ノ富ニ影響ヲ及ホサスンハアラサルナリ然レモ英國ニ於テハ斯ノ如キ嚴重ナル結果ヲ生スルノ憂アルトナシ利益ヲ得ルノ目的アル我國工業ノ部分ハ管テ資本ノ欠亡セルカタメニ退縮スルノ恐レアルトナシ我輩カ我國ノ通商及ヒ商業ニ投スル所ノ資本ニ加フルニ我輩ハ常ニ若シ資本ニ向ツテ正確ナル約束アリテ充分返報ヲ得ルニ足ルモノナラハ外國ノ放金ニ向ツテ殆ント無量ノ資本ノ供給スルニ難カラス此故ニ所得稅ハ此國ニ於テ生シタル富ノ全

資本ヨリ拂ハル、租稅ノ分前ハ國ノ異ナレモニヨリテ租稅アリ

額ヲ嚴シク減少スルトナシ何トナレハタトモ所得稅ノ或ル部分ハ資本ヨリ拂ハレタリト雖モ此金額ハ恐クハ固定資本ヨリ除去セラレタルモノニアラスシテ順環資本ヨリ拂ハル、トナル可ケレハナリ而シ又外國ニ投入セラル、資本ノ部分ヨリ拂ハル、トナル可ケレハナリ我輩ハ所得稅ニヨリテ影響サル、モノハ固定資本ニアラサルトヲ言ヘリ何トナレハ器械及ヒ家蓄ヨリ成立スル所ノ資本ノ其部分ハ決シテ所得稅ヲ拂ハンカタメニ賣ラル、トアラサレハナリ又如何ナル人モ所得稅ノタメニ以前ヨリハ些少ノ器械ヲ工業ヲ使用シ些少ノ必要ナル永久ノ改良ヲ實行スルニ到ラント想像スルモノアラサレハナリ我國ノ順環資本ハ或ル程度ニ於テ減少スルヲ疑ヒヲ容レス若レ然ランニハ所得稅ノ一部分ハ暗々裡ニカ役者ニヨリテ拂ハル、モノト謂フ可シ然レモ夥多ノ他國ノ如ク英國ニ於テモ各々資本ヨリ拂ハル、カ然ラスンハ一身上ノ費用ヨリ節儉セラル、所ノ所得稅ノ平均額ハ社會ノ種族ノ異ナルニ從ツテ大ニ變化スルモノナリ一年ニ百五十「ポンド」或ハ二百「ポンド」ノ所得ヲ所持スル所ノ人々ハ通例自己ニ欠ク可カラサルモノト思考セル許多ノ事物ヨリ自己ヲ擲棄セサルヲ

資本ヨリ拂ハル、租稅ノ分前ハ國ノ異ナレモニヨリテ租稅アリ



得ス此故ニ斯ノ如キ人ハ所得稅ヨリ除去セラハ、トアラハ恐ラクハ所得稅ノ廢止ニ  
 ヨリテ得ラレタル全所得ヲ消費スルヲナラン然レモ一年ニ一萬「ポンド」ノ價直ヲ有ス  
 ル富裕ノ商人ハタトモ所得稅ノ廢止ノタメニ消費ス可キ一年ニ一萬「ポンド」ノ増加ヲ  
 賦與セラル、モ實際其商人ノ一身上ノ費用ヲ増加スルヲ保證ス可カラサルヲナラ  
 ン商人カ年々蓄積スル所ノ此増加セル一千「ポンド」ハ自己ノ事業ヲ擴張センカ  
 メニ之ヲ投スルヲアラル可シ商人ハ恐クハ一千「ポンド」ヲ或ル安全ニ於テ投入ス  
 ルヲナラシ此故ニ若シ所得稅ノ廢止セラル、トアラハ貯蓄セラル可キ増加ノ一千「ポ  
 ンド」ハ重ニ放金ニ向ツテ市場ニ出顯スルナル可シ貯蓄セラレタル此金額ハ各出稅者  
 ノタメニ資本トシテ使用セラル、トアラサルナラン何トナレハ商賣カ斯ク多ク信用  
 ニヨリテ支配セラル、所ノ我國ニ於テハ所得稅ノ廢止セラル、以前ニ被稅者ハ自己  
 ノ事業ヲ實施センカタメニ非常ナル資本ヲ得ルヲ少シモ困難ナルトアラサレハナリ  
 此故ニ此國ノ資本ニ關係スル點ヨリ論スレハ所得稅ノ影響ハ一般ニ想像スル如ク此  
 國ニ於テハ大切ナルモノニアラス試ロミニ所得稅廢止ノ爲ニ一「ポンド」ニ付五ペ  
 ン

英國ニ於テハ所得稅ノ影響ハ一般ニ想像スル如ク大切ナルモノニアラス

ス「ノ所得稅ヨリ得ル所ノ九百萬「ポンド」ヨリシテ六百萬「ポンド」ヲ資本トシテ貯蓄  
 スルヲ得可シト假定セヨ（此金額ハ寧ろ過多ノ算定ト謂フ可シ）放金ニ向ツテ市場ニ  
 投セラレタル此六百萬「ポンド」ハ一國ノ工業上ニ或ル一時ノ影響ヲモ生スルヲ能ハ  
 サル可シ其國ノ富タルヤ數百萬ノ金額ヲレテ數日ノ中ニ我商業ニ影響ヲ及ボサスシ  
 テ募集セシテ屢ハ之レアリ我輩ノ思考ニ從ヘハ一身上ノ費用ヨリ儉約セラル、殘餘  
 ノ三百万「ポンド」ハ所得稅ニヨリテ社會ニ得セシメサリシ一時ノ愉快及ヒ快樂ノ眞  
 正ノ價直ヲ顯ハスモノト謂フ可シ此終リノ金額ニハ社會ノ別異ノ種族カ甚々不一樣  
 ノ程度ニ於テ出金セルトハ既ニ論述スル所トナレリ迅速ニ資本ヲ蓄積ス可キ富裕  
 ノ人ハ所得稅ノタメニ些少ノ消費ヲナストナシ其人ノ一身上ノ愉快ハ決シテ所得稅  
 ノタメニ少シモ妨害セラル、トアラサルナリ而シテ其人ニ對シテ所得稅ノ結果ハ其  
 人カ所得ノ財產ヨリ數千「ポンド」ノ減少セルモノヲ所持スト謂フニ止マルノミ然レ  
 モ些少ノ所得ヲ所持シテ所得稅ヲ拂フ區域内ノ人ニハ甚々別異ノ結果ヲ生スルモノ  
 ナリ例ヘハ四百「ポンド」ニ少シ超過セル所得ハ一万「ポンド」ノ所得ノ如ク同一ノ割



合ニ於テ租税ヲ賦課セラル、モノナリ四百「ポンド」ノ如キ些少ノ所得ヲ所持スルノ人ハ或ル眞實ノ必要物或ハ生活ノ愉快ヲ満足セシムルノ金錢ヨリ自己及ヒ自己ノ親族ヲ排除スルニアラスンハ所得税ニ數「ポンド」ヲ拂フ「ト」モ能ハサル「ト」ナル可シ此故ニ所得税ハ一身上ノ費用ノ上ニ蠶食セヌシテ租税ヲ拂フ「ト」得可キ富裕ノ人ヨリハ斯ノ如ク中等ノ所得ヲ有スル人ノ上ニ許多ノ犠牲ヲ蒙ラシムルモノト謂フ可キナリ今既ニ論述セシ此不公平ハ我英國ニ於テハ所得税中ヨリ百五十「ポンド」ヨリハ些少ナル所得ヲ免除シテ幾分カ之レヲ療養スルノ企テヲナセリ又小所得ノ所持者ノ上ニ此租税ノ負擔ヲ減少セシメンカタメニ百五十「ポンド」ト四百「ポンド」ノ中間ノ凡テノ所得ヨリ租税ヲ拂ハシムル以前ニ百二十「ポンド」ノ減少ヲナセリ斯クテ三百「ポンド」ノ所得ヲ所持スルノ人アラハ其人ハ唯百八十「ポンド」ノ所得ノ上ニ租税ヲ拂フ「ト」ナル可シ此整理ノ規則ハ療治セン「ト」テ企テシ不公平ヲ唯一部分免除スル「ト」アルハ明瞭ナリト謂フ可シ何トナレハ現時ニ於テ百五十「ポンド」ヨリ數「シルリング」多キ所得ハ三十「ポンド」ノ上ニ租税ヲ拂フモ百五十「ポンド」ヨリ數「シルリング」少キ所

所得税ハ中等ノ所得ヲ所持スル人ノ上ニ大ナル犠牲ヲ置クモノナリ

得ハ全タク租税ヲ免除サル可ケレハナリ若シ又一年ニ四百「ポンド」ノ所得ヲ所持スルノ人アラハ其人ハ全所得ノ上ニ租税ヲ拂フ「ト」ナラン然ルニ若シ其人ニシテ四百「ポンド」ノ所得ヲ所持スル「ト」アラハ其人ハ唯二百八十「ポンド」ノ上ニ所得税ヲ拂フ「ト」ナラン此故ニ若シ所得税ニシテ一「ポンド」ノ上ニ一「シルリング」ナリシナラハ四百一「ポンド」ノ所得ヲ所持スルノ人ハ四百「ポンド」ノ所得ヲ所持スル人ト比較スレハ五「ポンド」ノ貧救ナル生計ヲナサ、ルヲ得ス斯ノ如キ整理ノ不相當ナル「ト」ハ甚々明瞭ナリト謂フ可シミル氏ハベンザムノ説ヲ採用シテ此不相當ナル無法ヲ防禦スルノ目的ヲ以テ甚々簡單ナル企テヲ陳述セリミル氏ハ第一ニ立法官ハ所得税ヲ免除スル「ト」許容セサル可カラサル最大ノ所得ハ幾何ナリヤヲ決定セサル可カラサル「ト」主張セリ而シテ氏ハ此點ヲ決定センカタメニハ重ニ所得ニシテ生活ノ必要ヲ供給スルヨリハ充分多カラスンハ決シテ租税ヲ賦課ス可カラストノ主義ニ依ラサル可カラサル「ト」思考セリ斯ノ如キ主義ハ勿論粗造ナル算定ヲナスニノミ適合ナル「ト」ナラン然レモ一ノ制限ヲ定ムルハ尤モ緊切ノモノト謂フ可シ此故ニ制限ハ一年ニ百「ポンド」

此等ヲ排除スルニ向ツテミル氏ノ主張



ナリト想像セシム可シミル氏ハ此金額ヲ各所得ヨリ減少シ其殘額ニ租稅ヲ賦課ス可キトヲ陳述セリ此故ニ一年二百二十「ポンド」ノ所得ノ所持者ハ唯二十「ポンド」ノ上ニ所得稅ヲ拂フヲナラン此企テハ我輩カ既ニ論述セシ不公平ヲ充分ニ療養スルヲハ明瞭ナリト謂フ可シ此企テハ一ノ實際ノ困難ヲ含蓄セス而シテ精密ナル正道ヲ基礎トシテ論述シタルモノナリ何トナレハ所得稅ニシテ百「ポンド」ノ所得ハ生活ノ必要ヲ充分供給スルニ足ルノミナリトノ故ヲ以テ之レニ賦課セラル、トアラスンハ凡百ノ所得ニ關シテ生活ノ必要ノ上ニ消費サル可キ同一ノ金額ノ上ニ必ス所得稅ヲ廢止スルニ至ル可キハ理ノ當然ナレハナリ

此ミル氏ノ企テト或ル他ノ企テトノ差違  
 ミル氏ニヨリテ主張セラレタル此企テハ以前ニ論述セシ遞次所得ト混交セラル可キモノニアラス一「ポンド」ノ所得ハ一千「ポンド」ノ所得ヨリハ遙カ高キ割合ニ於テ租稅ヲ賦課セラレサル可カラサルヲ論述スルモノアリ所得稅ハ比較シテ些少ナル所得ノ所持者ノ上ニ不一樣ナル勢力ヲ有スルモノナリトノ議論ニハ疑ヒモナク大勢カヲ有スルヲナル可シ何トナレハ所得稅ハ或ル富裕ノ人ニ對シテ其人ノ快樂ヲ減少

資本ノ蓄積ニ不便ナリ  
 買主ノ利性

スルノ憂ヒ決シテ之レアラサルモ小所得ノ所持者ノ上ニハ屢ハ或ル眞實ノ犧牲ヲ含蓄スルヲアレハナリ然レモ所得稅ヲ遞次ニナス可キ主張ハ富ノ蓄積上ニ刑罰ヲ置クトヲ冀望スル主義ヲ許容スルカ如シトノヲ記憶スルヲ必要ナリ廣大ナル資本ニ反對スルヲ目的トセル此企テハ恐ラクハ一般人民ノ贊助ヲ得ルヲナラン何トナレハ此企テハ所謂資本ノ壓制ト名ツクルモノニ反對シテ屢ハ公言セシ僻說ヲ保護スルノ傾向アレハナリ此國ニ於テ力役者ハ一般ニ廣大ナル資本主ハ力役者ヲ壓制スル奇異ノ權力ヲ所持セリト信スルノ時アリシカ上等ノ教育及ヒ組合制度ノ擴張ノタメニ力役者ヲシテ資本ノ増加スルニ從ツテ力役ノ事業ハ日ニ増加スルモノナリトノヲ理解スルニ到レリ以前ニ顯ハセシ如ク所得稅ニ反對シテ論述セラル、ヲ得可キ尤モ強盛ナル理論上ノ一議論ハ所得稅ハ貯蓄ノ上ニ賦課セラル、モノナリトノ實事ヲ基礎トセリ一年ニ一「ポンド」ヲ所有シ而シテ此所得ノ全額ヲ消費スルノ人ハ唯一度租稅ヲ拂ヘハ可ナルヲナラン然レモ一樣ナル所得ヲ所持シ而シテ唯所得ノ一部分ヲ消費スルノ人ハ第一ニ租稅ニ同一ノ金額ヲ拂ヒ而シテ又毎年其人ノ所得ヨリ貯蓄セル金



額ノ上ニ租税ヲ拂ハサル可カラサルナリ此故ニ所得税ハ幾分カ消費ヲ獎勵シ貯蓄ヲ失望セシムルモノト謂フ可シ此故ニ所得税ニ反對シテ論述スルヲ得可キ尤モ嚴格ナル一個ノ反對説ハ若シ所得税ニシテ一己人カ儉約スル額高ニ比例シテ増加セラル、モノナラハ甚々シク勢力ヲ有スルニ到ルテアルヤ明カナリト謂フ可シ

所得税ヲ改  
收ス可ト所  
得ノ額高ラ  
難用スルカ  
困難ナルカ  
タメニ與リ  
タル所得税  
ノ反對説

結論ニ於テ如何ナル整理法アルモ排除ス可カラサルモノニシテ所得税ト結合セル嚴正ナル反對説ヲ思考スルテ必要ナリ所得税ハ精密ニ公共ノ知認セル所得額ノ上ニ賦課セラル可キヲ明カナリ以前ニ記載セシ如ク英國銀行カ株金ヨリ起ル割賦金ヲ拂フキニ所得税ヲ除去シ而シテ政府ニ代リテ其金額ヲ支配セリ此故ニ株主ハ所得税ヲ免除セラレントヲ欲スルモ得可カラサルナリ所得税ハ又凡テ官吏ノ月給及ヒ海陸軍吏ノ月給ヨリ一様ニ取去ラル、モノナリ所得ノ種々ノ他種類ヨリ拂ハル、租税ノ金額ハ又制定セル規則ニヨリテ規定セラル、所ロトナレリ例ヘハ農夫ノ所得ハ農夫ノ地代金ノ半額ニ一様ナルモノナリト算定セリ此故ニ農夫ノ所得一年ニ八百「ポンド」ニテアリシナラハ且ツ所得税ハ五「ベルセント」ニテアリシナラハ農夫ノ上ニ賦課

セラレタル所得税ハ二十一「ポンド」ナリシナラン農夫ノ所得ハ一年ニ四百「ポンド」ヨリハ多額ナルカ或ハ少額ナルコトハ疑フ可カラサルコトナスヲ得可シ然レハ一度此規則ノ作爲セラレタル後ハ農夫ハ租税ノ或ル部分ヲ免除ス可キ權力ハ毫毛モ有セサルナリ何トナレハ農夫ノ拂フ可キ金額ハ精密ニ確定セラレタルモノナレハナリ然レハ商人ノ種々ノ他社會ニ關シテハ決定セル規則ニヨリテ商人ノ所得ノ金額ヲ確定スルコト甚々難シト謂フ可シ製造人並ヒニ小賣商人ノ所得ハ唯近接ニ決定スルヲ得可キノス如キ有様ナルカ故ニ租税ノ著ルシキ部分ヲ免除ス可キ機會ハ常ニ賦與セラレタルモノト謂フ可シ不幸ニシテ道德ハ便利ヲ基礎トセルコト非常ニ屢ハ之レアリ正直ノ名アル人ニシテ一身上ノ所業ニハ些少ノ不正直ナル所業ヲナスモ震懼措ク能ハサルノ人ト雖モ政府ヲ欺クヲ猶豫スルコトアルナシ其人ヤカ政府ト關係セル事業ニ於テ不正ナル所業ヲ施行セシ例証ハ數ゾルニ違アラス

世人ノヨク認知スル所ロノ左ノ例証ハ屢ハ引用セラル、所ロトナレリ論帳ノ一街道カ或ル時限ノ間改良ヲ施行スルノ故ヲ以テ商業ヲ廢止セシコトアリ此街道ニ生活スル

斯クテ折々  
生出セル不  
正



種々ノ商人ノ職務ハ有害ニ影響セラレタリ而シテ害ヲ受ケタル此諸人ハ此故ニ損害  
 要償ヲ公言セリ各被害者ノ領収ス可キ要償ノ金額ハ被害者ノ職掌ヨリ得可キ真正ノ  
 所得ニ比例セリ此故ニ凡テ被害ノ商人ハ自己ノ所得ノ報知ヲナセリ此等ノ報知ハ過  
 度ノモノナル可シト思考シタルカ故ニ此等ノ商人カ所得税ノ拂ヒニ向ツテ報知セン  
 所得ノ金額ト今回要償ニ向ツテ報知セシ金額トヲ比較セシカ或ル場合ニ於テハ二個  
 ノ目的ニ向ツテ報知セシ金額ト少シモ差違ナキモノナキニアラス然レモ比較ノ結果  
 ハ尊敬ス可キロンドンノ街道ニ於テ生活セン或ル商人ハ所得税ヲ拂ハンカタメニ報  
 知セシ自己ノ所得ヨリハ損害要償ニ向ツテ報知セシ自己ノ所得ハ遙カニ巨額ノモノ  
 ナリシカ如キ詐偽ヲ施行セルモノナリシコトヲ認知セシムルニ到レリ此故ニ斯ノ如キ  
 偽詐ノ流行セル間ハ許多ノ人民カ政府ニ拂フ可キ所得ノ一部ヲ免除スルコト明カナリ  
 此故ニ所得税ハ不相當ノ或ル程度ヲ以テ働クモノト謂フヘシ何トナレハ社會ノ或ル  
 種族ハ租税ヲ免除スルノ機會ヲ保持スルモ他ノ種族ハ之レカ機會ヲ保有スルコトヲ  
 サレハナリ

此不正ハ所  
 得税ニ反對  
 セル議論ニ  
 勢ヲ與フ  
 ルモノト思  
 考スルヲ得  
 ス

免除ノ此權力ニヨリテ生セラレタル不公平ハ許多ノ人ニヨリテ斯ノ如キ租税ノタメ  
 ニ生出シタリト思考スル一般ノ不道德ホト多ク反對セラル、コナキカ如シ例ヘハ所  
 得税アルカタメニ然ラサレハ正直ナル可キ人民ヲモ政府ヲ瞞着ス可キ誘道ヲ與フル  
 モノナレハ此租税ハ偽詐ノ上ニ許多ノ返禮ヲ置クモノト謂フ可シトノコトヲ主張スル  
 モノアリ然レモ斯ノ如キ議論ニハ餘リ注意ヲ要ス可カラス斯ノ如ク容易ニ正道及ヒ  
 道德ノ道路ヨリ柔避サル、一己人ノ道德ニハ政府ノ注意ヲナスコト甚々無益ナル可シ  
 勿論精密ノ注意ヲナシテ報知ヲ偽リシ人ヲ罰ス可キハ理ノ當然ト謂フ可シ何トナレ  
 ハ其人ノ免除シタル負擔ハ社會ノ殘餘ノ人ニ蒙ラシメラル可カシサレハナリ  
 タトヒ我輩ハ所得税ト結合セル或ル不公平及ヒ他ノ不利益ニ注意ヲ要スルハ願ハシ  
 キコトナリト思考スルト雖モ我輩ノ説ニ於テハ所得税ヲ廢止スルコトハ決シテ得策ニア  
 ラサルコトヲ信スルナリ世人ノ認知セル如何ナル租税モ反對説ヲ受ケサルモノ殆ント  
 之レアラサル可シ若シ所得税ニシテ廢止セラル、アラハ許多ノ富者ノ一己人ハ殆ン  
 ト全ク我國ノ租税ニ或ル物ヲ拂フコトヲ免除サレシニ同前ナリ而シテ現今所得税ニ



ヨリテ得ラル可キ金錢ハ貧人ノ重ニ使用スル一般ノ消費物ニ租税ヲ増加スルヲニヨリテ償ハル、トナラン斯クテ租税ノ不公平ハ所得税ヲ維持スルヨリモ之レヲ廢止スルニヨリテ益ス多ク起ルコナラン世人須ラク爰ニ注意ス可キナリ

第三章

商品税及他ノ間税

直税間税ノ區別

前章ニ於テ既ニ所得税ノ利害ヲ論述セリタトヒ所得税ハ明カニ他ノ直税トハ許多ノ大切ナル關係ニ於テ相違セリト雖ニ猶ホ凡百ノ直税ト普通ノ固質ヲ所有セリ此故ニ我輩ハ此章ニ於テ間税ヲ記載シタル後租税ノ兩組織ナル間税及ヒ直税ヲ比較セサル可カラス或ハ寧ロ比較スト謂フヨリハ兩組織ノ反對ノ性質ヲ記載スルト謂フコト適當ナル可シ

直ダイレクト、ダックス 税及ヒ間インダイレクト、ダックス 税ハ常ニ使用セラル、所ロノ言ニシテ恐ハ之レカ説明ヲ

要セサルコトナラン然レニ直税ハ眞實ニ租税ヲ賦課セラレタル人ニヨリテ拂ハル、モノナレニ間税ハ名ノミ一人ニヨリテ拂ル、モノニシテ眞實ハ他人ニヨリテ拂ハル、モノナリトコトヲ記載スルハ敢テ無益ノコトニアラサル可シ所得税及ヒ私車及ヒ犬ノ上ニ賦課セラレタル租税ノ如キハ直税ナリ何トナレハ所得税ハ其租税ヲ拂フ所ノ人ヨリ其金額ヲ除去スルモノナレハナリ然レニ牛肉税ビーフメットノ如キ間税ニ關シテハ全ク別



商稅ハ必  
ス間稅ナリ

他ノ租稅モ  
亦間稅トナ  
ルヲ得可シ

異ノ結果ヲ呈出セサルヲ得ス何トナレハ斯ノ如キ場合ニ於テハ、トヒ最初牛肉稅ハ  
ブローニル絞乳者ニヨリテ拂ハレタリト雖モ此租稅ハ眞實牛肉消費者ノ囊中ヨリ來ルモノナレ  
 ハナリ蓋シ消費者カ牛肉ニ向ツテ拂ハサルヲ得サル價直ハ少クトモ賦課セラレタル  
 租稅ニ一樣ナル金額ニ於テ増加セラル、モノナリ此故ニ商品稅ハ間稅ナルヲ明カナ  
 リ何トナレハ若シ商品ニシテ租稅ヲ賦課セラル、ナラハ商品ノ價直ハ増加セザルヲ  
 得ス而シテ之レカタメニタトヒ最初ニ此租稅ハ商品ノ輸入者及ヒ生産者ノ上ニ賦課  
 セラレタルモノナルモ商品ノ消費者カ眞實ニ租稅ヲ拂ハサルヲ得サレハナリ  
 然レモ商品ノ上ニ置キタル租稅ノ外他ニ一ノ間稅ナシト想像ス可カラズ例ヘハ其原  
 質ニ於テハ直稅ナル租稅モ私設ノ組織及ヒ商賣上ノ組織及ヒ許多ノ他ノ原因ニヨリ  
 テ間稅トナルヲ得可シ例ヘハ英國ニ於テ救貧費ヲ拂フハ借地農夫ノ習慣タリ然レモ  
 斯ノ如キ出費ハ眞實地主ニヨリテ拂ハル、モノナルヤ明カナリ何トナレハ若シ農夫  
 ニシテ救貧費ニテ一年ニ百「ポンド」ヲ拂フナリハ農夫ハ自己ノ耕作スル陸地ノ使用  
 ニ向ツテ一年ニ拂フ所ノ金額ハ同一ニ減少ス可ケレハナリ此故ニ若シ救貧費ニシ

直稅亦間稅  
ト變ヒシム  
ルヲ得可シ

テ賦課セラル、トアラスンハ地主ハ借地人カ以前ニ拂ヒタル金額ヲ耕作ノ地代ニ増  
 加スルヲ得可シ此議論ハ種々ノ他ノ割合及ヒ寺院分配ノ割合ニモ適合スルモノナリ  
 此故ニ直稅ト間稅トノ間ニ大切ナル區別ヲナス「ト必スシモ其常ヲ得タルモノト謂フ  
 可カラズ何トナレハ我輩ハ私設ノ商賣上ノ組織ニヨリテ直稅ハ間稅ニ變化サル、モ  
 ノナル「ト望見スレハナリ蓋シ救貧費ハ如何ナル場合ニ於テモ何故ニ地主ニヨリテ  
 拂ハル可カラズ然レモ借地人ニヨリテ拂ハレサル可カラサルモノナル乎少シモ之レ  
 カ道理ヲ發見スル能ハサルナリ若シ地主ニシテ救貧費ヲ拂フ「トア」ハ救貧費ハ直稅  
 トナリタル「トナラン此故ニ租稅ニ適合セル直接及ヒ間接ナル言葉ハ唯名目上ノ區別  
 ヲ顯ハシタルモノナリト謂フ「ト得可シ然レトモ商品ノ上ニ賦課セラレタル租稅ハ直  
 稅トナス能ハス何トナレハ或ル格段ナル物品ヲ購求セシ人ノ上ニ租稅ヲ徵收スル「ト  
 決シテ出來可カラサル「トナル可ケレハナリ此故ニ租稅ノ兩個ノ差違アル組織ノ區別  
 ノ眞正ノ點ヲ説明セント欲スレハ直稅ノ結果ト商品ノ上ニ賦課セラレタル租稅ノ結  
 果トヲ比較スルニ勝ルモノナカル可シ



愛ニ思考セ  
ラルハ租税  
ハ輸入ニ向  
タル租税ナ  
リ

保護ニ向ッ  
テ置カレタ  
ル租税ニア  
ラス

商品税ハ公  
平ノ箇條ヲ  
満足セシム  
ルヲ得ス

此探鑿ヲ始ムルニ當リ我國ニ於テハ種々ノ商品ニ租税ヲ賦課セラレ且許多ノ他ノ國  
ニ於テモ一國ノ工業ヲ保護シ、政府ノ歳入ヲ得ンカタメニ租税ヲ許多ノ商品ニ賦課セ  
リトノトヲ記載スルハ緊要ノコナル可シ今ニ到ルマテ我輩ハ保護税ノ理論ヲ論述ス  
ルヲ以テ目的トナシタリ此故ニ我輩ハ今此處ニ於テ政府ニ歳入ヲ得ント欲スル單一  
ナル目的ニ向ッテ賦課シタル商品税ヲ思考セリル可カラズ近代ノ保護ノ遺物ハ我カ  
財政法ヨリ排除スル所トナレリ而シテ今日ハ内國及外國ノ生産者ヲシテ均一ノ位置  
ニ置クノ見込ヲ以テ各租税ヲ整理スルニ注意セリ

以前ニ陳述シタル如ク商品税ハアダム、スミス氏ノ租税ノ第一主義ナル「各人民ハ拂  
フ可キ人民ノ腦力ニ比例シテ歳入ヲ補助セサル可カラズ」トノ確言ニ反對セサル可  
カラサルヲ殆ント避ク能ハサルノトト謂フ可シ此規則ニ從ツテ商品税ヲ組織スル能  
ハサルハ種々ノ道理アリテ然ルナリ第一ニ商品税ハ其商品ノ價直ニ應シテ賦課スル  
能ハサルトヲ論述スルヲ得可シ而シテ此事情ヨリ租税ノ不公平ハ必ス起ラサルヲ得  
サルトハ充分明瞭ナリト謂フ可シ例ヘハ此國ニ於テ輸入サル、茶ノ各「ポンド」ハ現

時「ポンド」毎ニ六「ペンニー」ノ租税ヲ拂ヘリトノトヲ記載スルヲ得可シ貧人ノ重  
ニ消費スル所ノ茶ノ下等品ハ租税ノ賦課セラル、トアラスンハ「ポンド」毎ニ僧  
カニ「シルリング」ニ超過セサル價直ニ於テ小賣サル、トナラン此故ニ政府ノ歳入  
ニ拂フト左ニ不適當ナル貧人ニヨリテ使用セラル、茶ハ五十一「ベルセンド」ノ割合ニ  
於テ租税ヲ賦課セラレタルモ富人ニヨリテ購求サル、「ポンド」ニシルリング」ノ上  
等ノ茶ハ唯二十「ベルセンド」ノ租税ヲ拂フノミナリトノト從ツテ起ラサルヲ得サル  
ナリ商品ノ上ニ賦課セラレタル租税ニテ多少ノ度ニ於テ普通ナル租税ノ此不公平ハ  
實際ノ療治ヲナスト殆ント稀少ナリト謂フ可シ例ヘハ茶税ヲ茶ノ性質ニヨリテ變化  
セシメントヲ主張スルモノアリ然レモ實際ノ判斷ヲナスニ尤モ適當ナル人ハ斯ノ如  
ク整理法ハ海關ニ於テ茶ノ性質ヲ試験スルト甚々困難ニシテ不正確ナルカタメニ無  
益ノモノトヲサルヲ得サルトヲ確定セリ以前ニ論述セシ如ク若シ租税ニシテ商品ノ  
上ニ賦課セラレタルハ必ス離ル可カラサル前條ノ不公平ハ成ル可ク所得税ノ如キ  
他ノ租税ヲ今我輩カ記載シタル格段ナル不公平ノタメニ最モ多ク害ヲ受ケタル人ノ

此不公平ハ  
一部分他ノ  
租税ニヨリ



テ得ハル、  
ヲ得ヘシ、

商品税ハ一  
般ニ正確ナ  
ラサル可カ  
ラストノ主  
義ヲ満足セ  
シメタリ

然レモ唯其  
例外ハ商品  
ノ價値ニ比  
例シテ賦課  
セラレタル

上ニ尤モ輕ク賦課スルコトニヨリテ償ハシメサルヲ得ス此等ノ思考カ我輩ヲシテ再々  
ヒ租税ノ公平ハアダム、スミス氏ノ第一主義ニ從ツテ或ル一租税ヲ組織スルニヨリ  
テ得ラル可キモノニアラス然レモ全歳入ニ辨償ノ一般ノ手段ヲ適合スルニヨリテ尤  
モ確カニ得ラル、モノナルコトヲ論セシムルニ到レリ

我輩ヲシテ次ニ如何ナル程度ニマテ商品税ハアダム、スミス氏ノ第二主義ナル「各人  
民カ租税ニ拂フ所ノ金額ハ正確ノモノタル可シ決シテ隨意ノモノタル可カラス」ト  
ノ確言ニ相當セルモノヤヲ吟味セシム可シ一個ノ感覺ニヨレハ凡百ノ商品税ハ精密  
ニ此租税ノ規則即チ主義ニ服從セルモノ、如シ租税ヲ賦課セラレタル商品ノ生産者  
及ヒ輸入者ハ常ニ格段ナル租税ノ自己ニ賦課セラル可キ精密ナル金額ヲ知了スルヲ  
得可シ若シ茶税ニシテ「ポンド」毎ニ六「ペンニー」ナラハ茶ノ一箱ヲ輸入スルノ人  
ハ精密ヲ以テ茶ノ拂ハサル可カラサル税額ヲ算定スルヲ得可シ牛肉ノ如キ租税ヲ賦  
課セラレタル商品ノ生産者ニモ同一ノ議論ヲ適合ス可シ不正確ノ起ル所ロノ唯ノ場  
合ハ租税カ商品ノ價値ニ比例シテ賦課セラレタル時ニ外ナラス何トナレハ政府カ或

租税ナリ

ル商品ノ價値ヲ確認センカタメニ適合セシムル基礎ハ甚タ不正確ニシテ且ツ不完全  
ノモノタルヲ得可ケレハナリ此ノ例證ハグラフネト、ストーン氏ノ財政上ノ所置ニ於  
テ出顯スル所トナレリ數年ノ中ニ火酒税ヲ非常ニ増加セリ而シテグラフネト、スト  
ン氏カ一千八百六十年ニ於テ清酒税ニ廣大ナル減少ヲ發言セシトニ氏ハ清酒税及  
ヒ火酒税ノ中間ノ差違ハ非常ニ廣大ナルカタメニ歳入ハ清酒ト火酒ヲ混合シ全酒ヲ  
清酒トナシテ輸入セルカタメニ詐カレタリトノコトヲ感セリ此偽詐ヲ防禦スルノ見込  
ヲ以テ氏ハ清酒ニ租税ヲ賦課センニハ清酒ノ保有スル「アルコール」ノ額高ニ比例セ  
サル可カラサルコトヲ宣言セリ此「アルコール」ノ分量ヲ得ンカ爲メニ採用セラレタル  
企テハ清酒ノ商賣ニ關係セル人々ニヨリテ甚々面倒ナルモノナリト謂ヘリ清酒商人  
カ愁訴スル所ロハ重ニ斯ノ如クニ租税ノ賦課セラル、コトアラハ租税ハ不正確ノモノ  
タラサルヲ得ストノコトヲ基礎トナセリ何トナレハ清酒商人ハ或ル格段ナル清酒ノ拂  
フ可キ税額ヲ前知スル能ハサルコトヲ確定シタレハナリ然レモ商品税ニ關シテノ斯ノ  
如キ不正確ハ規則外ノコト謂フ可シ商品ノ價値ニ從ツテ租税ヲ賦課スルノ企テヲナ



スニアラスンハ不正確ノ成立スルヲ甚ク稀有ノモノト稱スルモ敢テ不可ナルナカル可シ

商標ハ一般ニ酒類者ニ於テハハレタリ  
然レモ生産者或ハ輸入者ニ於テハハレタリ  
不利益ノ時ハ

アダム、スミス氏ニヨリテ設ケラレタル第三税法ハ「租税ヲ拂フニ尤モ便利ナル時限、或ハ方法ニ於テ各租税ヲ拂ハサル可カラス」ト謂フニアリ此故ニ此規則ト商品税トハ決シテ不兩立ノモノニアラサルカヲ吟味セサル可カラス此吟味ヲナシシカタメニハ真正ノ被税者ト名ノミノ被税者ヲ區別スルヲ必要ナラン何トナレハタトヒ租税ハ一般ニ生産者或ハ消費者ヨリ拂ハル、モノナリト雖モ真正ニ租税ノ負擔ハ商品ノ消費者ノ上ニ蒙ラシムルモノナルトハ既ニ記載シタレハナリ商品税ハ消費者ノ關係セシ所トヨリ論スレハ尤モ便利ナル時限及ヒ方法ニヨリテ拂ハル、ト疑ノ可カラス何トナレハ租税ハ實際消費者ヲ購求センカタメニ拂ヒタル時限ニ於テ消費者ノ上ニ賦課セラル、モノナレハナリ然レモ商品ノ生産者及ヒ輸入者ハ欠點アル財政上ノ救理、タメニ尤モ便利ナル時限及ヒ方法ニ於テ租税ヲ拂フトヲ獎勵サル、トアルヲ得可シ時トシテハ今既ニ陳述セシ不便利ハ全ク不正ナル財政法ニ基ツクトアリ

ル、モノナ

然レモ時トシテハ其不便利ハ租税ノ性質ニ固有ノモノナキニアラス若シ租税ノ性質ニ不便利ヲ固有スルモノハ財政ノ必要ノ外ハ租税ヲ賦課スルヲ決シテ得策ニアラサル可シ例ヘハ忽草税ハ忽草ノ成長ニ尤モ不便利ナル方法ニ於テノ外ハ之レニ賦課スルヲ甚ク難キカ如シ斯クテ此租税ヲ廢センカタメニ強盛ナル議論ノ興起セシトアリ忽草ハ「一ポンド」毎ニ非常ニ許多ノ租税ヲ賦課セラレ決シテ收納ノ性質或ハ分量ノ如何ヲ顧ミス收納ノ集合セラル、ヤ直チニ租税ヲ賦課セラル、ナリ而シテ忽草生育者ハ忽草ノ賣却セラレタルト否トニ拘ハラス或ル期定セル時限ニ於テ租税ヲ拂ハサル可カラズ忽草ノ收納ハ甚ク不正確ナルカ故ニ生育者カ如何ニ許多ノ租税ヲ拂ハサル可カラサルヤヲ決シテ精密ニ算定スルヲ能ハサルナリ若シ生育者ニシテ廣大ナル資本ヲ所持スルノ人ニアラスンハ自己ハ忽草ヲ賣却スルヲ欲スルモ欲セサルモ租税ヲ拂ハンカタメニ必ス之レヲ賣却セサルヲ得サルナリ餘り澤山ノ收納ハ生育者ニマテハ亦甚ク不便ノモノナリ忽草ニ向ツテノ需要ハ毎年甚ク變化スルモノニアラス此故ニ忽草ノ價直ニハ一大變動ヲ示サルヲ得ス何トナレハ一年ノ收納ハ屢ハ次



年ノ收納ヨリ三倍或ハ四倍ノ許多ナルヲアレハナリ生育者カ拂フ所ノ税額ハ收納ノ澤山ナルニ比例スルモノナルカ故ニ廣大ナル收納ハ尤モ生育者ニ不幸ナルヲハ展ハ興ラサルヲ得ス何トナレハ租税ノ最大額ハ忽章ノ價直非常ニ低廉ナルキニ拂ハル、モノナレハナリ此等及ヒ他ノ不便利ハ相當ナル療治ニ適合セサルモノ、如シ此故ニ忽章税ヲ廢止スルハ尤モ適當ノモノト謂ハサル可カラス

商品税ヲ徵收スル時限及ヒ方法ト結合セル許多ノ不便利ハ適當ナル財政法ニヨリテ大ニ減少サル、トハ一般ニ興起スルモノナリ例ヘハ海關倉庫（ボウインツクハウス）ノ如キハ租税ヲ賦課セラレタル商品ノタメニハ大ナル容易及ヒ利益ヲ賦與スルモノナリ商人ニシテ直チニ自己ノ輸入セシ商品ヲ賣却スルヲ欲セサレハ倉庫ニ商品ヲ入レ置クヲ許容セラレタリ而シテ商品ノ倉庫ニ在ル間ハ其商人ハ商品ノ上ニ或ル租税ヲ拂ハサル可カラサルトアル無シ此法ハ疑ヒモナク正當ナル整理ト謂フ可シ何トナレハ政府ハ商人ノ消費者ハ眞實ニ商品ノ上ニ賦課シタル租税ヲ拂ハサル可カラサルヲ目的トナセハナリ此故ニ租税ノ拂ヒト商品ノ賣却トノ中間ニハ成ル可ク短少ナル閑隙ヲ經過セシメ

此不便利ハ海關倉庫ノ如キ正道ナシル整理法ヲ得ヘシラ、ラ

租税ハ一般ニ國庫ニ收入スルヨリハ許多ノ金額ヲ人民ノ囊中ヨリ除去スルモノナリ

租税ノ費用ハ適當ナル財政法ニヨリテ緩和サレ、モノナリ

サル可カラス商人ハ單ニ租税ヲ拂ヘハ可ナリ而シテ重子テ租税ヲ拂フカ如キアラハ商人ハ自己ノ職掌ニ過大ノ資本ヲ使用セサルヲ得ス之レカタメニ消費者ハ商品ニ向ツテ高價ナル金額ヲ拂ハサル可カラサルナリ

アダム、スミス氏ニヨリテ宣言セラレタル租税ノ最後ノ規則ハ「各租税ハ國庫ニ收入スル金額ヲ越ヘテ成ル可ク些少ナル金額ヲ人民ノ囊裡ヨリ取り去ラシメサル可カラサル」ト確定セリ徵收スルニ尤モ費用ヲ要スル或ル租税ハ此規則ト兩立セサルトハ既ニ以前ニ陳述シタリ若シ租税ニシテ力役ヲ生産職業ヨリ不生産職業ニ變化セシメ、密造ヲ獎勵シ、或ル商賣工業ノ行ハル、規則ニ關シテ禁制ノ規則ヲ置カサルヲ得サルカ如キアラハ租税ハ此最後ノ規則ト兩立スルモノト謂フ可カラス商品税ハ一般ノ規則トシテ今既ニ記載セシ凡百ノ誤謬ヨリ充分自由ナルト能ハス然レモ此誤謬ハ適當ナル財政法ニヨリテ多ク緩和サル、モノナリ租税ニシテ商品ノ上ニ賦課シタルモノナラハ内國製造ノ商品ニ賦課スルトモ輸入シタル商品ニ賦課スルモ之レヲ徵收スルニ許多ノ費用ヲ要セサル可カラス内國收稅官及ヒ海關收稅官ノ許多ノ人員ヲ租



税ヲ徵收スルニ使用セサル可カラス而シテ密造ヲ禁制シ偽詐ノ他ノ種類ヲ禁制セン  
 カタメニ屢ハ許多ノ出費ヲ要スルヲアリ密造ヲ禁制スルニハ陸地ノ非常ニ廣大ナル  
 境界ヲ保護セラレタル邦國ヨリモ我國ノ如キ一島嶼ニ於テハ甚々容易ナルト謂フ  
 可シ二千里或ハ三千里ノ境界ヲ注意スルノ困難ナルカタメニ米國ノ如キ邦國ニ於テ  
 ハ海關稅ヲシテ尤モ願ハシカラサルトトナシタルナラン若シ租稅ニシテ一般ニ消費  
 スル價少ノ物品ニ限ラレ、ナラハ商品稅ニヨリテ歲入ノ或ル金額ヲ徵收スルノ費用  
 ハ甚々多少減少セルナル可シ若シ租稅ニシテ制限アル使用ノ物品ニ賦課スルトアラ  
 ハ租稅ヲ徵收スルノ費用ハ政府ニ得ラレタル金額ニ比例シテ常ニ非常ニ巨額トナル  
 可シ三十年以前ニ當リテ此國ノ輸出入稅表ハ内國稅及ヒ海關稅ニ屬スル三百或ハ四  
 百ノ物品表ヲ保有セリ此等ノ租稅ノ過半ハ尤モ適當ニ廢止スル所トナリ現今ハ煙  
 草、茶、珈琲、清酒、外國ノ火酒、及ヒ他ノ僅少ノ物品カ唯海關稅ニ從ヘラル、ニ到レ  
 リ内國稅ニヨリテ徵收セラレタル歲入ノ部分ヲ補助スル重要ノ物品ハ牛肉及ヒ火酒  
 ナリ又密造ニ關シテ之レカ勢力ヲ減殺セント欲スレハ最小ノ容量ニシテ莫大ノ價直

然レハ價直  
 ハ不相當ニ  
 納費者ニ向  
 ヲテ増加セ  
 ラム、テ得  
 可シ

ヲ有シ之レヲ隱蔽スルニ容易ナル物品ニ高キ租稅ヲ賦課スルトコ廢止スルニヨリテ  
 得ラル、ト疑フ可カラス然レモ商品稅ハ四人、餘リ注意セサル種々ノ方法ニヨリテ  
 被稅者ノ囊裡ヨリ政府ニ得タル金額ヨリ非常ニ超過セル金額ヲ除去スルヲ得可シ  
 第一ニ若シ商品カ租稅ヲ賦課セラレタルハニ消費者カ商品ニ向ツテ拂フ所ノ價直  
 ハ屢ハ租稅ノ金額ニ超過スル所ノ金額ニヨリテ増加セラル、トアリ斯テ我輩ヲシ  
 テ甚々都合ヨキ事情ノ下ニ賦課セラレタル租稅ノ場合ヲ想像セヨ而シテ其例トシテ  
 小賣干物商カ海關ヨリ直接ニ茶ノ若干箱ヲ購求シタリト想像セヨ干物商ノ購求セシ  
 茶ノ金額ヲ我輩ハ二千一ポンド一ナリト假定スルヲ得可シ若シ此茶ニシテ租稅ヲ賦課  
 セラル、トアラスンハ此茶ノ價直ハ恐クハ二千四百一ポンドニ超過セサルトナラン  
 何トナレハ茶ノ平均ノ性質ノモノヲ賣却シタリト思考スレハ茶稅ハ其價直ノ二十一ペ  
 ルセント一ナリト算定スルヲ得可ケレハナリ干物商ニシテ若シ此茶ノ小賣ヲナセシ  
 ルハ勿論元來ノ商賣上ノ利益ヲ得ンコトヲ冀圖スルトナラン此利益ヲ我輩ハ二十一ペ  
 ルセント一ナリト想像スレハ干物商ハ二千一ポンドニテ購求シタル茶ヲ二千六百ポ



「一」ニ賣却スルヲナラン然ルニ若シ茶税ニシテ存在スルヲアラスンハ干物商ハ同一ナル茶ノ分量ニ向ツテ唯二千四百「ポンド」ヲ賦與セサルヲ得サルヲナラン而シテ干物商ハ利益ノ同一ナル割合ニ於テ二千八百八十「ポンド」ノ價直ヲ以テ消費者ニ賣却スルヲナラン此故ニ政府ニヨリテ得ラル、所ノ租税ハ唯六百「ポンド」ナリト雖モ茶ヲ購求スル所ノ人々ハ七百一十「ポンド」ヲ拂ヒタルモノナルヲ望見スルヲ得可シ此故ニ此假説ニ從ヘハ租税カ政府ノ歳入ニ與フルヨリハ二十「ベルセント」ノ餘額ヲ被稅者ノ囊裡ヨリ除去シタルモノト謂フ可シ此議論ハ商品税ニ反對シテ論述シタル尤モ嚴正ナル反對説ノ一ニシテ相當ニ思考セラレタルトナキ議論ナリ今記載シタル場合ハ一般ノ規則トシテ商品税ハ政府ニ收入セル金額ニ超過セル金額ヲ人民ノ囊裡ヨリ除去スル額高ヲ相當ニ顯ハシタルモノニアラサルヲ記憶セサル可カラス例ヘハ茶カ小賣干物商ニヨリテ海關ヨリ直接ニ購求シタリトノヲ假定シタリ然レモ甚々屢ハ茶カ海關ヨリ取來リタル後四人或ハ五人ノ支配人ノ手ヲ經テ結局消費者ニ賣却サル、トノ興起スルハ決シテ疑フ可カラサルナリ此故ニ若シ茶ニシテ二十五「ベ

此反對説ハ商品税ニ反對シテ尤モ設ナリ

此反對説ハ或ル程度ニマナシテモ影響スルモノナリ

ルセント」ヲ其價直ニ拂フモノナルヲ假定スルナラハ此等ノ支配人ノ人々ハ茶ノ商賣ヲナサンカマメニ二十五「ベルセント」ノ多キ資本ヲ要スルヲナラン斯テ商賣ノ元來ノ利益ハ使用セラレタル附加ノ資本ノ上ニモ得ラレル可カラス此故ニ商品ニシテ若シ租税ヲ賦課セラル、トアラハ消費者ハ商品ニ向ツテ租税ノ金額ニ著ルシク超過スル程度ニ増加セラレタル價直ヲ一般ニ拂ハサル可カラサルトナル可シ租税中ノ尤モ嚴シキ欠點ハ租税カ政府ノ歳入ニ得ラル可キ金額ニ非常ニ超過スル金額ヲ被稅者ヨリ除去スルニ在リ此欠點ハ多少間税ニ伴フモノナリ何トナレハ凡百ノ間税ハ第一ニ消費者カ拂ハサル可カラサル價直ノタメニ利益セラル可キ商品ノ生産者或ハ輸入者ニヨリテ拂ハル、モノナレハナリ各個ノ場合ニ於テ租税ノ拂ヒト商品ノ賣却トノ間ニハ或ル時間ノ經過スルナキヲ得ス此故ニ最初租税ヲ拂フ所ノ商人ハ或ル時限ノ間商人カ消費者ニヨリテ拂ハル、以前ニ待タサルヲ得ス然レモ商人ハ此租税ヲ拂ハンカマメニ資本ノ一部分ヲ使用セサルヲ得ス而シテ商人ハ此資本ノ上ニ通例ノ商賣上ノ利益ヲ冀圖スルヲナラン消費者ハ租税ノ金額ニ加ヘテ此利益ヲ商



人ニ返却セサル可カラス此嚴重ナル欠點ハタトヒ商品税ニハ固有ノモノナリト雖モ  
 甚タ多ク適當ナル用心ニヨリテ減少スルヲ得可シ是ニ因テ之ヲ觀レハ商品ノ上ニ租  
 税ノ賦課ト商品ノ消費ニ向ツテ用意サル、時限トノ中間ニハ成ル可ク短少ノ閑隙ヲ  
 シテ經過セシメサルヲ得サルト明カナリ此道理ニヨリテ未熟品ニ租税ヲ賦課スルヨ  
 リハ製造品ノ上ニ租税ヲ賦課スルト尤モ願ハシキト謂フ可シ猶一層此點ヲ説明セ  
 ンカタメニ未製ノ綿花ノ上ノ租税ト綿花ニテ製シタル物品ノ上ノ租税トニヨリテ生  
 シタル別異ノ結果ヲ單簡ニ我輩ヲシテ論述セシム可シ

兩個ノ別異ノ租税カ歳入ニ同一額ヲ收入スルトノトヲ假定スルヲ得可シ第一ニ未製  
 綿花ニ租税ヲ賦課セタリト假定セヨ而シテ未製綿花ノ一萬「ポンド」ノ價直ヲ購求シ  
 タル商人カ一千「ポンド」ノ租税ヲ拂ヒタリト假定セヨ此故ニ此租税ハ商人ヲシテ一  
 萬「ポンド」ノ資本ヲ使用スルノ代リニ一萬一千「ポンド」ノ資本ヲ使用セシムルモノト  
 謂可シ此ノ附加ノ資本ノ上ニ商人八十「ベルセンド」ト假定スルヲ得可キ元來ノ商賣  
 上ノ利益ヲ得ルヲ冀圖スルナラン十二月ノ終リニ於テ商人ハ未熟綿花ヨリ製造シ

課税ノ説明  
 未製品ニ租  
 税ヲ賦課ス  
 ルノ結果

タル商品ヲ物品貯蓄會社ノ人民ニ賣却スルナル可シ然レモ未製綿花ノ上ニ賦課セラ  
 レタル租税カ附加ノ資本ナル一千「ポンド」ノ使用ヲ必要トナスカ故ニ製造サレタル  
 物品ノ價直ハ租税ノタメニ眞實政府ニヨリテ得ラル可キ金額ナル一千「ポンド」ニヨ  
 リテ増加サル、アラシテ一千百「ポンド」ニヨリテ増加セラレサルヲ得ヌ何トナレ  
 ハ若シ然ラスンハ製造人ハ其職業ニ使用シタル資本ニ向ツテ相當ニ辨償サレタルモ  
 ノニ非サレハナリ

我輩ヲシテ今第二ノ假定ヲナサシメヨ而シテ製造シタル物品ノ上ニ拂ハル可キ租税  
 ヲ思考セシム可シ然ルキハ製造人ハ自己ノ商品カ精密ニ小賣商人或ハ物品貯蓄會社  
 ノ人民ニヨリテ購求サル、マテハ租税ヲ拂フヲ求ムルヲアラサルヲナラン此故ニ  
 此物品ノ上ノ租税ハ製造人ノ職業ノ上ニ廣大ナル資本ヲ使用スルヲ要セサルヲナ  
 ラン此故ニ此場合ニ於テハ物品ノ價直ハ若シ製造人ニヨリテ賣却セラレタルキハ租  
 税額ニ超過セル金額ニヨリテ増加セラル、トアラサルナラン此故ニ製造品ノ上ノ租  
 税ニシテ容易ニ賦課セラル可キモノナラハ未熟品ノ租税ヨリハ遙カニ撰擇サル可キ

製造品ニ租  
 税ヲ賦課シ  
 タル結果

後ノ租税ハ  
 消費若ヨリ  
 金額ヲ取去  
 ルナラン



然レ此製造  
品ノ方法ハ  
他ノ方法ニ  
ヨリテ莫ク  
ナリ  
モ

モノナルコトヲ望見セラル可シ然レ此製造シタル商品ニ租税ヲ賦課スルハ之レカ  
メニ格段ナル商賈ヲ有害ナル干渉ニ從ヘシムルト屢ハ是レアリ何トナレハ内國稅ヲ  
徵收シ詐偽ヲ妨害センカタメニ商賈ノ行ハル、所ノ格段ナル法則ニ關シテ禁制ノ  
種々ノ種類ヲ施行セサルヲ得サレハナリ内國稅官ノ錯雜ナル檢査ノタメニ屢々大  
ナル不正ヲ惹起スルトアレハナリ製造品ニ賦課シタル租税ニシテ麥ムギ芽ノ上ニ賦課  
シタル租税ノ如ク容易ニ徵收サル、モノハ稀ニ見ル所ナリ然レ此麥芽製造人ハ或  
ル制限法ニ從ツテ此商業ヲ行ハサルヲ得サルニ到レリ例ヘハ若シ大麥オウソウニシテ濕氣ヲ  
帶ヒタルトハ之レニ注意ヲ要セシメ濕氣ヲ帶ヒタル大麥ハ乾干ナラレメンカタメニ  
敷物ノ上ニ格段ナル方法ニ於テ投出セシメタリ而シテ稅官ハ自己ノ嗜好スル何時  
ニテモ麥芽製造人ノ家屋ニ到リテ之レヲ檢査スルヲ得可シ商賈ニ此妨害ハ非常ニ嚴  
重ナルモノト思考セラレ終ニ此妨害ハ一千八百八十年ニ於テ麥芽ノ上ニ以前賦課シ  
タル租税ニ牛肉稅ヲ代用スルコトヲ決定シタル道理ノ一個條ヲ備フルニ到レリ若シ製  
造ノ錯雜セル手術ヲ含蓄シ或ル規則ニ從ツテ製造サレ偽詐ヲ妨害スルノミナラス租

輸出品ニ租  
稅ヲ賦課ス  
ルノ疑問

稅ヲ徵收センカタメニ政府ノ官吏ニヨリテ注意サル可キ商品ニシテ租稅ヲ賦課セラ  
ル、コトアラハ斯ノ如キ干渉ハ猶ホ嚴シキ有害ノモノナル可シ斯ノ如キ干渉ハ工業ノ  
一種類ノ發生ニハ抑制ス可カラサル障害ヲ生スルモノナラン何トナレハ器械ノ使用  
ヲ刺衝シ他ノ工業上ノ改良ヲ刺衝スル凡百ノ企テハ盡ク妨害サル可ケレハナリ  
此迄此章ニ於テ陳述シタル議論ハ輸入稅及ヒ此國ニ於テ消費サル、商品ノ上ニ賦課  
シタル内國稅ノ外ヲ出テス實際政府ハ此等租稅ノ負擔ハ消費者ニ蒙ラシメサル可カ  
ラサルコトヲ目的トナセリ然レ此種々ノ輸出品ニ亦租稅ヲ賦課セラル、ヲ得ルコト明カ  
ナリ然レ此別異ニ輸出稅ノ動作ヲ思考スルコト願ハシキコトト思考セルモノアリ何トナ  
レハ此租稅ハ外國ニ租稅ノ負擔ヲ變化スルノ見込ヲ以テ賦課セラレタレハナリ且外  
國人ニ租稅ヲ賦課センコトヲ企ツルモ輸出稅ヲ賦課シタル邦國カ自己ニ租稅ノ負擔ヲ  
受ケサルヲ得サルコトヲ人望ムル議論ニ反對シテ説明スルヲ得ルコトナラン  
輸出稅ノ動作ヲ論述センカタメニ萬國ノ商賈ニ關シテ樹立セル主義ノ二三ヲ思考ス  
ルコト必要ナラン此主意ヲ吟味セシトハ一國ノ輸出ヲシテ輸入ニ向ツテ拂ハシムルハ

石炭稅ノ如  
キ輸出稅ノ  
結果



絶へサル傾向アリトノヲ証明サル、ナル可シ又各國カ商品ノ交換ヨリ得ル所ノ利益ノ金額ハ一國カ他國ノ生産ニ向ツテノ需要ト反對ニ變化スルモノナリ需要多ケレハ利益少ナク需要少ナケレハ利益多キヲ証明サル、ナル可シ此故ニ輸出税ヲ論スルニ當リ我輩ヲシテ此主義ヲ心中ニ保有シテ決シテ忘却スルコトナカラシム可シ近  
 代宣言セラレタル夥多ノ輸出税ノ一ハ石炭ノ上ノ輸出税ナリ此財政上ノ所置ハ一千八百六十年ニ於テ國會議院ニ於テ著ルシキ賛成ヲ得タリ此年ハ正ニ佛國ト商賣條約ノ細箇條ヲ論述スルノ時ナリヤ今「シルリング」ノ租税ヲ輸出セラレタル石炭ノ各噸ノ上ニ賦課セラレタリト假定セヨ外國ニ於テ英國石炭ノ價直ハ租税ノタメニ一噸毎ニ二「シルリング」ヲ増加スルコトナラン常ニ商品ノ需要ハ反對ニ商品ノ價直ニ從ツテ變化スルモノナリ此故ニ石炭ノ價直ノ此増加ノタメニ外國ニ於テ英國石炭ノ需要ヲ減少スルコトナラン此故ニ英國ヨリ石炭ノ輸出ハ必ス減少ナスナラン輸出ノ低減ハ他國ニ關シテヨリハ或國ニ關シテハ非常ニ大ナルコトアルナラン例ヘハ佛國ハ伯耳義ベルジウムヨリ石炭ヲ購求スルコトナラン而シテ伯耳義ノ石炭ニシテ租税ヲ賦課セラル、コトアラ

輸出税外見ノ利益

利益ノ一部ノ償

スシテ我英國ノ石炭ハ租税ヲ賦課セラル、コトアルナラハ佛國ハ恐クハ英國ヨリ石炭ヲ輸入スルコトナキニ到ルヲ得可シ此故ニ輸出税ノ第一ノ結果ハ我カ輸出商賣ノ額高ヲ減少スルモノナルコト望見スルヲ得可シ輸出税ヲ賦課セラレタル商品ハ其商品ニ向ツテ外國ノ需要ノ妨害セラレタルカタメニ國內ノ消費者ノ中ニ其價直低落スルコトアルナラン此故ニ石炭ノ如キ物品ノ輸出税ハ被税者ノ全体ノ上ニ二個ノ利益ヲ與フルモノナルコト望見スルヲ得可シ第一ニ輸出税ハ我國ノ炭入ヲシテ外國人ニ拂ハシメ斯クテ我國租税ノ一部ヨリ吾人ヲ救助スルナラン第二ニ石炭ノ價直ハ減少スルコトナラン而シテ此事ハ一般ニ國民ノ利益トナルコトナラン  
 此外見ノ利益ノ辨償トシテ疑ヒモナク石炭商賣ハ石炭ノ輸出ノ減少セタルカタメニ困難ヲ受クルナラントノコトヲ論述スルヲ得可シ而シテ鑛山ノ所持者ハ石炭ノ價直低落シタルカ爲メニ利益ヲ得ルコト少ナラン然レモ工業ノ格段ナル種類ニ關係セル人民ノ上ニ興起スル損失ハ我輩カ被税者ノ全体ニ關係セルト稱シタル利益ニヨリテ辨償サル、ヨリハ猶甚ダシトノコトヲ反對スルヲ得可シ然レモ猶緊切ナル一點ノ決定セ



ラル、ト無クシテ存在セルアリ何トナレハ若シ租税ノ賦課セラレタルカタメニ我カ輸出ノ妨害セラル、アラハ我カ輸入商業ノ上ニ生ス可キ結果ヲ今マテ思考セシトアラサレハナリ

吾人ノ輸入  
商業ニ生シ  
タル結果ノ  
吟味

此問題ヲ吟味センカタメニ石灰ニ賦課シタル輸出税ノタメニ佛國ヲシテ此國ヨリ石炭ノ輸入ヲ廢止シタリト假定スルヲ得可シ輸出ハ輸入ニ向ツテ交易サル、モノナルトハ既ニ之ヲ証明セリ此故ニ一國ノ輸出商賣ニシテ減少スルアラハ他物以前ト異ナルトナクンハ其國ノ輸入額ハ亦減少セケルヲ得ス此事實ニ然ラサルヲ得サルナリ何トナレハ輸出サル、所ノ商品ハ輸入サル、所ノ商品ニ向ツテ拂フモノナレハナリスノ如キ一國ノ外國商賣ノ減少衰頹スルアラハ國ノ富ヲ減少セサルヲ得ス何トナレハ外國商賣ハ各國ヲシテ其國ノ尤モ大ナル自然ノ利益ヲ所持スル工業ノ或ル種類ニ適合セシメ之レカタメニ力役及ヒ資本ノ効力ヲ増加セシムルモノナルトハ既ニ之レヲ論述シタレハナリ此故ニ輸出税ハ財政上ノ所置トシテ利益ナルカ或ハ利益ナラサルカノ疑問ハ重ニ格段ナル場合ノ事情ニヨリテ決定セサル可カラサルナリ例ハ

輸出税ハ商品ノ輸出ヲ全ク妨害スルヲ充分出來可キ事柄ト謂フ可シ我國ニ於テ絹布製造ノ上ニ輸出税ヲ賦課スルヲアラハ以上ノ結果ヲ呈出スルトハ實ニ疑フ可カラサルトナラン絹布商賣ニ於テ英佛兩國間ノ競争ハ實ニ非常ナルモノナリ一方ニ於テハ佛國ハ廉價ナル力役ヲ所持シ且佛國ノ氣候朗清ナルカタメニ染物ニ秀麗ノ色ヲ與ヘリト想像セラル、ニ到レリ他方ニ於テ英國ハ佛國ヨリハ多ク備儉ニ製造スルヲ得可シ何トナレハ英國ハ多ク完全ナル器械及ヒ廉價ナル薪炭ヲ所持スレハナリ此故ニ佛國或ハ英國カ尤モ廉直ノ割合ニ於テ外國ニ絹布品ヲ賣却スルヲ得可キカラ決定スルト甚々困難ナリト謂フ可シ此故ニ英國絹布ノ上ニ輸出税ヲ賦課スルトアラハ此工業ノ關係スル所ヨリ論スレハ充分英國ヲ外國市場ヨリ放棄スルト明カナリスクテ工業ノ大切ナル種類ノ繁榮ハ妨害セラル、トナラン斯ノ如キ事情ノ下ノ輸出税ハ尤モ不幸ニシテ防禦ス可カラサルトナラン

合衆國ニテ  
棉花ノ上ニ  
賦課シタル  
輸出税ノ結  
果



ニ我輩ヲシテ米國ノ綿花ノ上ニ「ポンド」毎ニ半「ペンニー」或ハ「ペンニー」ナル  
 些少ナル輸出税ヲ賦課セシキニ得ラル可キ結果ヲ論述セシム可シ斯ノ如キ些少ノ輸  
 出税ト雖而合衆國ノ歳入ニハ著ルシキ金額ヲ得タルナラン米國産ノ綿花ヲ購求スル  
 ノ外國ハ勿論此租税ヲ拂ハサルヲ得ス此故ニ斯ノ如キ財政上ノ所置ハ或ル方法ニ於  
 テ有害ニ合衆國ノ實際ノ利益ニ影響ヲ及ホセシヤ否ヤヲ吟味スルト尤モ利益ノモノ  
 ナラン斯ノ如キ租税ノ第一ノ結果ハ明カニ米國ノ綿花ヲ輸入セシ國ニ於テ米國綿花  
 ノ價直ヲ少クトモ租税ト一樣ナル金額ニヨリテ高直ナラシムルナラン若シ輸出税  
 ニシテ「ポンド」毎ニ「ペンニー」ナラハ英國ハ米國ノ綿花ニ向ツテ「ポンド」毎  
 ニ五「ペンス」ヲ拂フ「代リ」ニ六「ペンス」ヲ拂ハサル可カラサルナラン恐ラクハ  
 米國綿花ノ價直ノ此高直ノタメニ英國ヲシテ他ノ供給ノ原因ヨリ綿花ヲ得セシムル  
 ナラント思考スルヲ得ヘシ若シ他國ニシテ米國ノ如キ綿花ノ生産ニ向ツテ同一ノ  
 利益ヲ所持スルナラハ此事ノ然ラサルヲ得サルハ疑フ可カラサルナラン此故ニ  
 若シ商品ニシテ輸出税ヲ賦課シタル邦國ノ如ク他國ニ於テモ一樣ナル都合ヨキ箇條

斯ノ如キ租  
 税ハ製造者  
 價直ニ  
 花ノ製造者  
 其ノ及ホス  
 租税ノ及ホス  
 ス

ニヨリテ生出サル、ナラハ未熟品或ハ製造品ニ輸出税ヲ賦課スルトハ尤モ不得策ナ  
 ルト從ツテ起ラサルヲ得サルナリ然レ而綿花ニ關シテハ米國內亂ノ間ニ合衆國ナク  
 ンハ英國及ヒ他國ニ向ツテ要スル所ロノ未製綿花ノ分量ヲ得ルト甚々難シトノコトヲ  
 顯ハセリ他ノ原因ヨリ得ラル可キ供給ハ實際限リアルモノナルカ故ニ二百或ハ三百  
 「ペルセント」ニ於テ價直ノ騰貴スルアルモ吾人ノ其高直ノ價ナルニモ拘ハラズ購求セ  
 ント欲ハル廣大ナル綿花ノ分量ヲ供給スルト能ハサル可シ此故ニ印度及ヒ他國ノ供  
 給ノ原因ニシテ充分ニ發達スルニ至ルマテハ若シ合衆國ニシテ此物品ノ上ニ些少ノ  
 輸出税ヲ賦課スルトモ我輩ハ未製綿花ニ向ツテ他國ニ於テ之ヲ求メサル可カラスト  
 ノトテ想像スル能ハサルナリ此輸出税ノタメニ起リタル綿花價直ノ騰貴ハ英國ノ如  
 キ邦國ノ購求スル綿花ノ分量ヲ減少スルト甚々些少ノナラン若シ英國ノ製造人ニ  
 シテ未製綿花ニ向ツテ高直ノ價額ヲ拂フ「代リ」ハ製造人ハ製造品ニ向ツテ高直ノ價  
 額ヲ顯ハサ、ルヲ得ス而シテ綿花品ノ價直ニシテ増加スルナラハ綿花品ノ需要ハ減  
 少スルナラン然レ而綿花品ノ價直ヲ甚々騰貴セシムレハ製造人ヲシテ未製綿



花價直ノ騰貴ニ向ツテ辨償スルニ充分ナラン而シテ斯ク價直ノ上ニ些少ノ騰貴ヲ及  
 ホスモ贅澤品トシテ使用セラル、ニアラス然レモ生活ノ必需品ノ一ヲ用意スル商品  
 ニ向ツテノ需要ノ上ニハ唯些少ノ勢力ヲ及ホスノミナラン綿花耕作ノ未來ニ占有ス  
 ル位置ハ如何ナルカ今ヨリ之レヲ預言スル甚々難シ合衆國ハ内亂ニ先ツ或ル時限  
 ノ間綿花ノ生育ニ向ツテ自然ノ專賣ヲ所持セリ此自然ノ專賣ノ永續スル限リハ合衆  
 國ニ於テ課賦シタル未熟綿花ノ輸出税ハ唯財政上ノ所置トシテ思考スレハ政略ノモ  
 ノト稱スルモ敢テ不可ナカル可シ今吟味セシ格段ナル場合ニ於テ我輩ハヤ、輸出税  
 ニ便益ナルモノヲ陳述シタリト雖モ我輩ノ議論ハ合衆國カ綿花ノ成長ニ關シテハ自  
 然ノ專賣ヲ保有セリトノ實事ヲ基礎セルモノナルヲ中心ニ記憶セサル可カラズ此  
 故ニ此事ハ充分例外ノ場合ナリ以前ノ證例ニヨリテ視示セル如ク輸出税ハ一國ノ輸  
 出商賣ヲ殘害シ斯クテ一國ノ富ヲ減少スルモノナルヤ殆ント疑フ可カラサルヲナラン  
 我輩ハ此章ニ於テ此迄輸入税ハ政府ニ向ツテ歳入ヲ得ント欲スルノ單一ナル目的ニ  
 向ツテ賦課セラレタルモノナルヲ思考セリ然レモ甚々近代マテハ輸入税ニヨリテ

此租稅ハ例  
 外ノモノト  
 シテ財政上  
 ヨリ政略ニ  
 合スルモノ  
 ナラン

保護ノタメ  
 ニ置カレタ  
 ル輸入税

中

他ノ尤モ大切ナル目的ヲ達スルヲ得可シト一般ニ確信スル所トナレリ五十年前  
 ハ保護 稅 論ハ此英國ニ於テ其說ノ今日廢棄セラレシ如ク一般ニ採用スル所ト  
 ナレリ米國佛國尤モ多ク大陸諸國ニ於テ政治家ノ過半ハ現今ト雖モ熱心ナル保護  
 政略家ナリ此故ニ今日ト雖モ實際上ノ疑問トシテ若シ輸入税カ政府ノ歳入ヲ得、一國  
 ノ工業ヲ保護スルノ二重ノ目的ニ向ツテ賦課セラレタルモ其結果ノ如何ヲ吟味ス  
 ルト非常ノ緊切ノモノナル可シ輸入税ハ此二重ノ目的ヲ達センカタメニ容易ニ整理  
 スルヲ得ルヲハ充分明カナリ其例証ニ向ツテ我輩ハ既ニ佛英兩國ニ於テ絹布商賣ノ  
 競争ノ甚々シキヲハ既ニ之レヲ陳述セリ此故ニ若シ「ベルセント」ノ如キ輸入税カ  
 佛國絹布ノ上ニ賦課セラル、ナラハ而シテ若シ同時ニ英國ノ絹布ニ輸出税ヲ賦課ス  
 ルトアラズンハ佛國ノ絹布ハ恐ラクハ全ク英國ノ市場ヨリ放棄サル、ト實ニ明白  
 ナリト謂フ可シ此議論ト同一ノ議論ヲ國內ニ生産セル同種類ノ商品ト競争スル他ノ  
 輸入商品ニ關シテモ維持スルヲ得可シ此故ニ充分高キ輸入税ヲ商品ニ賦課シ全ク  
 商品ノ輸入ヲ制限シ或ハ抵止スルヲ敢テ難キニ非ラサルナリ



保護稅ハ帶  
勤勞ノ本及ヒ  
フ含テセリ

萬國商賈ニ關シテ樹立セラレタル主義ハ若シ輸入品ニ保護稅ヲ賦課シテ商品ノ輸入  
ヲ妨害スルナラハ國民カ受クル所ノ損失ヲ明瞭ニ證明スルモノト謂フ可シ若シ兩  
國間ニ商賈ノ行ハル、アラハ各國ノ富ハ増加スルナル可シ何トナレハ各國カ尤モ廣  
大ナル自然ノ利益ヲ所持スル工業ノ種類ニ其國ノ勞働及ヒ資本ヲ適合スルヲ得可ケ  
レハナリ斯クテ我輩ノ以前ノ說明ヲ再陳スレハ穀物ヲ產出スルノ費用ハ鋼鐵ヲ生産  
スルノ費用ト比較スレハ佛國ニ於テハ英國ヨリ甚々寡少ナリトノト假定シタリ假令  
ハ鐵ノ一噸ハ佛國ニ於テハ小麥ノ十俵ヲ生産スルノ費用ヲ消費スルモ英國ニ於テハ  
鐵ノ一噸ハ小麥ノ六俵ト一樣ナル價直ヲ有スルナラント假定スルヲ得可シ此故ニ佛  
國ニ於テ英國產ノ鐵ノ上ニ保護稅ヲ賦課シ而シテ英國ニ於テ佛國產ノ穀物ノ上ニ保  
護稅ヲ賦課シ佛國ニ英國產ノ鋼鐵ノ輸入ヲ禁止シ英國ニ佛國產ノ穀物ノ輸入ヲ禁ス  
ルトアラハ英佛兩國ハ之レカタメニ損失ヲ受クルトヲ知認スルハ容易ナリト謂フ可  
シ斯ノ如キ保護稅ハ勤勞ト資本ヲ無益ニ消費セシムルトナラン語ヲ變ヘテ之ヲ言ヘ  
ハ勤勞ト資本トヲ其生産力ヨリ放逐セシムルトナラン英國ニ於テハ小麥ノ六俵ハ鋼

保護貿易論  
者ハ此損失  
ヲ忘レシテ  
シテ自由貿  
易ニヨリテ  
蒙ルラシメ  
タル内國工  
業上ノ一時  
ノ害ヲ示セ  
セリ

鐵ノ一噸ヲ生産スルノ價直ヲ有セリ然レモ若シ英佛兩國間ノ商賈ニシテ禁制サル、  
トアラスンハ英國ハ佛國ニ向ツテ鋼鐵ヲ生産センカタメニ小麥ノ生長ニ要スル勤勞  
及ヒ資本ノ一部ヲ放逐セシムルヲ得ヘシ鋼鐵ノ各噸ニ向ツテ小麥ノ八俵ヲ英國ニ與  
フルトハ佛國ノ利益タルヤ明カナリ此故ニ禁制セラレタル商賈ノタメニ一國ノ富ハ  
非常ニ増加スルトナル可シ蓋シ以前ニハ唯小麥ノ六俵ヲ生産スル勤勞及ヒ資本ノ或  
ル額高ハ今鋼鐵ノ一噸ヲ生産スルニ到リタレハナリ其鋼鐵ト交易センカタメニ外國  
ハ好シテ小麥ノ八俵ヲ賦與スルナラン  
萬國通商ノ上ニ陳述セル議論ト結合シテ思考セシ以上ノ議論ハ結局保護稅ノタメニ  
生出スル有害ナル結果ヲ說明セシモノトシテ思考スルヲ得可シ然レモ保護貿易家ハ  
一國ノ富ノ此損失ヲ忘却シ飽クマテモ保護政策ヲ主張スルモノ、如シ何トナレハ保  
護貿易家ハ此政策ノ補助ナクシテハ工業ノ或ル格段ナル種類カ外國ニ對シテ競争ス  
ルノ不適當ナラントノトヲ知了スレハナリ例ヘハ若シ小麥ニレテ英國ニ於テヨリハ  
佛國ニ於テハ甚々廉價ナル割合ニ於テ生長セシムルヲ得ルナラハ英國ノ農夫ハ佛國



ノ農夫ニ反對シテ競争スルコトハ出來可カラサルコト、論述スルヲ得可シ一方ニ於テ若シ廉價ノ英國鋼鐵ニシテ自由ニ佛國ニ輸入セラル、ナラハ佛國ノ鋼鐵支配人ハ英國ノ鋼鐵ノ支配人ニ對シテ競争スルコト一様ニ出來可カラサルコトナラン此故ニ若シ自由貿易ニシテ英國ニ於テ耕作ノ利益ヲ零落セシメ佛國ニ鋼鐵ノ利益ヲ零落セシムルコトアラハ自由貿易ハ實ニ危難ナル經驗ト謂フ可シト尤モラシク議論スルモノナキニアラス然レモ商賣人ノ如何ナル種族モ保護税ノタメニ永久利益ヲ受ケ自由貿易ノタメニ永久害惡ヲ受クルコトナキハ容易ニ證明スルヲ得可シ保護ニヨリテ永續シタル利益ヲ得ル唯ノ種族ハ地主ナリ陸地ノ財産ハ自然ノ專賣ノ所持トシテ記載スルヲ得可シ此自然ノ專賣ノ價直ハ人爲ニヨリテ保護ノタメニ騰貴スルヲ得可シ然レモ他ノ事情ヨリシテ殆ント避ク可カラサル地主ト雖モ此利益ヨリ放逐サル、モノナルコトヲ顯スルヲ得可シ穀物條例ノタメニ英國農夫ノ位置ノ上ニ生シタル結果ハ如何ナル商人ノ種族モ永久保護税ノタメニ利益サル、能ハサルコトヲ證明センカタメニ引用スルヲ得可シ穀物條例カ穀物ノ輸入ノ上ニ賦課シタル禁制ハ此國ニ於テ穀物ノ價直ヲ増

英國ノ穀物  
ニ於テ自由  
貿易ノ思想  
ハ永久英國  
商人ノ或ル  
種族ヲ害ス  
ルモノニア  
ラサルコトヲ

加セシコトハ疑フ可カラス此故ニ保護ノタメニ穀物ノ價直ヲ増加シタルカ故ニ保護ハ英國農夫ノ上ニ格段ナル利益ヲ賦與シタルモノナリト決定セラレタリ然レモ永久ノ廉低ナル價直ハ永久高直ナル價直ノ如ク英國ノ農夫ニ利益ナルモノナリトノコトヲ心中ニ記憶セサル可カラズ我邦ノ如ク廣大ナル商賣上ノ企テアル邦國ニ於テハ資本ノ競争ハ別異ノ商賣ニ於テ利益ヲ平等ナラシメントスル傾向ハ決シテ絶ユルコトナカル可シ若シ凡テ耕作ノ生産物ノ價直ニシテ二倍トナルナラハ農夫ノ概略ノ所得ハ二倍トナルナラン此故ニ農夫ニシテ若シ附加ノ利益ヲ自己ニ分配セラル、ナラハ農夫ノ利益ハ非常ニ増加セラル、ナラン然レモ若シ農夫或ハ商人ノ或ル他ノ種族ノ利益ニシテ大ニ増加セラル、ナラハ耕地ニ向ツテ直チニ活潑ナル競争ノ刺衝ヲ生シ從ツテ地代金ハ騰貴スル所トナリ農夫ノ利益ハ速カニ以前ノ額高ニ減少セラル、ナラン斯クテ農夫ハ利益ヲ受クルコトアラサルモ地主ハ非常ニ利益ヲ受クルコトナラン又若シ耕作ノ生産物ノ價直ニシテ外國ノ輸入ノタメニ減少セラル、ナラハ農夫ノ利益ハ大ニ減少セラル、ヲ得可シ然レモ商人ハ若シ自己ノ職業ヨリ通例ノ利益ノ割合ヲ得ル



能ハスンハ其職業ヲ廢止スルヲナラン此故ニ地主ハ地代ノ減少ニ從ハサルヲ得ス此故ニ結局困難ヲ受クル所ノ人ハ農夫ニアラスレテ地主ナル可シ勿論農夫ハ一時償直ノ不意ニ騰貴シタルカタメニ利益ヲ受クルヲ得可シ償直ノ不意ニ下落シタルカタメニ一時害セラルトナキニアラサル可シ例ヘハ許多ノ耕地ハ年賦ニ於テ貸與セラレタルモノナルカ故ニ斯ノ如キ田地ノ地代ハ直チニ騰貴シ或ハ直チニ下落スルノ憂ヒアルヲナシ且若シ格段ナル商賣ニヨリテ得ラレタル利益カ償直ノ不意ノ變化ニヨリテ得ラレタルモノナラハ其商賣ノ嚴格ナル有様ニ回復スル以前ニ著ルシキ時限ヲ經過セサルヲ得入此間隙ノ間ニ於テ商人ハ例外ニ廣大ナル利益ヲ得ルカ或ハ非常ニ利益ノ低下ナル割合ニ服従スルヲ得ヘシ

自由貿易ハ地主ニ一時ノ害ヲ生ズルニ得ヘシ然レモ實際ニ於テハ此結果ヲ生ズルハ稀ナリ

出來可キ理論上ノ結果トシテ地主ハ保護稅ノ廢止シタルカタメニ害ヲ受ケタリトトテ證明セリ此國ニ於テ自由貿易ノ流行ヨリ得タル經驗ニテハ一般ニ種々ノ仕方ニ於テ辨償ヲ受クルトナラン近時數年ノ間英國ノ耕作ニ於テ著ルシキ不景氣ヲ呈シ地代金非常ニ低落シタルトハ疑ヲ容レサル可シ然レモ猶今日ト雖田耕作ノ陸地ノ償直

ハ僅少ノ場合ノ外ハ穀物條例廢止以前ヨリモ甚ク騰貴セリ而シテ此不景氣ハ不順ノ氣候永續シタルカタメニ重ニ生シタルトナル可ケレハ若シ再ヒ都合ニヨリ時限ノ回復スルアラハ騰貴ノ色ヲ顯ハストナラン自由貿易ノ導カレタル以後害ヲ受ケズレテ近代マテ起リタル地代ノ騰貴及ヒ陸地ノ償直ノ増加ハ容易ニ説明スルヲ得可シ何トナレハタトヒ小麥ノ償直ハ外國ノ輸入ニヨリテ低減セラレタリト雖田耕作生産物ノ他ノ種類ノ償直ハ非常ノ騰貴ヲ呈出セシメタレハナリ牛肉、絹布ノ生産物及ヒ大麥ノ如キハ保護稅ノ廢止以前ヨリモ今日反ツテ高直ノ有様ナリ且此等ノ物品ノ騰貴ハ多クハ自由貿易ニ原因スルモノナルトテ記憶セサル可カラズ保護ノ蛛網ヨリ脱却シタル吾カ商業ハ尤モ非常ナル仕方ニ於テ擴張スル所トナレリ一億万「ポンド」ノ巨額ナル輸入商ノ増加ハ貯蓄シタル富ニ非常ナル増加ヲ顯ハシタルモノト謂フ可シ語ヲ變ヘテ之レヲ言ヘハ此國ノ資本ニ非常ナル増加ヲ顯ハシタルモノト謂フ可シ然レモ此國ノ資本ニシテ増加スルアラハ貸銀ニヨリテ消費セラレタル金額ハ隨カニ増加セラル、ナル可シ斯クテ禁制セラレサル商業ノ交通ニヨリテ創造セシ増加ノ富ハ一



般ニ國民ノ中ニ分配サル、所トナレリ人口大ニ増加シ人民日ニ富ムルハ牛肉、絹布ノ生産物及ヒ滋養物ノ多額ヲ消費ス可シ滋養物及ヒ絹布ノ生産物ハ輸入センカタメニハ費用甚々多シ而シテ大麥ノ如キモ船中ニ於テ長ク貯蓄セラレタルハ善良ナル麥芽ヲ生出スル能ハサルナリ此故ニ此等ノ商品ハ大ニ價直ノ騰貴スル所トナレリ此故ニ農夫ハ保護税ノタメニ保護セラレタルモ高キ地代ヲ拂フニ適當スルニ到レリ而シテ自由貿易ノ導カレタル以後多年ノ間陸地ノ利益ニ向ツテ成長スル所ノ繁榮ハ保護政治家ニヨリテ斯ク屢ハ悲嘆シテ視不セラレタル妨害アル零落ニ代用セラル、所トナレリ

工業ノ格段  
一時自由貿易ノ困難ヲ受ク  
ハトナキニ  
アラス然レ  
正其結局ノ  
結果ハ利益  
ノモノタラ  
サルヲ得ス

若シ工業ニシテ保護税ノタメニ補助養育セラレタルアラハ工業ノ或ル格段ナル種類ハ外國競争ノタメニ全ク廢止セラル、トアルヲ得ルハ疑モナキトナラン其例証トシテ英國カ佛國ノ例ニ從ツテ甘<sup>ビヤム</sup>蔗<sup>シュガー</sup>ヨリ砂糖ノ内國ノ製造ヲ獎勵センカタメニ砂糖ノ上ニ高キ輸入税ヲ賦課シタリト記載スルヲ得可シ甚々緊要ナル砂糖ノ利益ハ斯クテ人造ニヨリテ創造セラル、ヲ得ラル可シ然レモ保護ノ救助ニシテ廢止セラル、

トアラハ内國生長ノ砂糖ノ生産者ハ外國ノ輸入ニ反シテ競争スルト出来可カラサルトナラン此故ニ國産ノ格段ナル部分ハ直チニ破壊セラル、トナラン工業ノ一種類ノ破壊ハ恐クハ不幸ノモノトナシテ思考スルヲ得可シ何トナレハ力役者ハ職業ヨリ放棄セラレ資本主ハ資本ノ放金ヨリ放棄セラル、ナラント思考スルヲ得可ケレハナリ格段ナル工業ノ種類ニ關係セル力役者ニシテ自己ニ馴レタル力役ヲ放棄セサルヲ得サルトアラハ力役者ハ損失ヲ受クルト疑ヒヨ容レス工業ノ各種類ハ皆或ル格段ナル熟練或ハ智識ヲ要スルモノナリ此故ニ力役ノ新規ノ種類ニ於テ關係セサルヲ得サルノ人ハ其人ノ得タル熟練ノ利益ヲ失フトナル可シ又使用者ハ自己ニ熟練セル工業ヲ放棄セサルヲ得サルナラハ損失ノ或ル額高ヲ受ケサルヲ得ス使用者ハ又大ナル程度ニ於テ犠牲ニ供セサルヲ得サル格段ナル智識ヲ所持セリ而シテ著ルシキ消費ナクシテハ資本ノ一ノ職業ヨリ他ノ職業ニ移轉セシムルト能ハサル可シ工業ノ各種類ニ於テ固定資本ノ形体ヲ分有セル巨額アリ器械、建築物ノ如キハ廣大ナル費用ヲ要センハ新規ノ使用ニ變化セシムル能ハサルナリ此等ノ一時ノ不利益ハ疑ヒモナク保護



何トナハ  
商トナハ  
生ラハ  
代リ  
ニ  
入ルモ  
ノ  
國ノ  
ナラサ  
レハナ  
リ

税ノ廢止ニ伴フヲ得ヘシ然レモ夥多ノ辨償ハ自由貿易ヨリ結局起フサル可カラサル  
廣大ナル利益ニヨリテ用意セラル、モノナリ消費者ノ全体ハ廉價ノ商品ヲ以テ用意  
サル、ナル可シ而シテ此國ノ富ハ増加セサルヲ得ス何トナレハ勤勞及ヒ資本カ雙方  
多ク生産力ヲ有スルニ到リタレハナリ若シ保護貿易論者ヲシテ商品ヲ生産スルノ代  
リニ商品ヲ輸入スルモ決シテ一國ノ損失トナラサルヲ一度明瞭ニ知了セシメシナ  
ラハ今日猶ホ外國ノ保護貿易論者カ自由貿易ニ反對シテ論述シタル重要ナル議論モ  
直チニ放棄セラル、トナラン若シ商品ニシテ輸入セラル、ナラハ一様ナル價直ノ商  
品ヲ輸入セラレタル商品ニ向ツテ拂ハンカタメニ輸出セラレサルヲ得ス此故ニ自由  
貿易ノ導ヒキニヨリテ商品ヲ自國ニ生産スルノ代リニ商品ヲ購求スルヲアルモ此國  
ノ全タキ富ハ減少スル丁能ハス再言スレハ勤勞及ヒ資本ハ單ニ一ノ工業ヨリ他ノ工  
業ニ移轉シタルニ外ナラヌ何トナレハ若シ商品ノ巨額ヲ外國ヨリ供給スルヲアラハ  
此増加シタル輸入ニ拂フ所ロノ増加シタル輸入ヲ供給センカタメニ廣大ナル分量カ  
亦内國ニ於テ生出セサルヲ得サレハ也

稚國ノ議論  
ノ思者

保護自由兩貿易ノ中間ノ舊戰爭ハ今日濠洲殖民地ニ於テ戰ハル、所トナレリメル  
ポルン府ニ滞在セル「タイムス」新聞ノ通信者カ其勇壯ナル書狀ノ一ニ於テ吾人ニ視  
示セル所ロヲ見ルニ保護貿易論者ノ黨派ハ近代ノジエイ、エス、ミル氏ヲ含蓄セル許  
多ノ經濟學者ノ書籍ヲ引用シテ其黨派ノ所業ヲ保護セリトヨル氏ハ恐ラクハ或ル他  
ノ記者ヨリ甚タ明カニ保護政策ノ誤謬ヲ説明セルトハ我輩ノ陳述ヲ待タスシテ世人  
ノ常ニ熟知スル所ロナリ殖民地ノ保護貿易論者ハミル氏ハ論者ノ説ヲ補助シタルモ  
ノナリト主張セリ其故如何ト謂フニ氏ハ經濟學ノ主義ト題セル一章ニ於テ(第五卷十  
章ヲ見ヨ)陳述シテ曰ク幼稚ナル殖民地ノ場合ニ於テ若シ人造ノ獎勵ニヨリテ永久  
繁榮シテ殖民地ニ工業ノ或種類ヲ樹立セシムルヲ得ルナラハ而シテ若シ保護ノタメ  
ニ刺衝養成セラル、ニアラスンハ工業ノ此種類ハ決シテ繁榮ノ目途ナレトハトヲ視  
示セラル、ナラハ保護稅ヲ賦課スルハ時ニヨリテハ得策ナルヲ得ヘシト是レ保護貿  
易論者ノ説ヲ賛成シタルモノニ外ナラスト主張セリミル氏ハ保護貿易ノタメニ此例  
外ヲ顯ハセリ何トナレハ氏ハ最初殖民地ニ於テ起リタル工業ハ常ニ格段ナル困難ト



争フ可キモノナルヲ想像シタレハナリ此故ニ殖民地ニシテ或ル格段ナル工業ノ長  
 日月ノ間行ハレタル所ノ邦國ト競争スルナラハ非常ノ不利益ノ下ニ置カル、  
 ナラシムルヲ  
 ン殖民地ノ商人ハ保護ノ形ヲニヨリテ政府ヨリ補助ヲ受取ルニアラスンハ此不一様  
 ナル競争ヲ廢止スルコトナラン斯クテ其生育ニ向ツテ殖民地カ格段ナル利益ヲ所持ス  
 ルヲ得ヘキ工業ノ種々別異ノ種類モ暗々裡ニ殖民地ヨリ放棄セラレタルコトナラン斯  
 テ殖民地保護貿易論者ノ議論ハ其尤モ都合ヨキ尤モラシキ形体ニヨリテ顯ハサル、  
 所トナレリ我輩若シミル氏ノ此假説ニ一致スルナラハ氏ハ疑ヒモナク強盛ナル例  
 證ヲ顯シタルモノト謂フ可シ然レトモ吾人ノ判断スル所ロニテハ若シ工業ノ最初新  
 殖民地ニ導カレタルトキニハ必ス争ハサル可カラサル格段ナル困難ヲミル氏ハ餘リ  
 廣大ニ顯ハシタルモノト謂フ可シ濠洲ハ自國ニ商品ヲ生出セシムルコトヲ爲サスシテ  
 凡百ノ製造品ヲ英國ヨリ購求セリ蓋シ英國ニ於テハ勤勞器械及ヒ薪炭ノ如キハ濠洲  
 ヨリハ甚々廉直ナレハナリ若シ濠洲人ニシテ英國ノ商品ノ濠洲ノ市場ヨリ放棄セン  
 トノ約束ニテ製造所ヲ内國ニ創造スルアラハ英國ニ製造ノ工業ニ秀勝ヲ賦與スル此

保護政策ノ  
 廢止スルノ  
 困難

等ノ事情ハ勢力ヲ減少スルニ到ルカ其道理ハ明カニ無キモノ、如シ勤勞、器械及ヒ  
 薪炭ニシテ濠洲ニ於テハ非常ニ高直ニシテ英國ノ物品ヲ購求セ加フルニ一萬二千里  
 ノ間物品ヲ輸送セシ費用ヲ拂フモ猶ホ且ツ廉價ナル如キ有様ノ永續スル限リハ製造  
 ノ事業此殖民地ニ繁榮スルノ見込アラサルナリ然レモ若シ數年ノ後ニ於テ濠洲ノ經  
 済上ノ有様變化スルコトアラハ例ヘハ毛織品或ハ木綿品ニシテ英國テヨリテ輸入セラ  
 ル、ヨリハ自國ニ於テ製造スルコト却テ廉直ナル如ク勤勞ニシテ廉直トナルアラハ毛  
 綿或ハ毛織ノ物品製造ハ濠洲ニ於テ繁榮スルコトハ我輩ノ確信スル所ナリ而シテ其  
 物品製造ノ進歩ハ保護税ニアラサレハ消除ス可カラサルカ如キ恐ル可キ格段ナル困  
 難ノタメニ妨害セラル、コトナキニ到ランコト我輩ノ保證スル所ナリ然レモ幼稚ナル  
 殖民地ニ於テ保護税ノタメニ陳述セシミル氏ノ議論ニ反對セル尤モ嚴重ナル議論ハ  
 保護税ニシテ一度賦課セラレタル品ハ之レヲ廢止スルコト甚々困難ナリト謂フニ在リ  
 ミル氏ノ場合ハ保護ハ一時ノ便宜トシテ施行スルヲ得ヘシトノ想像基ヲ礎トセルモ  
 ノナリ斯クテ養育セラレタル工業ニシテ保護ヲ受ケスシテ存在スルヲ得ヘキ強盛ナ



ル地位ニ到リタルハ工業ノ今マテ得タル保護ヲ容易ニ廢止スルヲ得ヘシトノ想像ヲ基礎トセルモノナリ然レトモ合衆國ノ經驗ヨリシテ保護ヲ受ケタル或ル格段ナル工業ニ於テ使用者或ハ力役者トシテ利害ヲ有セル人々ハ隨意ニ自由貿易ヲ受取ルコトナカル可シトノコトヲ正確ニ証明セリ有名ナル米國經濟學者ナルテイ、エ、ウェルス氏曰ク「保護税ノ補助トシテ合衆國ニ行ハル、重ナル議論ハ保護税ノ議決ハ幼稚ナル工業ヲ外國ノ競争ニ對シテ獨立ヲ得セシメ發達ヲ得セシメンカタメニ一時ノ目的ヲ補助センカタメニ起リタルニ外ナラストノトナリトハ雖トモ此國ノ歴史ニ於テ或ル長日月ノ間保護ヲ受ケタル或ル工業ノ代議士ニシテ保護税ノ減少ニ服従スルヲ好ミ自由ニ此議論ヲ發議シタル場合ハ決シテ之レアラサルナリ然レトモ之レニ反シテ猶ホ益々高キ租税ヲ賦課セントスルハ欲望ハ決シテ満足セシムルト能ハサル可シ」保護ニ向ツテ此欲望ニシテ拂ハル、賃金ハ或ル他ノ邦國ノ力役者ニヨリテ受取ラレタル賃金ヨリハ甚タ高直ナル社會ニ於テ起リタリトノコトハ奇著ノトト謂フ可シ且濠洲ニ於テハ資本主ノ位置ハ力役者ノ位置ノ如ク満足ヲ得タルモノ、如シ何トナレハ前章

ニ於テ濠洲ニハ豐饒ナル陸地非常ニ澤山ナルカ故ニ其結果トシテ富ノ生産ハ利益及ヒ賃金ノ非常ニ高キ其都合ヨキ利益ノ下ニ行ハル、モノナルコトヲ屢ハ現ハシタレハナリ此故ニ其殖民地ニ於テ繁榮スル工業ノ種々ノ種類ハ格段ニ報酬多キモノナラサル可カラス而レテ勤勞及ヒ資本ニ比例シテ今日行ハル、所ノ工業ノ種類ヨリハ富ノ生産些少ナル或ル商賣カ保護税ノタメニ刺衝セラル、ナラハ社會ハ甚タシキ損失ヲ受ケサルヲ得サルヤ明カナリ此故ニ此場合ニ於テハ或ル他ノ場合ノ如ク保護ハ勤勞及ヒ資本ヨシテ一ノ工業ヨリ富ノ些少ナル生産力ヲ有スル他ノ工業ニ變移セシム可キ有害ナル傾向ヲ行フコトナラン濠洲ニ於テ若シ勤勞ノ充分ナル供給アルナラハ富ノ蓄積ハ無限ニ増加スルコトナラン而シテ濠洲ノ保護貿易論者ハ論者ノ政略ハ輸入商品ヲシテ高價ナラシムルモノニシテ之レカタメニ力役者カ此殖民地ニ移住スレハ得ラル可キ利益ヲ減少スルモノナリトノ實事ヲ忘失ス可カラサルナリ

此章及ヒ前章ニ於テ直税及ヒ間税ト結合セル重要ナル事情ハ簡略ニ陳述セリ通例租稅論ノ記者ハ此兩別異ノ組織ヲ比較シ以テ各組織ノ利益及ヒ不利益ヲ差引センコトヲ

自由保護兩  
貿易ノ間ノ  
比較ハ屢々  
ナサレタリ



斯ノ如キハ  
一般ノ比較ハ  
誤認ナリ

企テタリ然レモ我輩ハ斯ノ如キ比較ハ相當ニ出來可カラサルモノナリト思考スルナ  
リ此企テハ混雜ナル結果ニ導ヒクヲ得可シ例ヘハ直税ハ間税ヨリハアダム、スミス  
氏ノ租税ノ第四ト一致スルモノナリト顯ハサル、ナラハ此問題ヨリシテ直チニ政府  
ノ全廣入ハ直税ニヨリテ徴收セサル可カラサルヲ主張スルニ到ラン若シ斯ノ如キ  
宣言ニシテ實施セラル、ナラハ之レヨリ生スル有害ナル結果ノ二三ノモノハ既ニ此  
章ニ於テ之レヲ説明セリ直税及ヒ間税ハ雙方各々或ル欠點及ヒ不公平ニヨリテ伴ハ  
ル、モノナリ而シテ其欠點及ヒ不公平ハ唯一部分療養スルヲ得ルノヨナラン直税ニ  
屬スル欠點ハ商品ノ上ノ租税ト必ス結合セル他ノ欠點ヨリハ甚々大切ナルヤ否ヤヲ  
正確ニ決定スルハ出來可カラサルヲナル可シ例ヘハ所得稅ハ道理上ヨリ二個ノ區別  
セラレタル基礎ニヨリテ反對スルヲ得可シ第一ニ所得稅ハ貯蓄ニ租稅ヲ賦課スルモ  
ノナリ此故ニ所得稅ハ資本ノ蓄積ヲ失望セシムルモノナリ第二ニ所得稅ハ所得ノ或  
ル種族ニ關シテハ精密ニ拂ハシムルヲ能ハストノテ是レナリ然レモ商品ノ上ノ凡白  
ノ租稅ハ租稅ノ此格段ナル種類ニハ固有ノモノナル或ル不完全ニ從ヘラル、モノナ

中

租稅ノ或ル  
一種類ハ非  
常ニ惡結果  
ヲ生スルモ  
ノナリ

リ例ヘハ商品稅ハ價直ニ從ツテ租稅ヲ賦課スルヲ得ルヲ甚々稀レナリ此故ニ貧人ニ  
ヨリテ購求セラル、茶ノ如キ商品ハ富人ニヨリテ購求セラル、茶ヨリハ遙ニ高キ租  
稅ヲ賦課セラレタルモノト謂フ可シ此故ニ如何ナル基礎ニヨリテ「商品ノ上ノ租稅  
ヲ價直ニ從ツテ賦課スルノ困難ヨリ起ル所」ノ不公平ハ所得稅カ資本ノ蓄積ノ上ニ  
置ク不獎勵ヨリ甚々大切ノモノナルヤ否ヤヲ決セント欲スル乎  
且若シ租稅ノ偶事ニシテ不公平ニシテ且不相當ノモノナラハ社會ニ於テ或ル格段ナ  
ル種族ハ格段ナル害ヲ受ケサル可カラサルヲ記憶セサル可カラズ租稅ノ不公平ハ  
眞實ニ租稅ハ或ル一種族ヨリ不相當ナル金額ヲ徴收シタリトノ意ニ外ナラス此故ニ  
若シ或ル租稅ヲ増加シテ歲入ノ大部ヲ徴收セント欲スレハ各租稅ニ屬スル凡百ノ格  
段ナル欠點ハ社會ノ或ル一種族ニ關シテ尤モ烈シク且不公平ノ中心タラシムルヲナ  
ルヤ明カナリ例ヘハ直税ノ主張者ハ成立セル商品稅ノ過半ヲ排斥シ其場所ニ於テ所  
得稅ヲ代用スルヲナラン斯クテ「ボンド」毎ニ所得稅ノ四「シルリング」ヲ要求セラ  
ル、ナラン而シテ斯ノ如キ租稅ノ徴收ハ稅額ノ増加ヨリハ遙カニ廣大ナル割合ニ於



テ所得税ノ有害ナル結果ヲ生出スルモノナリ例ヘハ我カ現今ノ所得税ハ或ル嚴シキ程度ニマテ資本ノ蓄積ヲ失望セシメタルモノニアラス然レモ「ポンド」毎ニ四「シルリング」ノ所得税ノ増加ハ尤モ強盛ニ資本ノ蓄積ヲ妨害セタルナラン之レカタメニ富ノ生産モ大ニ減少シタルナラン而シテ貸銀ニ於テ消費セラレタル金額モ大ニ減少シカ役者ノ貸銀モ著ルレク減少シタルナラン又若シ政府ノ歳入ノ重要ナル部分ニシテ所得税ヨリ賦課セラル、ナラハ租税ノ不公平ハ現時ニ於テ成立スル不公平ヨリハ猶大ナルナラン何トナレハ商賈人及ヒ製造人ノ如キ或ル種族ハ摘發ノ恐レナクシテ租税ノ一部ヲ免カル、ヲ得可ケレハナリ此故ニ專ラ直税或ハ間税ニヨリテ政府ノ歳入ヲ得ルコトハ不得策ナルモノ、如シ

租税ノ原理ノ上ニナシタル以上ノ議論ヲ歸結スル以前ニ公債ヲ減少スルノ目的ニテ租税ヲ維持スルハ願ハシキナリヤ否ヤノ疑問ヲ思考スルコト敢テ無益ノコトニアラサル可シ歐洲諸國ノ國債ニ一八八十五年以後ニ増加セタル程度ハ既ニ陳述スル所トナレリ同時限ノ間印度ノ公債ニ於テモ亦廣大ナル増加アリ米國ニ於テノ内亂ノ

租税ハ公債  
消却ノ目的  
ニ向ッテ賦  
課セサル可  
カラサル乎

タメニ四年間ニ五億五千六百万「ポンド」ヨリハ少ナカラサルノ公債ヲ生シタレ此公債ハ二十年餘ニシテ四億方「ポンド」ニ減少スル所トナレリ一八八四十八年ニ於テ英國ノ國債ハ歐洲諸國ノ國債ヲ合併セシ七千四百方「ポンド」ニ超過シタリ充分近代マテ英國ノ公債ヲ減少センカタメニ嚴正ナル動作ノナサル、アラサリヤ而シテ一八八十五年ニ於テ興リタル「クリシヤン」戦争ノ終リニ於テ英國ノ公債ハ八億三千四百方「ポンド」ノ巨額ニ上レリ或ハ其公債ヨリ些少ナルコト六千六百万「ポンド」ノ公債ハ一八八十五年ニ於テナポレヨント戦争ノ終リニ於テ生シタルモノナリ

今日或ル時限ノ間借金ヲ減少セシメンカタメニ英國ニ於テ施行シタル企テハ永久ノ年金ヲ定期ノ年金ニ變化センカタメニ毎年或ル金額ヲ仕拂フ是レナリ斯レテ一千八百七十七年以後ハ公債ノ上ノ利子ニ向ッテ年々ノ仕拂金ハ二千八百万「ポンド」ナリキ最近ノ報告ヲ見ルニ一八八八三年三月卅一日ナル財政年期ノ終リニ於テ公債ノ資本ハ七億九百万「ポンド」ナリント云フ若シ二千八百万「ポンド」ニシテ毎年利子ヲ仕拂ヒ元金ヲ減少センカタメニ除去セラル、ナラハ公債ノ減少ニ向ッテ得ル金額

公債消却ニ  
向ッテ英國  
法採用セル



ハ毎年増加スルヲナラン而シテ一千九百三年ニ於テハ公債ノ一億七千三百萬「ポンド」ヲ消却シ其閑隙ニ於テ新公債ヲ募集スルヲアラヌハ公債ハ五億二千六百萬「ポンド」ニ減少スルナラント算定サル、ナル可シ若シ此事件ニシテ算術上ノ事件トシテ思考スルヲ得ルナラハ公債ノ結局ノ減少ノ閑スル所ロニテハ殘餘ノ金額ハ公債ノ直チノ消却ニ適合セシムルモ永久ノ年金ヨリ有限ノ年金ニ變化スルモ少シキ差違アルヲナキヤ明カナリ疑モナク終リノ永久年金ヨリ有期年金ニ變化セシメントナスノ說ノ採用ニ向ツテ一個ノ反對說アルナル可シ若シ有期年金ノ變化ノ興起セル時限ノ間ニ於テ公債ヲ募集スルヲ必要ナルコトアラハ政府ハ一方ニ於テハ金錢ヲ借ルノ位置ニ於テアリナカラ他方ニ於テハ公債ヲ拂フヲナラン而シテ斯クテ昔時起リタル<sup>シキヤク</sup>遞減<sup>ハウツ</sup>公債ノ害再ヒ興起スルヲナル可シ公債ヲ拂ハンカタメニ借金スルノ此企テハビツト氏ノ有名ナル遞減公債ノ世襲ノ欠點ヲ組織セシ者ト謂フ可シ其時ニ於テ此國ノ規定セル有様ハ借金ノ有様ニ外ナラス此故ニ斯ノ如キ資本ヲ働カシメント勉ムル唯ノ結果ハ年々募集ス可キ公債ノ額ヲ増加スルニ止マルノヨリ有期年金ノ終ル以前ニ戰爭或

ハ他ノ目的ノタメニ借金スルノ必要ナルコトアラハ公債ノ減少ハ其時限ノ間中止セラレタルモノト謂フ可シ然レモ英國現金ノ財政上ノ有様ハ過餘ノ金額ノ規定シテ起ルヲハ道理上ヨリ前見スルヲ得ルカ如キモノナレハ過餘ノ金額ノ分配ヲ年々疑問ニ開クヨリハ若シ其金額ニシテ借金減少ノタメニ置カレタルトキニ公債ノ減少ニ向ツテ此過餘ノ金額ヲ費ヤスヲ甚々容易ナルヲハ實ニ疑ヒヲ容レサルナリ  
公債ノ減少ニ反對トシテ公債ノ減少ニ向ツテ消費シタル金錢ヲ租稅ノ減少ニ於テ使用スルナラハ多ク利益ニ適合セシメタルナラント論スルモノ屢ハ之レアリ時トシテハ其金錢ハ一人民ノ囊中ニ於テ利用「センカタメニ殘サレサルヲ得サル」ト謂ヘリ一國カ公債ヲ拂ハサル可カラサル程度ノ疑問ハ明カニ事情ニヨリテ決定セサル可カラス若シ一國ノ財政上ノ有様ニシテ公債ノ減少ヲ用意センカタメニハ甚々シク工業ヲ妨害スルカ或ル人民ニ例外ナル負擔ヲ與フル租稅ヲ維持スルヲ必要ナルナラハ公債減少ニ向ツテノ場合ハ一國ノ工業ヲ著ルシク妨害スル租稅ハ賦課ス可キノ要用ヲ見サルトヨリモ其勢力ハ甚々減少スルヲナラン現時ニ於テハ英國ノ財政ノ有様ハ或ル



道理ヲ以テ英國々債ノ減少ニ向ツテ勞力ヲ費ヤス可カラスト論述スル能ハサルモノ  
、如シタトヒ吾人ハ正シク我國進歩ノ永續スルヲハ確信シテ疑ハサル所ナリト雖モ  
猶子孫ハ今日吾人カ打勝チ得サル困難ト争フコアルヲ得可シ而シテ現時ニ於テハ茶  
及ヒ珈琲ヲ除クノ外生活ノ必要ト思考スルヲ得可キ或ル物品ニハ租稅ヲ賦課セラレ  
タルコトアラサルナリ

陸地稅ノ固  
有ノ性質

印度ニ於テ  
地稅ノ大切

#### 第四章

#### 地稅論

我輩ハ別章ヲ設ケテ地稅ヲ論述セント欲ス何トナレハ或ル關係ニ於テ此租稅ハ他ノ  
租稅ト少シク異ナル所アレハナリ  
地稅ハ現今格段ナル實際上ノ大切ノモノナリ何トナレハ地稅ハ英國ノ歲入ニハ唯僅  
少ノ部分ヲ占有スルモノナリト雖モ吾人ノ廣大ナル屬地ナル印度ニ於テハ其歲入ノ  
大部ヲ陸地ノ上ニ賦課シタル租稅ノタメニ占有セラレタレハナリ地稅ノ性質及ヒ其  
偶事ハ大英國ノ印度ヲ支配センカタメニ設立シタル方法ヲ思考スレハ明瞭ニ理解ス  
ルヲ得ルコトナラン初メ印度ニ移住セシ英國ノ商人ハ地面ヲ所有スル許多ノ支配人ア  
リテ此國ヲ支配セルコトヲ見出セリ而シテ其幕下ヲシテ陸地ノ耕作ヲ許容シ之レカ  
タメニ地代或ハ租稅ヲ徵收シテ歲入ヲ得ルコトヲ見出シタリ此土着ノ支配人ノ領地ハ結  
合或ハ勝利ニヨリテ英人ノ所有スル所トナレリ此故ニ我カ政府ハ徐々ニ印度ノ陸  
地ノ大部ヲ所持スルニ到レリ而シテ我政府カ印度ニ財產ノ權理ヲ使用スルハ英國ノ



地代ハ地性  
ハ有セリ

地代ハ地面  
ノ耕作者ニ  
有テラス

若シ地代ニ  
シテ最上ノ  
地代金ヨリ  
超スルレバ  
カタクハ之レ  
作物ノ生産  
カタクハ之レ  
物ノ生産  
カタクハ之レ  
サラス得

地主カ其領地ニ財産ノ權理ヲ使用スルト少シモ異ナル所アラサルナリ印度ノ政府ハ  
一個ノ地主ノ位置ヲ取り而シテ地面ノ耕作者ハ一個ノ地主ヨリ陸地ヲ借ルナサ  
スシテ政府ヨリ陸地ヲ借リテ耕作ノ業ニ從事セリ此故ニ地代ト中間ニハ唯名  
目上ノ區別ノミニシテ眞實ノ區別ハナキモノ、如レ何トナレハ前章ニ於テ地代トハ  
所持セタル自然ノ專賣ヲ使用センカタメニ拂ハレタル價直ナルヲ顯ハシタレハナ  
リ若シ陸地ニシテ政府之レヲ所持スルアラハ所持シタル自然ノ專賣ヲ使用センカタ  
メニ拂ハレタル價直ハ政府ニヨリテ領收セラル、ナリ而レテ之レヲ名ケテ地代ト稱  
ス然レモ價直ニシテ一己人ニ拂ハル、トアラハ之レヲ名ツケテ地代ト言フ  
以上ノ思考ニヨレハ地面ノ耕作者ニ關シテハ耕作者カ政府ニ地代ヲ拂フトモ地主ニ  
地代ヲ拂フトモ何タル差違アルト無キヤ明カナリ此故ニ地代ハ耕作者ノ上ニ負擔ヲ  
與フルモノニアラス且此賦課ニヨリテ社會ノ殘餘ノモノニ或ル損失ヲ蒙ラシムル  
モノニアラス此故ニ若シ地代ニシテ未來ノ地代ニ超過セサル限りハ陸地ヨリ得タル  
生産物ノ價直ヲ増加スル丁能ハサル可シ何トナレハ生産物ヲ生長セシムル人々ハ地

税ノ形ニテ政府ニ拂フヲナサスシテ一個ノ地主ニ地代ヲ拂フトアラハ生産物ヲ  
廉直ニ賣却スルナラントノ道理アル可カラサレハナリ此故ニ地代ハ凡白ノ他ノ租稅  
ト異ナリ何トナレハ地代ハ一國ノ富ヲ減少セシテ政府ニ廣大ナル歲入ヲ用意ス可  
キ秀逸ナル性質ヲ有スレハナリ此故ニ印度ノ人民カ如何ニ重ク租稅ヲ賦課セラレタ  
ルカヲ證明センカタメニ印度ニ於テ徵收シタル租稅ノ金額ヲ引用スルノ人ハ充分誤  
謬ノ中ニアルモノト謂フ可シ少クトモ年々印度ニ於テ得タル地代ハ二千萬「ポンド」  
ナリ然レモ此金額ヲ人民ノ上ニ置カレタル負擔トシテ思考スルハ道理ニ合セサルナ  
ララン是レ猶ホ此國ニ於テ英國ノ地主ニ拂ハル、全地代金ハ地面ノ耕作者ノ上ニ徵  
收シタル賦課ナリト稱スルノ道理ニ反スルニ異ナラサルナリ  
然レモ地代ハ金額ニ於テ最上ノ地代ニ増加スルヲ得ル丁ハ充分出來可キ事ナル可シ  
此場合ニ於テハ租稅ハ耕作上ノ生産物ノ價直ヲ増加スル丁ナラン例へハ我政府カ隨  
意ニ此國ノ陸地財產ノ所有權ヲ掌握シタリト假定セヨ然ルモ英國ノ農夫ハ一己人  
ヨリ陸地ヲ借ルニアラスシテ政府ヨリ陸地ヲ借ル丁ナラン若シ地代ニシテ今日ノ如



ク競争ニヨリテ決定セラル、ナラハ耕作ノ位置ハ財産ノ此變化ノタメニ影響セラ  
ル、トナキハ明瞭ナルトナル可シ同一ノ最上ノ地代ハ實際農夫ニヨリテ拂ハル、ト  
ナル可シ而シテ耕作上ノ生産物ノ價直ハ決シテ財産ノ斯ノ如キ移轉ノタメニ影響セ  
ラル、トヲ要セサル可シ然レモ若シ政府カ地稅ノ形ヲニ於テ耕作者カ以前ニ拂ヒタ  
ル最上ノ地代金ヨリモ至大ナル地代ヲ賦課スルトヨ決定スルナラハ如何ニ成行ク可  
キカ我輩ヲシテ之ヲ吟味セシム可シ例ヘハ農夫ノ地代ハ以前ニハ一年ニ四百「ボン  
ド」ナリシニ政府ハ地稅ニ於テ一年ニ五百「ボンド」ヲ徵收シタリト假定ス可シ最上  
ノ地代ハ若シ地代カ競争ニヨリテ決定セラレタルト陸地ノ使用ニ向ツテ拂ハル、  
價直ナルトハ記憶セラレタルナラン此故ニ資本ノ自由ナル競争ハ常ニ成立スルトヲ  
想像スルカ故ニ農夫ハ一年ニ四百「ボンド」ノ地代ヲ拂ヒタル後數年ノ平均ニ於テ農  
夫ノ勤勞及ヒ資本ノ上ニ通例ノ利益ノ割合ヲ得ルトナラン政府カ農夫ヨリ徵收シタ  
リト假定シタル一年ニ百「ボンド」ノ超過ハ農夫ハ之レヲ拂フト能ハサル可シ語ヲ換  
ヘテ之レヲ言ヘハ農夫カ耕作上ノ生産物ノ價直ヲ騰貴セシムルニヨリテ償ハル、ニ

最上ノ地代  
ニ超過スル  
地稅ハ耕作  
ノ外ニ耕作  
ノ放業スル  
ノ向アリ

アラスレハ此附加シタル金額ヲ拂ハンカタメニ農夫ノ勤勞及ヒ資本ノ上ニ通例ノ利  
益ノ割合ヲ得セシメサルニ到ルトナラン然レモ商人ノ如何ナル種族モ若シ永久工業  
ノ他ノ種類ヨリ利益スルト少ナケレハ其職業ヲ永續スルヲ欲セサルカ故ニ耕作上ノ  
生産物ノ價直ヲ騰貴セシメスシテ最上ノ地代ニ超過スル地稅ヲ賦課スルト難カラサ  
ルヲ得ス此故ニ金額ニ於テ最上ノ地代ニ超過スル地稅ノ凡テノ部分ハ耕作上ノ生産  
物ノ消費者ニヨリテ眞實ニ拂ハル、モノナリ何トナレハ斯ノ如キ生産物ノ價直ハ騰  
貴ス可ケレハナリ

他ノ思考ヨリシテ若シ地稅カ金額ニ於テ最上ノ地代ニ超過スルトアラハ地稅ニヨリ  
テ得ラレタル全歳入ヲ減少スル反對ノ勢力ヲ生出スルモノナルトヲ顯ヘセリ何トナ  
レハ若シ斯ノ如キ生産物ノ價直ニシテ過度ナル地稅ノタメニ人造ニヨリテ騰貴スル  
ナラハ耕作上ノ生産物ノ輸入ハ獎勵サル、ト明白ナレハナリ然レモ生産物ノ増加シ  
タル額高ノ輸入セラル、ナラハ生産物ノ減少シタル額高ヲ國內ニ於テ生長セシムル  
トナラン此故ニ地稅ニシテ最上ノ地代ヨリ金額ニ於テ大ニシテ租稅ノ増加ト共ニ輸



英國ニ於テ  
地稅ハ陸地  
府カ土地ニ  
モ少ナリト  
モナリトス  
ノ外ナラズ  
ニ外ナラズ

入ノ禁制ヲナスニアラスンハ陸地ヲシテ耕作ノ外ニ放棄スルノ傾向ヲ生スルモノナ  
リ此傾向ハ若シ地稅ノ増加スルナラハ永續スルヲナラン斯クテ租稅ノ徵收サル、陸  
地ノ面積ハ徐々ニ禁制サル、トナラン  
我國ニ於テ成立スル地稅ハ一個ノ地主ニ拂ハル、地代ノ最少部分ヲ組織セリ斯ノ如  
キ租稅ハ政府カ土地所有者ノ中ニ些少ナル金錢ノ分割ヲ得タルモノナリト思考スル  
ト適當ナル可シ地主及ヒ政府ノ各々所持スル割前ノ價直ハ以前ハ今日ト甚々相違ス  
ル所ロナキニアラス我國ニ於テ地稅ハ以前久シク固定セル金錢ノ仕拂ニ向ツテ交換  
セラレタリ此故ニ租稅ハ陸地財産ノ價直非常ニ騰貴スルアルモ決シテ増加スルノ憂  
ヒアルトナシ耕作者ノ關スル所ロニテハ耕作者カ地稅ヲ拂フモ拂ハサルモ少シモ差  
違ナカル可レ何トナレハ耕作者ヨリ租稅ヲ徵收スルアラハ耕作者ハ地主ニ向ツテ些  
少ノ地代ヲ拂フト明白ナレハナリ以前ニ陳述セシ如ク英國ニ於テ成立スル如キ地稅  
ハ政府カ土地ニ或ル金錢上ノ利益ヲ所持スルモノナリトノ實事ヲ證明スルモノナリ  
此故ニ雙方耕作者ノ利益ト耕作上ノ生産物ノ價直ハ地稅ノ成立スルモセサルモ同一

地稅ノ増加  
ハ今日絶ヘ  
ス陸地ノ所  
有者ニ害ヲ  
與フルトナ  
ラン

ノモノナルト明カナリ語ヲ換ヘテ之レヲ言ヘハ政府カ土地ニ財産ノ或ル權理ヲ掌握  
スルト否トニ關セス耕作者ノ利益ト耕作上ノ生産物ノ價直ハ決シテ變化セサルナリ  
此故ニ若シ此國ニ於テ地稅カ現今ノ金額ヨリモ大ナル金額ナリシナラハ幸福ナル事  
情ナリレナラン然レモ今日地稅ヲ増加スルハ財産ノ不正ナル沒收ナル可シ斯ノ如キ  
租稅ノ増加ハ全ク地主ノ地代ヨリ拂ハル、トナラン此故ニ此租稅ノ増加ハ一ノ格  
段ナル種族ノ上ニ徵收シタル或ル他ノ租稅ノ賦課ノ如ク防禦ス可カラサルト謂フ  
可シ然レモ若シ地稅ノ初メ賦課セラレタルキニ其金額ノ或ル額高ニ於テ決定スルヲ  
ナサス陸地ノ價直ニ比例シテ決定サル、トアラハ被稅社會ハ尤モ便利ナルヤ疑フ可  
カラス若シ此整理法ヲ採用セシナラハ地稅カ歳入ニ得ル所ノ金額ハ絶ヘス陸地ノ  
價直ノ増加ニ比例シテ増加セラル、トナラン斯クテ得ラレタル歳入額ハタトヒ絶ヘ  
ス増加シタリト雖モ如何ナル種族ニモ負擔ノモノトシテ感セラル、トアラサル可シ  
何トナレハ地稅ハ實際自然ノ專有ノ所持ニヨリテ用意サル、モノナレハナリ此故ニ  
此專有ノ價直ニシテ増加スルアラハ地稅ハ以前ヨリ廣大ナル歳入ヲ得ルトナラン



寺料ハ地代ノ仕拂ト同  
一ノモノナ  
リ

此國ニ於テ成立スル寺料ハ原質ヨリ地稅ニ異ナラス而シテ其名ノ意味ノ如ク陸地ノ生産物ノ十分ノ一ト元來同一ノ價直ノモノナリ寺料ハ通例地稅ト稱セラル、トナレ何トナレハ寺料ハ元來宗教上ノ目的ニ向ツテ賦課シタルモノナレハナリ此故ニ寺料ハ政府ノ一般ノ歳入ノ部分ヲ組織セサルナリ此國ニ於テ寺料ノ一部ハ宗旨改革以後ハ宗教上ノ養老金トシテ貯蓄セラル、ニ到レリ何トナレハ寺料ハ今日屢ハ財産ノ或ル他ノ種類ノ如ク一己人ニヨリテ所持セラレタレハナリ寺料ハ實際陸地ノ財産ノ上ノ地代ノ仕拂ニ異ナラス此地代ノ仕拂ハ屢ハ陸地ノ所有者ニヨリテ所持セラル、トアラス耕作者ノ關係スル所ロニテハ斯ノ如ク地代ノ仕拂カ成立スルモナサ、ルモ關係セサルヲナルヤ明カナリ若シ耕作者ノ耕作スル陸地ニシテ寺料アラスンハ耕作者カ陸地ノ使用ニ向ツテ仕拂フ所ロノ全額ハ地代トシテ思考セラル、トナラン然レモ若シ陸地ニシテ寺料ニ從ヘラル、トナラハ耕作者カ陸地ノ使用ニ向ツテ仕拂フ所ロノ金額ハ若シ陸地ニシテ寺料ヲ拂ハサルキニ仕拂フ可キ金額ト同一ノモノナルナラン然レモ此全金額ハ最早之レヲ地代トシテ思考スルヲ得サルトナラン何トナレハ其金額

寺料交換條  
例

此條例ハ結  
核寺料所有  
者ノ得可シ  
ルヲ得可シ

ハ地主ト寺料所有者ノ中間ニ分配サル可キモノナレハナリ  
寺料ハ地稅ノ如ク若シ固定セル金錢ノ仕拂ニ向ツテ元來交換セラル、モノナラハ金額甚々些少ノトナラン一千八百三十七年ニ於テ可決セラレタル寺料交換條例ノ發行セラレタル以前ニハ寺料ハ成ル可ク陸地ノ生産ノ十分ノ一ニ價直ヲ一様ナラシムルノ主義ニ一致セリ此故ニ寺料ハ陸地ノ財産ノ價直増加スルニ從ツテ増加スルモノナリ何トナレハ寺料ハ若シ陸地ノ生産増加シ耕作上ノ生産物ノ價直騰貴スルトアラハ増加スルト明白ナレハナリ寺料交換條例ノ重要ナル目的ハ寺料ノ一致ヲ容易ナラシメントナスニアリ而シテ今日年々仕拂フ所ロノ金額ハ以前七年間穀物平均ノ價直ニヨリテ決定セラレタルモノナリ此交換ノタメニ寺料所有者ハ結局害セラル、ト得ルトハ充分出來可キトナリ今日一致セラル、寺料ノ價直ハ單ニ穀物ノ價直ニヨリテ決定セラレタルモノナルカ故ニ寺料所有者ハ家畜ノ價直騰貴シタルカタメニ利益セラレサルヤ明カナリ此書ニ於テ家畜ハ關係シテ穀物ヨリハ高直ナル運命ヲ所有セリトノ說ヲ屢ハ掲載シタリ何トナレハ穀物ノ得ラル、面積ハ速カニ擴張セシムルヲ



得ルモ家蓄ハ常ニ輸入スルヲ甚々困難ナレハナリ此故ニ若シ寺料ニシテ若シ寺料ノ一致セラル、金額カ家蓄ノ價直ノ騰貴ニヨリテ影響セラレス唯單ニ穀物ノ價直ニヨリテ決定セラル、モノナラハ絶ヘス陸地ヨリ得タル生産物ノ全價直ノ些少ナル比例ヲ價直ニ於テ顯ハサ、ルヲ得サルナリ

寺料所持者ハ陸地ノ生産力ノ増加シタルカタメニ利益ヲ受クルモノニアラス

寺料所持者ハ現今ノ交換ニ於テハ陸地ノ生産力増加スルモ之レカタメニ利益ヲ受クルニアラスナリ耕作ノ改良法ノタメニ田地ヨリ得ラレタル生産物ヲ二倍トナスヲ得可シ然レモ若シ穀物ノ價直ニシテ騰貴スルニアラスンハ田地ノ上ニ拂ハレタル寺料ハ増加セサルヲナラン疑モナク寺料交換ノ贊助者ニヨリテ寺料所持者ハ秀逸ナル耕作ヨリ起リタル附加ノ生産物ヲ地主ト共ニ分配ス可カラサルヲ大勢力ヲ以テ論述セラレタリ例ヘハ陸地ハ資本ヲ消費シタルカタメニ生産力ヲ増加シタルモノナリ而シテ寺料所持者ハ地主カ全ク拂ヒタル資本ノ出費ノタメニ利益ヲ受クルハ不相當ナラントノヲ主張セリ且寺料所持者ニ利益ヲ分配ス可キ主張ヲ許容スレハ之レカタメニ嚴シク耕作ノ改良ヲ妨害スルヲ得可シトノヲ論述スルモノアリ何トナレ

ハ若シ他人カ出費ノ利益ヲ地主ト分配スルナラハ地主ハ資本ヲ投入スルヲ欲セサル可ケレハナリ



第五章

貧民救助法及ヒ貧民ニ對スル貧民救助法ノ勢力

英國ノ貧民救助法カ貧民ニ及ホシタル勢力ヲ記載センカタメニ第一ニ吾人ノ貧民救助法ノ現今ノ組織ヲ成立セシメタル事情ヲ單簡ニ記載スルヲ尤モ願ハシキコトナラン成ル可ク此主意ヲ明瞭ナラシメンカタメニ貧民ニ救助ヲ與フル二個ノ法則ヲ區別スルヲ必要ナリ第一ニ救助ハ慈惠ノ形体ヲ取ルヲ得可シ第二ニ貧民ノ中ニ分配セラレタル資金ハ政府ニヨリテ支配セラレ國稅或ハ地方稅ニヨリテ得ラルヲ得可シ終ノ場合ニ於テハ一國ハ貧民救助法ヲ所持セリト謂ヘリ英國ニ於テハ女王エリサベスノ時代ニ到ルマテ或ル眞實ノ貧民救助法ノ成立スルアルヲ見ス而シテ一千八百三十八年ノ近時ニ到ルマテ愛蘭ニ於テ貧民ノ救助ハ政府ニヨリテ組織サレシテ寧ロ自由慈惠ノ不正確ナル機會ニマテ放任スル所トナリタリキ

英國ニ於テ貧民救助法ノ徐々ノ設立ニ導ヒキタル原因ハ容易ニ其根跡ヲ了知スルヲ得可シ貧民ノ救助カ一己人ノ組織セラレタル勞動ニ放任セラレタル間ハ許多ノ有害

英國貧民救助法ノ興起

職業上ノ乞食ノ除去セシムルニ早時ノ盡力

ナル結果ノ興起スルヲ明カナリ區別ナキ慈惠ハ結局利益セント欲スル人民ノ道德ヲ毀損シ改良セント欲スル害毒ヲ劇烈ナラシムルモノト謂フ可シ他人ノ中ニ困苦ノタメニ尤モ強盛ナル愛憐ヲ刺衝セシメタル人々ハ私與ノ慈惠ノ尤モ廣大ナル割前ヲ得ルヲ明カナリ斯クテ乞食ハ些少ノ貯蓄ノタメニ屢ハ至大ナル成功ヲ得セシムルノ職業トナルニ到レリ英國ニ於テ乞食及ヒ浮浪ノ徒ハ非常ニ甚タシキ比例ニ増加シ國會ノ無數ノ條例ニヨリテ此徒ヲ支配スルヲ企テサルヲ得サルニ到レリ此徒ヲ支配スルノ目的ニ向ツテ可決シタル種々ノ成文律ノ中ニ争フ可カラサル堅強ナル主義ヲ基礎トセル一個ノ重要ナル思考ヲ一般ニ追求スルヲ得可シ議院々自由ナル貧民ト不自由ナル貧民トノ中間ニ成立スル廣大ナル根本ノ區別ヲ示視センカタメニ非常ノ注意ヲ顯ハセリ種々ノ地方官吏ハ不自由ナル貧民ヲ取扱フニ寛大ト愛憐トヲ以テス可キヲ命令セラレタリ然レモ自由ナル貧人ニ向ツテハ嚴重ナル所置ヲ以テ之レニ應スルヲ以テ常トナス職業ヲナスヨリモ寧ロ乞食ヲ擇フ所ノ強壯ナル人民ハ當時ノ立法官ノタメニ非常ニ賤マル、所口トナレリリーチャード二世ノ種々ノ議院ノ條例及ヒ



之レニ次々タル支配ニ於テ斯ノ如キ人民ヲ名ケテ怠惰ノ浮浪或ハ遊惰ノ乞食ト言ヘリ或ル成文律ニヨリテ若シ此等ノ人民ニシテ職業ヲナスヲ得ルニモ拘ハラヌ救助ヲ請求セルトテ發見セシキハ第一ニ追放ノ刑ニ處セラレ第二度其罪ヲ犯セシキハ其犯人ノ一個ノ耳ヲ切除セラレ第三度其罪ヲ犯セシトキハ其犯人ハ共和政府ノ讎敵トシテ絞罪ニ處ス可キトテ公布セリ此等ノ條例ノ目的ハ其條例ノ非常ニ激烈ナルカタメニ排棄サル、ニ到レリ斯ノ如キ刑罰ハ一般ニ蒙ラシメント欲スルハ餘リ激烈ナリト謂フ可シ之レカタメニ立法官ノ防禦スルニ非常ナル盡力ヲナスニモ拘ハラヌ乞食浮浪ノ徒日ニ増加ニ赴ムケリ終ニ一國ノ幸福ニ關スル害毒ハ非常ニ甚クシキカタメニ一般ニ別異ノ政略ヲ採用スルノ必要ヲ承認スルニ到レリ宗旨改革ノ時ニ當リ慈惠ノ中心ナリシ宗教家ノ救助ヲ廢止シタルカタメニ立法官ノ注意ハ格段ニ貧人ノ有様ニ向ヒタリキ而シテヘンリー八世ノ時代ニ於テ二個ノ成文律ヲ可決セリ其成文律タルヤ吾人ノ貧民救助法ノヨリテ以テ基礎トセルエリサベスノ有名ナル條例ノ萌芽ト謂フ可シヘンリー八世ノ此等ノ條例ハ各地方ヲシテ其貧民ヲ救助スルノ責任ヲ有セ

シムルノミナラス且慈惠ノ賦與ヲ規定セル非常ニ必要ナル所業ヲ企テタリ極貧者ハ其貧民ノ生産セル地方ニ送ラレ地方政府ハ信切ト寛大トヲ以テ此貧民ヲ取扱フ可キノ命令ヲ受ケタリ而シテ若シ此貧民ヲ取扱フニ殘酷ヲ以テスルアラハ重キ刑罰ノ苦痛ヲ蒙ラシムルノ規則ナリ強壯或ハ自由ナル貧民ニハ甚ク區別セル政略ヲ採用シ職業ヲ貧民ニ用意セルニモ拘ハラヌ貧民カ職業ヲ採用スルトアラヌハ貧民ハ嚴シク刑罰ヲ蒙ラシムルニ到レリ然レモ此等ノ條例ノ中ニ於テ尤モ大切ナル個條ハ慈惠ヲ規定スルノ個條ナリ貧民ニ救助ヲ與ヘント欲スルノ人民ハ其人民ノ仕拂ヲ公共ノ資金中ニ置カサルヲ得ヌ其資金タルヤ高僧及ヒ僧侶ニヨリテ分配サル、所口ノモノナリ若シ或人ニシテ此事ヲナサヌ私ニ慈惠ヲ與フルトアラハ之レカ刑罰トシテ慈惠ノタメニ仕拂ヒシ金額ノ十倍ヲ拂ハサルヲ得サラシメタリ此等ノ條例ヲ組織セル人々ノ意志ハ極メテ秀逸ノモノト謂フ可シ其人々ハ自由貧民ト不自由貧民トノ中間ニ區別シタル限界線ヲ創造セントテ欲望シタルヤ明カナリ其人々カ思慮ナキ慈惠ヲ失望セシメ以テ乞食浮浪ノ徒ヲ減少セントテ望ミタルハ決シ



テ道理ナキト稱ス可カラス然レモ之レカタメニ乞食ニ反對シテ可決セシ嚴烈ナル  
 條例ヨリシテ立法官ノ賢良ナル意志モ大ナル程度ニマテ放棄サル、ニ到リタルヤ明  
 カナリ此失策ノ道理ハ容易ニ理解スルヲ得可シ公共資金ノ分配者ハ割合ヲ賦課スル  
 ノ權力ヲ有セス斯クテ一己人ヨリ財產ニ比例シテ金錢ヲ拂ハシムルヲ能ハサルナリ  
 法律ニ於テノ此欠點ハ恐クハエリサベス及ヒ其助言者ノ心中ニ感得セシメタルヲナ  
 フン而シテ自然ノ結果トシテ之レカ療養ヲ志サ、シムルニ到レリエリサベス治世ノ  
 四十三年ニ當リテ可決セシ有名ノ條例中ニ歴然トシテ療養スル所アルヲ見出スルヲ  
 得可シ其條例ノ重要ナル個條ヲ簡單ニ記載ス可シ第一ニ此條例ハ救助ヲ要求ス可キ  
 法律上ノ權理ヲ各人民ニ賦與シタリ此救助ノ簡條ノ要スル資本ヲ得ンカタメニ地方  
 官吏ハ陸地家屋ノ如キ不動産ノ上ニ割合ヲ賦課ス可キ權力ヲ有セリ強壯ナル貧民ハ  
 此條例ノ簡條ニヨリテ救助ヲ得ルト共ニ勞働ヲナサ、ル可カラサルトナセリ強壯  
 ナル貧民ヲ維持スルノ費用ハ出費ニ堪ユ可キ感ル貧民ノ親族ヲシテ負擔セシメタリ  
 又此條例ハ各教區ニ於テ監督者ノ年々ノ就職ヲ用意セリ其監督者ハ割合ノ集合、及

エリサベス  
 ノ貧民救助  
 法

ヒ救助ノ支配ニ向ツテ責任ヲ有スルモノナリ此條例ノ簡條ト一千八百三十四年ノ新  
 貧民救助法中ニ含蓄セル簡條ノ中間ニハ凡テ大切ナル主義ニ於テハ殆ント差違ナキ  
 モノ、如シ此故ニ一見スレハ此最後ノ條例ハ何故ニ必要ナリシカヲ了解スルニハ困  
 難ニ見ユルヲ得可シ若シエリサベスノ貧民救助法ニシテ尤モ有害ニ干渉サル、トア  
 ラスンハ恐クハ新條例ヲ可決スルノ必要ハ決シテ之レアラサリシナラン

今既ニ論述シタル救助法ノ重要ナル簡條ヨリシテ此條例ノ組織者ノ重大ナル一目的  
 ハ嚴シク自由ナル貧民ヲ取扱フニアルト明カナリ百五十年間此政略ハ幸福ナル結果  
 ヲ以テ永續セリ乞食及ヒ浮浪ノ徒ハ大ニ減少シ且強壯ナル貧民ノ上ニ置キタル禁制  
 ハ貧民ニヨリテ非常ニ抑壓ナル者ト思考セラレ甚タシキ貧民ニアラサルヨリハ救助  
 ヲ請フモノ殆ント之レ無キニ到レリ一千八百一年ノ條例ノ可決ト現今吾人ノ關係セ  
 ル時限トノ中間ニ種々ノ改良セル成文律ノ可決セラレタルトアレモ其成文律ノ如何  
 ナルモノニテモ此條例ノ目的ヲ衰弱セシメタルトアラス或ル成文律ハ實際其目的ヲ  
 強盛ナラシメタルモノト謂フ可シ斯クテジョージ一世ノ治世ノ九年ナル一千七百二

自由ナル貧  
 民ヲ防禦シ  
 タル其條例  
 ノ結果



職工所ノ試

十二年ニ於テ教區或ハ連合ノ教區ニ職工所ヲ建設セシメタリ而シテ許認ヲ得サルニ職工所ニ住居スルヲ欲セサルモノハ救助ニ反對セルモノト思考サル、ニ到レリ此レカタメニ地方政府ヲシテ戶外ノ貧民ヲ減少スルカ或ハ全ク廢止セシムルニ到レリ若シ斯ク地方官吏ニ委託シタル此權力ノ利益ヲ廣大ニ使用スルナラハ此國ニ害毒ヲ及ホシタル貧民ノ大部分ハ決シテ成立セサリシトナラン然レモ不幸ニシテ全ク別異ノ政略ヲ速カニ國會ニ於テ採用サル、ニ到レリ而シテ輿論ニヨリテモ之レヲ許容スルニ到レリ政略ノ此變化ハ多分大ナル程度ニマテエリサベス貧民ノ救助法ノ貧民ヲ減少スルニ著ルシキ勢力ヲ施コシタルニ基ケルモノ、如シ當時ノ記者ニヨリテ十七世紀ノ半ハニ於テハ或ル他ノ國ヨリモ英國ニ於テハ貧民ノ數甚々少ナシトノ實事ヲ屢ハ説明スル處ロトナレリ其時ニ於テハ貧民ハ數年ノ後殆ント絶滅ニ歸ス可キトハ敢テ空想ニアラサルモノ、如クナリキ然ルニ不幸ニシテ斯ク幸福ナル結果ヲ生セタル政略ヲ保存スルヲナサスシテ今比較シテ英國ノ貧民ハ些少ナルカ故ニ教區ノ救助ヲ支配スルニ多ク寛大ニシテ信切ナル精神ヲ以テスルモ敢テ危難ナカル可シトノ

エリサベス  
ノ貧民救助  
法ノ實施ナ  
ル簡條ハ廢  
止シタルカ  
タメニ殆カ  
ト英國ヲシ  
テ破産ノ有  
様ニ到ラシ  
メタリ

戶外ノ禁制  
廢止セラレ  
タリ

一千七百八  
十二年ニ於  
テ條例カ  
ルノ廢止  
用ヲ廢セリ

説流行スルニ到レリエリサベスノ貧民救助法ノ勢力アル簡條ハ徐々ニ廢止セラル、所ロトナリ戶外ノ救助ハ勢力ヲ失セシテ國會ノ種々ノ條例ノタメニ直接ニ養成サ  
ル、ニ到レリ法律ノ支配 嚴正ナラサルトハ一般トナリ而シテ其結果トシテ一千八  
百三十二年ニ當リテハ貧民驚ク可キ比例ニ増加シ英國ヲシテ國民ノ破産ト永久ノ零  
落トヲ以テ脅迫スルニ到レリ

今記載セシ政略ノ此變化ハ其中ニ含蓄セル結果ヲ少シモ認知セシテ徐々ニ導カレ  
タルヤ明カナリ以前ニ記載セシ如ク十七世紀ノ半ハニ於テ導カレタル貧民救助法ノ  
支配ノ溫柔ニシテ且寛大ナルカタメニ戶外ノ救助ヲ容易ニ壯強ナル貧民ニ賦與スル  
ニ到ラシムルコト不幸ニシテ興起スルニ到レリジョージ三世統御ノ七年ナル一千七  
百六十七年ニ可決セラレタル條例ニヨリテ監督者及ヒ他ノ教區ノ官吏ノ卑劣ニ對レ  
テ貧民ヲ保護センカタメニ番人ヲ命シタリ是レヨリ十五年ヲ經過シテ彼ノギルベル  
トノ條例發出シテヨリ舊時ノ貧民救助法ノ價直アル安全ナル保護ノ多クハ全ク廢  
棄サル、ニ到レリ職工場ハ最早自由ナル貧民ノ試用トシテ使用サル、トアラス何ト



一千八百十  
五年ニ於テ  
東部條例カ  
不効力ヲ組  
織ニシテ而  
シテ銀ノ與  
補助ヲ與  
セリ

斯ク貧民ニ  
與ヘタル獎  
勵ノ等落ノ  
結果

ナレハ此條例ニヨレハ壯強ナル貧民ハ職工場ニ入ラサルモ敢テ之レヲ咎メサレハナ  
リ凡テ強壯ナル貧民ヲシテ自己ノ家屋ニ近接セル所ニ於テ職業ヲ見出シ而シテ賃銀  
ノ欠乏スルアラハ割合ヨリシテ償ハシメンカタメニ番人ヲ命シタリ此不幸ナル政略  
ノ永續スル所トナリ終ニ一千八百十五年ノ危路ヲ興起セシムルニ到レリ其時ニ當  
リ東部條例ト名ツクル成文律ニヨリテジョージ一世統御ノ九年ニ當リテ設置シタル  
職工場ノ試用ハ今全ク廢止セラル、ニ到レリ此條例ノ可決セラレタル後ハ如何ナ  
ル人モ壯強ナル力役者ノ如キモ職工場ニ入ル可キ督責ヲ受クルトアラス而シテ人民  
ノ家屋ニ於テ人民ニ金錢ヲ賦與スルモ正道ニ合スルモノトナスニ到レリ  
貧民救助法ノ此不嚴正ノタメニ工業社會ノ道德ヲ破壞サレシ程度ハ速カニ非常ニ明  
瞭トナレリ尤モ多ク有害ナル勢力ハ唯貧民ノ上ニ行ハル、ノミナラス且貧民ノ使用  
者ノ上ニ行ハル、ニ到レリ尤モ勢ヒ強ク貧民ヲ獎勵セル器具ハ盡ク使用サル、處ト  
ナレリ人民ハ暗々裡ニ如何ニ思慮ナキモ放蕩ナルモ不用心ナルモ他人ノ費用ニ於テ  
維持サル可シトノ自己ノ主張ニ少シモ影響セサルトヲ談話セリ若シ貧民ニレテ親族

移住條例

ヲ維持ス可キ道理上ノ機會ヲ所持セサルニ結婚スルアラハ恰カモ貧民カ賞ス可キ所  
業ヲ成就セレカ如クニ取扱ハル、モノト謂フ可シ何トナレハ貧民カ小兒ヲ所持スル  
ト多キニ從ツテ貧民ノ得ル救助ノ金額ハ益ス多ケレハナリ普通ノ感情ノ凡テ尤モ明  
白ナル教訓ハ全ク放棄サル、ニ到レリ力役ハ力役ノ要セサル地方ニ於テ止マラシ  
メンカタメニ苞苴ヲ受ケシメ而シテ力役ニ向ツテ需要アル地方ニ經過スルヲ防禦セ  
ラル、所トナレリ斯クテ若シ或ル教區ニ於テノ賃銀ニシテ相當ノ維持ヲ用意スル  
ナラント思考セシ賃銀ノ下ニアルナラハ地方官吏ハ分前チ賃銀ノ補助ニ於テ賦與ス  
可キ權力ヲ有セリ此等ノ害毒ハ移住條例ト一般ニ名ツケラレタル種々ノ條例ノ  
タメニ擴張セラル、所トナレリ其移住條例ハ力役者ノ生産セシ地方ヨリ力役者ヲ  
他方ニ移住スルヲ妨ケンカタメニ可決シタルモノナリ分金法及ヒ移住條例ハ  
甚タ別異ノ方法ニ於テ行ハル、モノナリト雖旧力役ノ自然ノ流通ヲ妨害センカタメ  
ニ結合スルモノ、如シ如何ニ或ル地方ニ於テ力役ノ過剩アルモ力役者ノ賃金ニシテ  
割前ニヨリテ平均ノ金額ニ償ハル、トアラハ力役者ハ其地方ヲ放棄ス可キ誘導ヲ所



持セサルナリ使用者ハ結局ノ結果ニ付テ注意セス且理解セサルカタメニ外面ハ使用者ノ周圍ニ力役ノ過度ノ供給ヲ保ツニヨリテ利益スル所トナレリ過剰ノ力役ハ貧銀ノ低下ナル割合ヲ生シタルトナラン而シテ使用者ハ暗々裡ニ自己ノ使用セシ力役者ノ欠乏ヲ憤ハンカタメニ近隣ノ割前仕拂人ノ囊中ニ自己ノ手ヲ入ル、トヲ得タルモノト謂フ可シ移住條例ハ一地方ヨリ他ノ地方ニ經過スル力役者ニ非常ノ妨害ヲ與ヘ大ナル程度ニ於テ力役者ヲシテ自己ノ生産ノ地ニ職業ヲ求メシムルニ到レリ是レヨリ多ク擴張セル害毒ヲ生シタル條例ハ殆ント之レアラサル可シ富國論ト題セル書ニ於テアダム、スミス氏ハ恐クハ氏ノ時代ニ於テ年齢ノ四十五年ノ職工ニシテ一ノ時限或ハ他ノ時限ニ於テ移住條例ノタメニ或ル大ナル不正ヲ受ケサルモノハ之レヲサレ可シト言ヘリ其レ或ハ信ナラン

今記載セル凡テノ有害ナル勢力ノ結合シタル動作ヨリレテ驚ク可キ破道德ヲ成出セシムルニ到レリ其破道德カ力役者ニ影響スルノミナラス使用者ニ影響セシメタル程度ハ一千八百三十二年ニ於テ貧民救助法ヲ吟味ヒシメンカタメニ命セラレタル王室

一千八百三十三年ニ於テ貧民救助法委員ノ命

委員局ノ探鑿ヲ熟考スルニヨリテ極メテ明瞭タルヲ得可シ委員ノ中ニハ或ル重要ナル公共ノ人民アリ而レテ凡テ委員ノ整理ハ成ル可ク精密ニ此主意ヲ試験セントノ目的ヲ以テ導カレタルモノ、如シ且補助ノ委員ヲ命シタリ其委員ハ一身上ヨリ英國ノ種々ノ部分ヲ遊歴シ証明ヲ得セシムルノミナラス外國ニ送ラレテ貧民ノ救助ヲ支配スル種々ノ法則ヲ吟味セシメンカタメニ設ケラレタルモノナリ吾人ノ貧民救助法組織ノ害ハ非常ニ擴張シタルカタメニ或ル激烈ナル改良ノ必要ヲ一般ニ承認サル、ニ到レリ舊組織ノ誤用ヨリ利益ヲ得ラル可シト想像セシ人々ヨリ許多ノ反對ヲ以テ争ハレタル後一千八百三十四年ニ於テ現今ニ到ルマテ甚クシキ變化ナクシテ永續セル一個ノ條例可決セラレタリ此條例ハ一般ニ新貧民救助法トシテ認知セラル、ニ到レリ此條例ノ大切ナル簡條ヲ記載スルノ前ニ當リテ一千八百三十二年ニ於テ王室委員局ニ於テ明瞭ニ現ハシタル或ル實事ヲ再考スルコト必要ナラン自由ナル貧民ノ上ノ禁制ノ不正確ナルニ反對シテ陳述セル一般ノ反對説ハ著ルシク格段ナル實事ノタメニ強盛トナリタリ或ル地方ニ於テハ戶外ノ救助ヲ壯強ナル貧民ニ與フルニ非常ニ寛

一千八百三十三年ニ於テ新貧民救助法ノ可決



委員ニヨリ  
行ハレタ  
ル味ニヨ  
リテ現ハサ  
レタル實事

貧民救助  
法ノ有善ナ  
ル結果ハ今

日猶或地方  
ニテ望見ス  
ルヲ得可シ

不道徳ニ與  
ハタル獎勵

大ナルカタメニ貧困ハ甚々賞讃ス可キ職業トナルニ到レリエストホルンヲ巡回セシ  
補助ノ委員ノ一人ハ職業ヲ取リシ貧民ハ一週間ニ十六「シルリング」ニ於テ拂ハル、  
モ地方ニ於テ平均ノ賃銀ハ一週間ニ十二「シルリング」ナルヲ見出セリ獨立職工ノ  
金錢上ノ位置ノ劣リタルコトハ非常ニ著ルシ此委員カ實際ニ個ノ女子アリテ其女子  
ノ夫婦ハ貧民トナルヨリモ其運命ハ善良ナラサル可シトノヲ愁訴シタルヲ聞キシ  
「アリ北部ノデモンサイヤ及ヒ英國ノ種々ノ他ノ部分ニ於テハ生産セシ附加ノ小兒  
ニ向ツテ賦與サレタル割前ハ非常ニ廣大ナルカタメニ人民ノ親族多キニ從ツテ其人  
民ノ事情ハ甚々善良ナリ此仕方ニ於テ人口ニ人造ノ刺衝ヲ與フルニ到レリ斯クテ養  
育セラレタル不用心ノ習慣ハ直チニ遠サケル能ハサル害ヲ生スルモノナリ父母タル  
モノ不用心ナラハ其小兒ニ不用心ノ講義ヲ教授スルヤ疑フ可カラス且若シ過利ノ人  
口アルナラハ力役者ハ勤勞ニ向ツテ唯些少ノ返報ヲ得ルノミナラン語ヲ變ヘテ言ヘ  
ハ力役者ハ單ニ補助ノ賃銀ヲ請取ル「ナラン此故ニ舊貧民救助法ノ誤謬流行セル許  
多ノ地方ニ於テハ吾人カ力役者ノ供給ハ需要ノ過度ナルモ非常ニ多キカタメニ耕作

上ノ力役者ハ晩近ニ到ルマテ屢ハ一週間ニ九「シルリング」或ハ十「シルリング」ノ上  
ヲ得タル「アルナク現今ハ唯一週間ニ十二「シルリング」ヲ得ルノヨナリト「ハ敢  
テ怪ムニ足ラサルナリ猶甚ダレキ破道徳ノ種類ノ他ノ勢力カ貧民ノ増殖ヲ刺衝スル  
舊貧民救助法ノ下ニ行ハル、ニ到レリ女子ハ教區ヨリ正統ノ小兒ヨリ不正統ノ小兒  
ニ許多ノ割賦金ヲ得可レ不正統ノ小兒ノ實父ハ自己ニ小兒ヲ維持スル金錢上ノ責任  
アラサルカタメニ亦不道徳ノ生活ヲ獎勵サレサルヲ得ス斯ノ如キ組織ヨリシテ吾人  
ハ吾人ノ時代ニ於テ不善及ヒ貧困ノ世襲ヲ取扱ハサル可カラサルハ理ノ當然ト謂フ  
可シ知ラス何人カ之ヲ疑フモノアル乎  
如何ナル點ヨリ此主意ヲ思考スルモ一樣ニ悲シム可キ有様ヲ顯ハサ、ルヲ得サルナ  
リ貧民タル「ハ屢ハ同一ノ眷族ノ逐次ニ襲續セル時代ニヨリテ從フ所ノ職務ト思  
考スルモノアリ斯クテ委員ハ吾人ニ同眷族ノ三代カ同時ニ救助ヲ受クルモノアリト  
ノ「ヲ話シタリ而シテ其三代カ教區ヨリ受取ル所ノ金額ハ年々「百「ポンド」ニ超過  
セリト云フ教區ノ官吏カ其教區ノ貧民ニ向ツテ返報ノ賃銀ヲ得可キ職業ヲ見出ス可



キ命令ヲ請ケタル自然ノ結果トシテ貧民タルコトハ不愉快ノモノニアラス且教區ヨリ得ル割賦金ハ其金錢ヲ領收スルノ人ニハ通例ノ工業ノ貸銀ノ如ク正當ナルモノナリトノ感覺一般ニ流行スルニ到レリ斯クテ放蕩ハ直接ニ獎勵セラレ法律ニ背反シ不満足ヲ抱クノ精神興起スルニ到ル可シ一千八百三十二年ハ富饒ノ年ニシテ「パン」及ヒ他ノ物品ハ廉直ナルニモ拘ハラズ此時限ニ於テ田舎地方ノ許多ハ甚々不景氣ノ有様ヲ呈シタリ一揆及ヒ放火ハ通例ニシテ到ル所口之レアラサルハナシ而シテ委員ハ人民ノ不満足ノ此破裂ハ貧民救助法ノ尤モ不取締リニ取扱ハレタル地方ニ於テ尤モ屢ハ之レアリシトノコトヲ証明セリ貧民ノ費用ハ絶ヘス増加スルニ到リ割合ハ速カニ増加スル所口トナリ割合ノ依テ來タル全資本金ヲ割合ノタメニ取去ルナラントノコト明白ナルニ到レリ或ル地方ニ於テハ割合ノタメニ耕作ノ費用ノ拂ハレタル後土地ノ生産物ノ殘額ヨリハ猶多クヲ吸込マル、ノ有様ナリ委員カ吾人ニ許多ノ耕地ハ放棄サレ許多ノ僧侶ハ自己ノ地面ヲ廢拋シ而レテ許多ノ豐饒ナル地面ハ耕作セラレサルノ有様ナルコトヲ顯ハセリ委員ハコーレスブリー及ヒバルクサイヤナル一教區ニ於

割合ハ地面ノ生産物全額直チ吸込ルノ恐レアリ

農夫及ヒ他ノ人民ハ貧民ノ勤勞ヲ使用セサルヲ得ス

テハ全陸地ヲ集合ノ貧民ニ賦與センコトヲ欲シタレ其貧民ハ寧ロ舊組織ニ於テ永續スルヲ欲スト公言シテ其賦與ヲ嫌忌シタリトノコトヲ顯ハセリ斯ノ如キ場合ハ許多ノ他ノ證據ニヨリテ強盛ナラシムルニアラスンハ信ス可カラサルカ如クニ見ユルナル可シ委員ハケンブリツチニ近接セルシルフォードニ於テ殆ント五百坪ノ領地ヲ耕作セシ貴族ハ年々貧民ノ割合ニ二百五十「ポンド」ヲ拂ヘリトノコトヲ確定セリ其地面ノ地代ハ一坪毎ニ一「ポンド」ノ價直ヲ有セリ此故ニ割合ハ耕地貸與ノ價直ノ半分ヲ除去スルモノト謂フ可シ然レトモ斯ク賦課シタル出費ハ廣大ナルモノナリト雖モ其出費ハ決シテ貧民ノ全タキ負擔ヲ視示セルモノト謂フ可カラズ許多ノ他ノ地方ノ如クシルホルドニ於テハ別異ノ農夫ニ強壯ナル貧民ヲ割與スルノ習慣ヲ生セリ此故ニ各農夫ハ其面所持ノ廣狹ニ比例シテ農夫カ貧民ノ勤勞ヲ要スルモ要セサルモ貧民ノ若干ヲ使用セサルヲ得ス今既ニ説明シタル彼ノ貴族カ其貴族ノ上ニ賦課セラレタル許多ノ勤勞ハ何タル有益ノモノニアラスシテ年々少クトモ百「ポンド」ノ損失ヲ惹起シタルコトヲ證明セリ五百坪ノ耕地ノ上ニ貧民ニ對スル年々ノ費用ハ此故ニ三百五十「ポ



ンド」ナリ若シ割合ニシテ數年ノ間増加スルヲ新貧民救助法ノ導カレタル事ノ如ク  
 ナラハ三百五十「ポンド」ノ年々ノ出費ハ速カニ五百「ポンド」ヨリハ多クナル可キ  
 明カナリ斯ノ如キノ出費ノタメニ陸地ノ堪ユ可キヨリハ高價ナル地代ヲ顯ハスヲナ  
 ラン而シテ之レカタメニ地面ヲ耕作ノ外ニ放棄スルノ他ニ交互ス可キモノナカル可  
 シ此事ハ決シテ例外ノ場合ニアラス之レニ反シテ英國大部ノ有様ノ肖像トシテ思考  
 スルヲ得可シトノコトヲ記憶スルナラハ英國ハ其期限ニ於テハ直チニ零落ノ深淵ニ沈  
 臨スルコト明瞭ナリト謂フ可シ

使用者ニ貧民勤勞ノ或ル額高ヲ割與スルノ企テニヨリテ尤モ抑壓ナル租稅ヲ使用者  
 ノ上ニ賦課シタリトノコトハ既ニ已ニ陳述シタリ然レ此事ハ決シテ舊貧民救助組織  
 ノ至大ナル害ニアラス農夫及ヒ他ノ人民ハ貧民ノ勤勞ヲ負擔セシメラル、ト甚タレ  
 ク其勤勞ヲ使用センカタメニ屢ハ價直アル職人ヲ廢止セサルヲ得ストノ証據ハ再三  
 再四賦與セラル、ニ到レリロイストンニ近接シテ住居セル農夫アリ嘗テ委員ニ告ク  
 ルニ長ク以前ヨリ使用セシ秀逸ナル二人ノ職工ヲ保有センカタメニ非常ニ盡力シヌ

雇ハ之レカ  
 タメニ價直  
 アル職人ヲ  
 廢セサルヲ  
 得ス

レ正終ニ農夫ノ上ニ割與セラレタル貧困力役者ノ夥多ナルカタメニ此二人ノ職工ヲ  
 廢セサルヲ得サルニ到レリトノコトヲ以テセリ農夫亦甚タ愛惜シテ廢シタル職工ノ後  
 ニ來リテ位置ヲ占メタル二個ノ貧民ニ關シテ告クルニ其一人ハ危難ナル盜賊ニシテ  
 他ノ一人ハ平生ヨリノ強飲者ナルコトヲ以テセリ若シ此貧民ヲシテ甚タ高直ナル賃銀  
 ヲ受取ラシメサルモ貧民ノ勤勞ハ尤モ費用多キモノト謂フ可シ貧民ハ勤勞ヲナスニ  
 尤モ嫌忌ノ色アリ其勤勞ハ不熟練ニシテ且尤モ注目セシメンカタメニ隊伍ヲナシノ  
 勤勞セリ貧民ノ勤勞ハ實際奴隸勤勞ノ許多ノ經濟上ノ欠點ヲ所有セリ舊貧民救助法  
 ノ不學、愚鈍及ヒ不正ノ此悲傷ス可キ談話及ヒ之レヨリ起ル所ノ破廉恥及ヒ退步  
 ノ痛傷ス可キ談話ハ決シテ盡シ得可キニアラス然レ以上ノ記載ニヨリテ若シ新貧  
 民救助法ノ可決セラレタル時ニ於テ改良セサル可カラサル尤モ甚タシキ誤謬ノ性質  
 ヲ吾人ヲシテ理解セシムルニハ充分ナル可シ此條例ノ重要ナル箇條ノ説明及ヒ其條  
 例ノ結果ノ吟味ニヨリテ其條例ハ如何ナル關係ニ於テ誤リシカ如何ナル關係ニ於テ  
 成巧セシカヲ吾人ヲシテ理解セシムルヲ得可シ此説明ヲナセシ後吾人ハ今日要スル



一十八百三  
十四年ノ新  
貧民救助法  
ハ一千六百  
一年ノエリ  
サハスノ貧  
民救助法ニ  
似タヨク類  
似レリ

所ノ改良ヲ獎勵スルノ位置ニアラサル可カラス  
我輩ハ斯クテ舊貧民救助法ト結合セル害惡ヲ記載スルヲ以テ尤モ願ハシキト思考  
セリ何トナレハ新貧民救助法ヨリ其救助法ノ非常ニ嚴重ナル有様ナリト許多ノ人民  
カ思考セルモノヲ除去セント欲スルノ欲望ヨリシテ舊組織ト結合セル有害ナル許多  
ノ事物ヲ活潑ナル施行ニ到ラシムルト或ル時限ニ於テ興起スルヲ得可ケレハナリ我  
輩ハ亦此進路ヲ採用スルコト尤モ願ハシキト思考セリ何トナレハ以前ニ流行セシ  
事物ノ有様ヲ知認スルアラハ新貧民救助法ニヨリテ導カレタル變化ノ性質ヲ理解ス  
ルニ尤モ善良ナル位置ニ吾人ヲ置クヲ得可ケレハナリ或ル根原ノ主義ニ於テハ一千  
六百一年ノエリサハスノ貧民救助法ト一千八百三十四年ノ新貧民救助法ノ中間ニハ  
殆ント差違アラサルトハ既ニ之レヲ陳述シタリ以前ノ條例中ニ保有セル自由ナル貧  
民ノ上ニ健強ナル禁制ノ徐々ニ解体シタルト及ヒ支配ノ許多ノ大ナル誤謬ノタメニ  
新立法ヲ企テク必要ナラシメタリ新條例ニヨリテハ職工場ノ試用再タヒ回復セラレ  
賃銀ノ補助トシテ分割金ヲ賦與スルノ企テヲ廢シ監督者ニ仕拂フノ命令ヲ用意シ而

愛蘭及蘇格  
蘭ノ貧民救  
助法

シテ會計ニ就テハ公共ノ試験ヲ保有セシムルニ到ラシメタリ舊組織ノ場合ノ如ク母  
ニ賞美シ父母ニ金錢上ノ責任ヲ逃カレシムルトヲナサス父ヲ小兒ノ補助ニ向ツテ  
責任ヲ有セシメタルカタニ不正統ハ幾分ハ禁制サル、ニ到レリ移住條例ハ稍ヤ力  
役者ニハ困難ナルコトヲ些少ナラシメタリ以前ニハ救區ニ於テ地面ヲ所持スルニヨリ  
テ或ハ一時ノ住居ニヨリテ住居ヲ得ルコト容易ナリシカ今日ハ之レヲ爲スト甚々困難  
トナレリ此故ニ一救區ニ移住スル新住者ヲ妨害スルノ道理ナキニ到レリ而シテ勤勞  
ノ移住ハヤ、禁制ヲ受クルト些少ナラン然レモ猶新貧民救助法ニヨリテ成就セラレ  
タル尤モ大切ナル改良ハ強壯ナル貧民ノ上ニ置キタル甚々嚴重ナル禁制是レナリ今  
日廢セラレタルモノニシテ明瞭ナル誤謬ヲ有スル分割組織ハ直接ハ自由ナル貧民ヲ  
獎勵スルモノト謂フ可シ職工場ノ試用ハ尤モ健強ナル禁制ヲ用意セリ而シテ若シ此  
試用ヲ強壯ナル貧民ニ適合セシムルヲ以テ地方官吏ノ義務トナサハ尤モ廣大ナル至  
善ヲ興起セシメタルトナラン  
一千八百三十四年ノ條例ニ續イテ一千八百三十八年ニ於テ愛蘭ニ於テ貧民救助法例



戸外ノ救助  
ハ愛蘭ニ於  
テハ蘇格蘭  
及ヒ蘇格蘭  
ニ於テ禁格  
制ニ於テハ  
甚シク少シ  
而シテ此故  
例ニ於テ愛  
蘭ニ於テ貧  
民ノ少シ

都府貧民條  
例

起レリ是レヨリ二年或ハ三年ノ後ニ於テ蘇格蘭ニ於テ貧民救助法例ノ起レルアリ愛  
蘭ニ於テノ此條例ニヨリテ戸外ノ救助ニ反對セル簡條ハ英國ニ於テ戸外ノ救助ニ反  
對セル簡條ヨリモ嚴重ナル者ト謂フ可シ何トナレハ戸外ノ救助ハ少シモ強壯ナル貧  
民ニ許容セラレサレハナリタトヒ蘇格蘭ノ貧民救助法ハ壯強ナル貧民ニ戸外ノ救助  
ヲ賦與スルヲ許容セスト雖モ雙方其簡條及ヒ其支配ニ於テ愛蘭ニ於テ施行セシ如  
キ貧民ノ上ニ同一ノ禁制ヲ置キタルヲアラス愛蘭ノ人民ノ性質及ヒ其國ノ一般ノ事  
情ヨリ思考スレハ愛蘭ニ於テハ英國及ヒ蘇格蘭ヨリ貧民ハ多カル可キ筈ナルニ全ク  
之レニ反對ノ結果ヲ呈出シタルトハ直チニ顯サル、ナラン貧民救助法ノ組織ハ一千  
八百三十四年ニ於テ新貧民救助法ノ導カレタル以後其重要ナル簡條ハ變化サル、  
アラサリキ唯採用サレン主義ノ大切ナル變化ハ一千八百六十五年ニ可決セラレタル  
連合教區出費條例ニヨリテ一教區ニアラスシテ連合教區カ割合ノ面積トナサレマ  
ルト是レナリ割合ノ面積ヲ増加スルノ主義ハ論頓ノ顯スル所ロニテハ一千八百七十  
年ノ都府貧民條例ニヨリテ猶ホ遙カ擴張セラル、ニ到レリ此條例ニヨリテ第一ニ

戸外ノ貧民ト戸内ノ貧民トノ中間ニ出費ノ面積ノ差違ヲ顯ハセリ戸内ノ貧民ヲ維持  
スルノ費用ハ都府ノ出費ナルニ戸外ノ貧民ヲ維持スルノ費用ハ連合教區ニヨリテ保  
有スル所ロトナレリ此條例ハ戸外ノ救助ヲ失望セシムルトニ於テ尤モ大切ナル効力  
ヲ保有セリ而シテ論頓ニ於テ近代戸外ノ救助ヲ乞フモノ著ルシク減少シタルハ恐ク  
ハ甚タ著ルシキ程度ニマテ其條例ノ動作ニ基ツクモノト謂フ可シ商賣ノ著ルシキ不  
景氣ニテ有名ナル一千八百七十五年及ヒ六年ニ於テ都府ノ貧民ハ九万六千〇七十一  
人ヨリ七万九千八百十六人ニ減少セリ一千八百八十二年ノ七月ノ第一ノ週間ニ於テ  
公布セラレタル報告ニヨレハ其期限ニ於テ論頓ニ於テ救助ヲ受取ル人民ノ數ハ八万  
七千二百二十二ニシテ其中戸内ノ貧民ハ四万八千九百四人戸外ノ貧民ハ三万八千  
三百十八人ナリ一千八百七十五年以後貧民ノ此些少ナル増加ハ論頓ノ人口ノ廣大ナ  
ル増加ニヨリテ差引サル、ニ餘リアル可シ論頓ニ於テ一千八百七十一年ノ人別調ト  
一千八百八十一年ノ人別調トノ間ノ人口ノ増加ハ殆ント二十二「ベルセント」ノ割合  
ナリ支配ノ秀逸如何ハ論頓ノ教區異ナルニ從ツテ大ニ變化スルナキヲ得スホワイト



チャペルノ救區ハ最良ノ一ナリ其地ニ於テハ七方一千三百五十人ノ人口ヲ有セシ一  
千八百八十一年ノ正月一日ニ於テ戶外ノ貧民ハ唯四百四十九人ニシテ戸内ノ貧民ハ  
一千四百九十七人ナリ

戶外ノ救助ヲ不相當ニ擴張セシメタル一原因ハ戶外ノ救助ハ戸内ノ救助ト比較セシ  
トキハ甚々廣直ナリト想像セラレハナリ我輩ハ貧民ハ戶外ノ救助ノタメニ獎勵  
セラレタルニヨリ戶外ノ救助ハ戸内ノ救助ヨリハ遙カニ費用多キモノナルヲ信スト  
雖戸外ノ貧民ヲ維持スル目前ノ費用ハ若シ貧民カ職工場ニ入込ミシキノ半額ヨリ  
モ屢ハ些少ナルトアルハ消除ス可カラサルト謂フ可シ戶外ノ救助ヲ戸内ノ救助ヨ  
リ冀望スルトテ番人ニ公言スルノ誘導ハ若シ論頓ノ如ク戶外ノ貧民ノ全費用ハ各連  
合教區ニ於テ負擔シ連合教區外ノ大地方ノ住民ハ戸内ノ貧民ノ補助ノ分前ヲ拂フ  
トナスナラハ直チニ消滅スルニ到ルヤ明ヲカナリ若シ都府貧民條例ノ主義ヲ全國ニ  
擴張スルナラハ戶外ノ救助ヲ失望セシムルカタメニ貧民ヲ減少スルニ大結果ヲ生ス  
可キハ實ニ疑ヒヲ容レサルナリ例ヘハ戶外ノ貧民ニ向ツテノ出費ハ各連合教區ニ日

此條例ニヨ  
リテ排棄サ  
レタル戶外  
ノ救助ノ誤  
誤ノ糾解

リテ負擔スルモ戸内ノ貧民ノ出費ハ地方ノ割合ニヨリテ負擔ス可シト整理スルヲ得  
ルナル可シ

既ニ説明セシ都府ニ於テ貧民ノ著ルシキ減少ハ一部分施政ヲ改良セシニ原因セシト  
疑フ可カラス何トナレハ戶外ノ貧民ハ大ニ論頓外ノ許多ノ地方ニ於テ衰頽シタレハ  
ナリ而シテ以前ニ記載セシ如ク戶外ノ貧民ト戸内ノ貧民ニ向ツテ出費ノ面積ヲ異ナ  
ラシムルノ組織ハ是マテ論頓ノミニ於テ行ハル、所ナリ戶外ノ救助ノ許容サル、  
程度ハ或ル他ノ事情ヨリハ貧民ノ全數ノ多少ヲ決定スルニ甚々シキ勢力ヲ行フモノ  
ナルトテ望見スルヲ得可シ斯クテ既ニ記載セシ如ク英國ニ於テヨリハ愛蘭ニ於テハ  
戶外ノ救助ヲ與フルトニ於テ甚々シキ禁制ヲ置キタリタトヒ愛蘭ノ一般ノ有様ヨリ  
思考スレハ英國或ハ蘇格蘭ヨリハ愛蘭ニ於テ遙カニ許多ノ貧民アル可キ結果ニ導ヒ  
ク可キ筈ナレハ精密ニ之レニ反對セルノ實況ヲ呈セリ何トナレハ最後ノ十ヶ年間ノ  
平均ニヨレハ愛蘭ノ人口ノ五十七人ニ對スル一人カ教區ノ救助ヲ受取ルノ割合ナレ  
ハ英國及ヒ蘇格蘭ニ於テハ各々三十三人ニ對スル一人及ヒ三十六人ニ對スル一人ノ

英國蘇格蘭  
愛蘭三國  
ノ貧民  
比較



割合ナレハナリ

最後ノ十年間貧民救助法ハ英國ニ於テ以前ヨリハ精密ヲ以テ戸外ノ救助ニ關シテ一般ニ支配セシテ敢テ疑フ可カラズ而シテ之カタメニ貧民ヲ甚々シキ減少ニ導キタルノ結果ノ顯ハセリタトヒ一千八百五十年及ヒ一千八百七十年ノ中間ノ時限ハ著ルシキ工業盛榮ノ時限ナリト雖正然レ其時ニ於テ貧民ハ徐々ノ増加ヲ呈スルノ有様ノリキ一千八百七十三年ニ當リテハ盛榮ノ潮汐妨害サレ之レニ續キタル數年ノ間耕作及ヒ工業ノ他ノ種類ハ著ルシク抑制セラル、ニ到リタリ此時限ノ間ニ起リタル困難及ヒ損失ハ貧民救助法ノ多ク注意セル支配ノ大切ナルヲ一般ニ了知セシムルモノト謂フ可シ然レ此事ノ如何ニ關セス以前ニ記載セシ如ク此時限ノ間ニハ戸外ノ救助ハ以前ヨリハ甚々廣ク一般ニ賦與セラレタルヲ疑ヒヨ容レサルナリ我輩ハ此故ニタトヒ人口ハ徐々ニ増加セシト雖正一千八百八十二年ノ一月一日ニ於テ救助ヲ受取ル大英國人民ノ數ハ八十九万五千四百一人ナリ一千八百七十年ノ一月一日ニハ百二十万ナリシカ故ニ斯クテ三十万四千五百九十九人ノ減少ヲ顯ハセリ同時限ニ於テ

貧民救助法ノ支配ノ結果

一千八百七十年ノ一月一日ニ於テ救助ヲ受取ル大英國人民ノ數ハ八十九万五千四百一人ナリ一千八百七十年ノ一月一日ニハ百二十万ナリシカ故ニ斯クテ三十万四千五百九十九人ノ減少ヲ顯ハセリ同時限ニ於テ

愛蘭ニ於テ貧民ノ疑問ハ英國ニ於テ興起セシ所ノモノトハ全ク反對ヲ顯ハセリ愛蘭ノ人口ハ減少スルニモ拘ハラズ以前ニ愛蘭ノ貧民救助法ノ固有ノ性質ナリシ戸外貧民救助法ニ關シテ精密ノ支配ハ全ク放棄セラレタルカタメニ貧民ノ數ハ七万四千八百八十二年ノ一月一日ニヨレハ此事ノ説明トシテケンブリッジサイヤ州ノ田舎ノ連合教區ナルリントンニ於テハ一万三千十四人ノ人口ノ中ニ於テ戸内ノ救助ヲ受取ルモノ百四十四人、戸外ノ救助ヲ受取ルモノ九百人ヨリ少ナカラストノトヲ記載スルヲ得可シ此故ニ十三人ニ對スル一人強ハ貧民ナリブレストンニ於テハ十二万九千五百五十五人ノ人口ヲ以テ戸内ノ救助ハ唯八百八十八人、戸外ノ救助ハ七百二

連合教區ノ貧民ノ數ハ都府ヨリハ英國ノ田舎地方ニ於テ戸外ノ救助甚々多シ而シテ田舎地方ニ於テ貧民ノ數ハ都府ニ於テ流行セル貧民ノ數ニ遙カニ超過スルト一般ナリ最近ノ報告(一千八百八十三年ノ一月一日)ニヨレハ此事ノ説明トシテケンブリッジサイヤ州ノ田舎ノ連合教區ナルリントンニ於テハ一万三千十四人ノ人口ノ中ニ於テ戸内ノ救助ヲ受取ルモノ百四十四人、戸外ノ救助ヲ受取ルモノ九百人ヨリ少ナカラストノトヲ記載スルヲ得可シ此故ニ十三人ニ對スル一人強ハ貧民ナリブレストンニ於テハ十二万九千五百五十五人ノ人口ヲ以テ戸内ノ救助ハ唯八百八十八人、戸外ノ救助ハ七百二



十九人ナリ此故ニ貧民仲間ノ中ニアルモ、唯人口八十人ニ對スル一人ノ割合ナリサ  
 ーロズバリーノ都府ヲ含蓄セルアトテムノ連合教區ニ於テハ一千八百八十三年ノ  
 一月一日ニ於テ四万八千六百四十人ノ人口ヨリ救助ヲ受取ル人民ノ數ハ唯六百二人  
 ナリ即チ全人口ノ殆ント八十人ニ對スル一人ノ割合ナリ此六百二人ノ中ニ於テ四百  
 十三人ハ戸内ノ救助ニシテ百八十九人ハ戸外ノ救助ナリ此百八十九人ノ中ニ於テ唯  
 各々二人ノ男女ナル四人ノミ壯強ナル成年ニシテ殘餘ノモノハ薄弱ノモノカ小兒カ  
 然ラスンハ狂人ニ外ナラス此連合教區ニ於テ貧民救助法ノ支配ノ改良ハ殆ント全々  
 ク近時ノサー、バルド井、レイトン氏ノ廢滅ス可カラサルノ勸勞ニ基ツケリ氏ニヨ  
 リテ戸外ノ救助ヲ許容スルニ非常ノ注意ヲナスノ必要ヲ斯ク巧妙ニ思考セラレタル  
 教訓ハ此ノ連合教區ヲシテ英國ニ於テ支配セラレタル最良教區ノ一ヲラシムルニ到  
 レリ貧民ノ數ノ此著ルキ差違ハ一部分耕作ノ人民ノ至大ナル貧困ニ基ツクテ疑ヲ  
 容レス然レモ人民カ一様ナル事情ノ下ニアル地方ニ於テ貧民ノ吟味ノタメニ著ルシ  
 キ明白ヲ以テ貧民カ戸外ノ救助ノ支配嚴重ナラサルカタメニ獎勵セラレタル程度ヲ

アトテム

イックスホ  
 ルド及ヒケ  
 ノンブリッ  
 較ノ貧民ノ比

顯セリ斯クテオツクスホルド及ヒケンブリッチノ如ク人民ノ一般ノ有様ノ同一ナル  
 二個ノ都府ハ他ニ決シテ見出スルヲ得サル可シ兩都府ハ皆ナ大學校ノ位置ニシテ且  
 廣大ナル耕作ノ地方ノ中心ナリ二万一千九百ノ人口ヲ所持セルオツクスホルドニ於  
 テ戸内ノ貧民ハ三百二十三人ニシテ戸外ノ貧民ハ二百二十人ナリ之レヲ合スレハ人  
 口ノ二「ベルセント」四八ノ割合ナリ三万五千三百八十二ノ人口ヲ有スルケンブリ  
 ッチニ於テハ戸内ノ貧民二百三人ニシテ戸外ノ貧民一千五百五十六人ナリ之レヲ合  
 スレハ人口ノ四「ベルセント」九七ノ割合ナリ此故ニ戸外ノ救助ノ自由ニ賦與セラレ  
 タルケンブリッチハ其人口ニ比例シテ貧民救助法ノ尤モ注意シテ支配セラレタルオ  
 ツクスホルドノ貧民ノ二倍ニ當レルモノト謂フ可シ  
 若シ我輩カ再々ヒ貧民救助法ノ支配ヲ不取締ナラシメ戸外ノ救助ヲ一般ニ自由ニ賦  
 與スルトキニ起ル可キ不幸ホト英國ニ至大ナル不幸ノ起ルテアラサル可シ貧困ハ無  
 限ニ増加スルヲナラン而シテ凡テノ方向ヨリ力役者ノ有様ヲ抑制ス可キ器具ノ運動  
 スル所トナル可キナラン増加セル貧民ノタメニ成長セル負擔ハ工業ノ上ニ嚴重

工社管ハ  
 成他ノ貧  
 民救助法  
 不取締ナ  
 離ヲ受クル



一國ノ貧民  
ノ割合ハ不  
幸ノモノト  
ラン

ナル租税ヲ賦課スルヲナラン而シテ我輩カ既ニ論述セシ如ク舊貧民救助法ノ日ニ於  
テ發育セラレタル不用心ハ活潑ニ回復サル、ナラン斯クテ充溢セル勤勞市場ニ來リ  
迅速ナル賃銀ノ減少ヲ惹起スルハ實ニ避ク可カラサル結果ト謂フ可シ  
今既ニ記載セシ結果ニ疑ヒモナク導クナラント想像ス可キ主張ヲ屢ハ顯ハスモノナ  
キニアラス斯クナ時トシテハ一國ノ貧民ノ割合ナカル可カラス貧民ハ地方ノ出費ト  
ナサスシテ金額或ハ一部分政府ノ貯蓄金ノ中ヨリ賜ハレサル可カラスト主張スルセ  
ノアリ若シ斯ノ如キ整理ニシテ行ハル、ニアラハ注意アル經濟上ノ取扱ニ向ツテノ  
請合ハ嚴シク微弱ノモノタルト疑フ可カラサル也若シ地方政府ニシテ國庫ヨリ引出  
スヲ得ルナラハ公共ノ金銀引去リニ向ツテ争ヒアルニ到ルナラン而シテ貧民ハ之レ  
カタメニ刺衝サレ未タ時日ヲ經過セサル中ニ一國ノ工業ハ保有ス可キ負擔ニ對シテ  
競争スル能ハサルニ到ラン貧民ノ利益ニ於テ貧民救助法ノ支配ハ如何ニ注意スルモ  
決シテ過度ノモノト稱スルヲ得スマルサス及ヒヒヤルメルノ如キ有名ナル經濟學者  
ハ舊貧民救助法ヨリ起リタル害ヲ以テ非常ニ感動サレ二氏ノ如キハ強ク舊組織ヲ全

貧民救助法  
ノ施行ハ政  
治上ノ道  
徳上ノ補  
助セラレ  
タラス

廢ス可キヲ痛論シタリ二氏ハ明カニ如何ナル國ニ於テモ各人民ニ維持ヲ受ク可キ  
權理ヲ賦與スルノ責任ヲ無難ニ有スルヲ能ハサルヲ思考セリ然レモ我輩ノ説ニ於  
テハ若シ貧民救助法ニシテ適當ニ支配サル、ナラハ救助ハ眞實ニ必要ナル場合ニマ  
テ禁制スルヲ得可シトノヲ經驗ヨリシテ證明スルモノ、如シ而シテ貧民ハ若シ區  
別ナキ不順序ナル慈悲ヨリハ他ノ原因ヲ所持セサルモヨリモ獎勵サル、ト遙カニ些  
少ナルヲ信スルナリ

貧民救助法ニ結合セル利益ノ中ニ飢渴ニ對シテ制限アル保護ノ成立セルカタメニ最  
貧種族ノ失望ノ感情ヲ防禦スルノ勢力ハ甚タ緊切ノモノト稱セサルヲ得ス而シテ此  
失望ノ感情著ルシク妨害セラレタルカタメニ社會黨ノ企望及ヒ理論モ英國ニ於テハ  
人民全体ノ甚々廣大ナル贊助ヲ得ルヲアルナシ一千八百八十二年ノ春ニ於テ佛國激  
烈社會黨ノ首領ナルムドルルイス、ミイチェル女カ論議ヲ遊歴セルモニ於テ第一ニ  
此女ノ心中ニ感動セシメタルハ我カ貧民救助法ノ如ク英國ニ便利ナルモノアラスト  
ノト是レナリ而シテランゴスノ職工場ヲ巡回セシ後此女カ若シ佛國ノ貧民ニシテ非



貧民減少ニ  
向テ起ル種  
々ノ器具

常ノ欠亡ニ對シテ法律上ノ保護ヲ貧民ニ與フル英國ノ如キ一様ナル制度ヲ所持スル  
 ナラハ貧民ノ回復ヲ望ミシ許多ノ嚴烈ナル害毒モ排棄サル、ナラントノヲ布告セ  
 リト此事タルヤ輕々ニ看過ス可カラサル緊要ノ實事ト謂フ可シ  
 貧民救助法ノ注意シタル支配ノ外ニ前章ニ於テ貧民ヲ減少センカタメニ働ク所ノ  
 許多ノ器具ニ就キテ論述シタリ斯クテ一國ノ教育ニヨリテ既ニ行ハレタル勢力ハ甚  
 タ緊要ノモノナルトヲ論シタリ借地法ノ改良及ヒ共働共力ノ主義ノ適合擴張スルハ  
 尤モ大切ナルトヲ言ヘリ又經濟ノ處行ヲ甚タ容易ナラシメ人民ノ之レヲナスヲ得セ  
 シムルノ機會ヲ失ハシメサルト甚タ大切ノモノト謂フ可シ近代貧民ノ中ニ用心ノ一  
 致シタル増加アルカタメニ之レニ伴フテ過度ノ強欲強食ハ著ルシキ減少ニ赴キタリ  
 トハ實ニ満足ス可キ實事ト謂フ可シ貧民ノ中ニ貯蓄ノ習慣擴張スルノ説明トシテ英  
 國及ヒエールスノ全人口ノ十分ノ一ヨリ少ナカラサルノ人民カ郵便局貯蓄銀行ノ預  
 ケ人ナリトノヲ記載スルヲ得可シ貧民ノ中ニ用心ノ増加ヲ以テ貯蓄ノ許多ノ新規  
 ナル形体ハ徐々ニ發達スル所トナルナラントノヲ信用シテ前見スルヲ得可シ一

女子ノ職業  
ヲ妨害スル  
各事情ハ貧  
民ヲ増加ス  
ルノ原因ト  
ス

千八百八十二年ニ於テ可決セラレタル條例ニヨリテ人民ハ一週間ニ「ペンニー」ノ  
 如キ些少ノ金額ヲ出シテ限リアル年金或ハ生命保險ヲ購求スルヲ得ルナラン若シ  
 人民ニシテ未來ニ用意シナス充分安全ナル手段ヲ得ルヲ感スルナラハ教區ノ救助  
 ハ老年及ヒ鰥寡孤獨ノ人民ノ依頼ノ原因トナルト甚タ些少ナルニ到ルハ實ニ疑フ可  
 カラサルトト我輩ハ思考スルナリ  
 此章ヲ終ル前ニ當リテ自己ノ生計ヲナスニ適當ナル女子ノ進路ニ横ハル困難ノタメ  
 ニ貧民ニ甚タ嚴シキ獎勵ヲ與フルトニ注意スルコト望マシキナラン若シ或ル地方  
 ノ貧民ノ統計表ヲ吟味セシナラハ教區ノ救助ヲ受取ル強壯ナル貧民ハ女子ナルトヲ  
 見出スルナラン斯クテケンブリッジノ貧民ノ多數ニ就テハ既ニ之レヲ説明セリ戶外  
 ノ救助ヲ受取ル三百十一人ノ強壯ナル貧民ノ中ニ於テ二百三十人ヨリ少ナカラサル  
 ノ貧民ハ女子ナリ女子カ生計ヲ得ルニ當リ逢遇スル所ノ困難ハ屢ハ女子ニ利益ヲ  
 得セシメント欲スル謬謬ノ思想ヲ以テ可決セラレタル種々ノ法律ニヨリテ著ルシク  
 増加サル、モノナリ其法律タルヤ女子ヲ工業ノ或ル種類ニ使用サル、トヲ禁スルカ



然ラスンハ女子ノ勤勞ノ上ニ職業ノ機會ヲ減少セシムルニ到ルホト禁制ヲ置クモノナリ世人ノヨク知認セル如ク彼ノ製造條例ハ或ル工業ニ於テ女子、少年、及ヒ小兒ノ勤勞ノ時間ヲ制限セリ此禁制カ小兒及ヒ少年ニ適合スル所ロニテハ吾人ハ充分正當ノモノト望見スルヲ得可シ何トナレハ若シ父母及ヒ使用者ノ貪欲ヨリノ過度勞役ノ明瞭ナル害ニ小兒ヲ從エシムルニアラハ小兒ハ自己ヲ保護スルノ位置ニアラサレハナリ然レモ壯年ノ勤勞ノ時間ニ干涉スルトハ決シテ是等ノ道理ニヨリテ整理スルヲ得ス製造條例カ壯年ノ女子ニ關スル所ヨリ論スレハ舖店ニ於テ或ハ一家ノ工業ニ於テ補助人トシテ使用サレタル人民ニ製造條例ノ適合ヲ擴張スル企テハ尤モ嚴シク抵抗セラレサルヲ得ス時間ノ減少及ヒ殘餘ノ相當ナル寬容及ヒ食物ノ相當ナル寬容ハ政府ノ補助ナキモ自由ナル手段ニヨリテ得可シト我輩ハ確信セリ女子ノ工業ニ法律上ノ禁制或ハ或ル他ノ禁制ヲ置クトヲ宣言スルニ從ツテ許多ノ職業ハ各女子ノ入込ノタメニ充塞スルナラン而レテ女子ノ大數ヲシテ猶ホ充塞セサル職業ニ群集スルナラントノトヲ記憶セサル可カラズ而シテ既ニ充分低廉ナル賃銀ハ猶ホ多ク壓抑サ

ル、トナル可シ如何ナル職業カ女子ニ向ツテ適當ノモノナルカ或ハ不適當ノモノナルカヲ決定セント欲スルノ人々ハ或ル工業ハ必ス他人ニ依頼スル貧民ノ生活ト結合セル不幸ヨリハ善良ノモノナリ而シテ正シキ工業ト結合セル或ル物ヨリハ女子ノ運命ニ於テハ猶甚タシキ害アルヲ得可シトノトヲ忘却スルノ甚タシキモノト謂フ可シ女子ハ其勢力ニヨリテ衰微スルナラント想像セシ或ル害惡ヲ受クルヲ要セサルハ屢ハ證明スル所トナレリ例ヘハ英國ノ許多ノ部分ニ於テ耕作ニ使用セラレタル女子ハ尤モ不満足ノ有様ニ於テ存在スル一ハ如何ナル人モ之レヲ消除スルヲ得サル可シ其女子ノ賃銀ハ非常ニ些少ニシテ且衣服モ汚穢ノ破衣ヲ纏ヒ而シテ屢ハ貧ニ追ハレテ田野ニ赴ムケリ女子ハ一家ノ職業ニ注意セサルヲ得サルトハニノミ勞働セリ此害ヲ注意スル許多ノ人ハ國會ニ於テ耕作ニ女子ノ使用ヲ禁セサル可カラサルトヲ配慮セリ然レモ若シ女子ノ勤勞ニ別異ノ方向ニ於テ行ハレタルナラハ女子ハ田野ニ出ツルモ決シテ害ヲ受ケス反ツテ利益ヲ得ルモノナルトヲ證明スルナル可シ一千八百六十七年ニ於テ耕作ニ使用サレタル人民ノ有様ヲ吟味セシ補助委員ノ一人ナルヘンリー



女子ノ力役  
政府ノ干渉  
ハ不正ナリ

氏カノルランブランドノ田舎ノ人民ニ就キテ尤モ利益ナル記載ヲナセリノルサンブ  
 ランドノ力役者ニ就キテノ氏ノ記載ト英國ノ他ノ部分ノ農夫ニツキテ與ヘラレタル  
 不幸ナル記載トヲ比較スレハドルセツトサイヤノ力役者トノルサンブランドノ力役  
 者ハ同國ノ住民ナルトヲ信スルヲ得サル程相違セリノルサンブランドノ力役者ハ許  
 多ノ賃銀ヲ得、都合ヨク然レハ儉約ニ生活セリ薪炭ハ廉價ニシテ家屋ハ清潔ニシテ  
 且便益ナリ年ノ格段ナル氣候ニ於テ眷族ノ女子ハ皆テ田野ニ於テ耕作セリ然レハ一  
 家ノ職務ハ決シテ輕忽ニ附セラル、トアラス女子ハ便利ニ且適當ニ着服シタルカ故  
 ニ女子ノ戶外ノ勤勞ハ女子ニハ利益ナルモノト謂フ可シ何トナレハ女子ハ一般ニ甚  
 タ強壯ナル如クナレハナリ又此地方ハ蘇格蘭ニ近接セルカタメニ農夫ニ教育ノ熱心  
 ヲ賦與セシモノ、如シ善良ナル小學校ハ澤山ニシテ小兒ハ一般ニ十二三歳マテ此學  
 校ニアリテ勉強スルヲ常トス女子ヲシテ今日教區ノ救助ノ上ニ依頼スルヨリモ猶多  
 クノ依頼ヲ要セシムル或ル處置ヲ許容スルノ以前ニ吾人ヲシテ今記載セシ如キ實事  
 ヲ審議セシメサル可カラサルヲ信スル也

第六章

地方稅論

前章ニ於テ我輩ハ教區ノ救助ヲ支配スル現今ニ規則ニヨリテ貧民ノ上ニ及ホシタル  
 勢力ヲ論述セリ今ニ到ルマテ我輩ハ唯偶然ニ貧民救助法ト結合セル種々ノ財政上ノ  
 疑問ヲ思考シタリ此故ニ別章ヲ設ケテ地方稅ノ主意ヲ論述スルハ望マシキトナラン  
 此主意ヲ論述シタル後吾人ハ地方稅ノ偶事ト結合セル種々ノ雜駁ナル經濟上ノ或ル  
 疑問ヲ成ル可ク説明セサル可カラス

英國ニ於テ若シ租稅ヲ論述スルハニ當リ國稅ノミナラス地方稅ヲモ思考セサル可カ  
 ヲス而シテ國稅ノ許多ノ關係ニ於テ地方稅トハ著ルシキ反對ノ性質ヲ有スルモノナ  
 ルトヲ屢ハ忘却ニ過クルモノ、如シ既ニ經過セシ數年ノ間タトヒ許多ノ租稅廢棄セ  
 ラレ而シテ費用非常ニ大ナリシトハ雖モ帝國ノ歲入ハ凡百ノ需要ニ應スルニ充分ニ  
 餘裕ヲ呈スルニ到リタリ然レモ若シ我輩カ地方稅ヲ思考スルハ全ク事物ノ相違  
 セル有様ヲ注目スルヲ得可シ大英合衆王國ニ於テ地方政府ニヨリテ徵收セラレ且尙

帝國ノ財政  
ト地方ノ財  
政ノ比較



歳入ノ超過  
スル費用ノ  
過度ナルハ  
地方財政ノ  
骨背也

一千八百八  
十一年ニ於  
テ論議ノ地  
方ノ歳入

費セラレタル金錢ノ意味ナル地方税ハ絶ヘス増加スル所トナリ今日ハ六千一百万  
 「ポンド」ヨリハ少ナカラサル金額ニ達スルニ到レリ若シ地方税ニノ既ニ經過セル二  
 十五年間ニ増加セル同一ノ割合ニ於テ今後二十五年間増加ノ永續スルアラハ地方税  
 ハ著ルシク國税ニ超越スルナラン一國ノ財政ノ關スル所トニテハ許多ノ經過セル  
 年間ニ於テハ量衡ノ如ク右方ニ於テ必ラス平均スルヲ得レトモ地方税ニ關シテハ全  
 ク反對ノ結果ヲ呈セサルヲ得ス英國ノ極端ヨリ極端ニ到ルマテ地方政府ハ絶ヘス通  
 例ノ歳入ヨリハ許多ノ金額ヲ消費セリ歳入ノ過度ナルニモ拘ハラズ費用ハ非常ニ廣  
 大ニシテ償フ可キ欠亡ハ非常ニ巨額ナルカタメニ負債ノ金額ハ都府税ニヨリテ得  
 ル金額ノ著ルシキ比例ヲ保有スルニ到レリ  
 左ニ記載スルモノハ最後ノ年間(一千八百八十一年)ニ於テ論議ノ財政ナリ之レヲ記  
 載スルニ數字ヲ以テスルト尤モ便利ナル可シ

一千八百八十一年ニ於テ論議ノ地方ノ歳入

割合ニヨリテ徴收

五百四十七万〇八百十二「ポンド」

給料、通行税及ヒ地代ニヨリ徴收

五十一万一千六百九十五「ポンド」

租税ニヨリテ徴收

四十二万八千七百四十六「ポンド」

政府ノ補助ニヨリテ得タル金額

五十七万八千二百八十三「ポンド」

種々ノ領收ニヨリテ得タル金額

百六十九万九千八百三十七「ポンド」

公債ニヨリテ徴收

二百二十六万〇四百七十「ポンド」

此等ノ數字ヨリ觀察スレハ費用ハ遙カニ歳入ニ超過シ公債ニヨリテ徴收シタル金額  
 ハ割合ニヨリテ徴收シタル金額ノ殆ント四十「ペルセント」ナルニ到レリ此數字ニヨ



論ニ於テ  
地方財政ノ  
有様ハ全國  
ノ實像ナリ

リテ開發セシメタル事物ノ有様ハ餘リ甚クシヤカタメニ都府ハ例外ノ場合ナリト想  
像スルヲ得可シ然レモ不幸ニシテ都府亦例外ノ場合ニアラス何トナレハ論頼ノ財政  
上ノ位置ハ國ノ他ノ部分ニ於テ運行セルモノ、肖像ナレハナリ以前ニ記載セシ如ク  
大英國及ヒ愛爾ニ於テ地方出費ノ年々ノ金額ハ六千一百万「ポンド」ニシテ地方稅ニ  
ヨリテ得タル金額ハ四千万「ポンド」ナリ歲入ニ超過スル此過度ノ出費ハ尤モ苦慮ス  
可キ思考ノ價直ヲ有セリ恐ラクハ通例ノ歲入ハ通例ノ出費ニ逢過スルニ常ニ相當ノ  
モノナリト論述サル、ナラン而シテ年々募集スル公債ハ永久ノ改良ノ工業ヲ行ハン  
カタメニ拂ハレタルモノナレハ財政上ノ欠亡ヲ證明スルモノト思考ス可カラズ然レ  
モ適當ナル放金ニ向ツテ關レタル資本ト稱セサル可カラサルヲ論述スルナラン又  
斯ク速カニ富及ヒ人口ノ増殖スル邦國ニ於テハ此地方ノ費用ヲ生山スルヲ得ヘシ費  
用ノ増加ハ國ノ繁榮ト比較スレハ就中餘リ大切ノモノニアラスト論スルヲ疑フ可カ  
ラサルナラン右ニ一様ナル主張ハ我輩カ既ニ論述セシ廣大ナル出費ニ向ツテ正確  
ナル主張ヲ組織スルモノナリトシテ一般ニ領承セラル、所口トナレリ然レモ些少ノ

地方稅ノ吟  
味ヲ圖シ  
所ノ困  
難

資本  
ノ投入

吟味報告ハ  
吟味セラル  
ハ、トモ稀  
ナリ

吟味ニヨリテ現今ノ地方ノ費用ノタメニ設ケタル斯ノ如キ保護ハ不相當ニシテ且不  
満足ノモノナルヲ證明スル實事ヲ直チニ公布スルヲ得ルヲナラン  
第一ニ此等ノ公債ノ徵收及ヒ消費ト結合セル事情ハ尤モ非常ナル混雜ノ中ニ含蓄セ  
ラル、モノナルヲ記憶ス可シ假令ハ地方政府ニヨリテ得ラレタル全負債ハ如何ノ  
ルモノナルヤヲ正確ナラシムルヲ困難ナリ而シテ借リタル公債ヲ拂ヒ返サンカタメ  
ニハ如何ナル所置ヲ採用ス可キカヲ發見スルヲ出來可カラサルナリタトヒ此等ノ公  
債ハ永久ノ改良ヲ行ノ所ノ生産ノ工業ニ向ツテ仕拂フモノナルヲ絶ヘス主張ス  
ルト雖モ確信シテ此等ノ主張ヲナス人ハ恐クハ地方政府ノ公布セル報告ニヨリテ其  
主張ヲ維持スルヲ得可キヤ否ヤヲ觀察スルノ勞ヲ取ルヲ甚ク稀ナリ通例ハ歲入ハ  
資本トシテ公然ト消費スルヲ目的トセル金錢ヲ投入セシムルホト財政ヲ妨害スル習  
熟セシ原因ハ一モ之レアラサル可シ  
公債ノ消費セラル、方法ヲ論述セサル結算報知ハ殆ント價直ナキモノナリ地方政府  
ノ報知ハ此吟味ニ從ヘラル、ト甚ク稀ナリト謂フ可シ而シテ決算報告ノ未タ之レア



地方ノ費用  
ハ國ノ富  
リハ速カニ  
増加ス

ラサル間ハ地方財政ノ眞實ノ位置ヲ知認スルヲ決シテ得ラル可カラサルヲナラン地  
方税ノ主意ノ上ニ流行セル凡白ノ誤謬ノ思考ニ就テ既ニ説明セル思考ノ如ク有害ナ  
ル結果ノ習熟セルモノハ決シテ之レアラサル可シ人民ハ絶ヘス反覆シテ地方費用ノ  
増加ハ他方ノ増加ヨリモ嚴重ノ度些少ナリトノヲ殆ント信セサル可カラサルカ如  
ク思考セリ何トナレハ國ノ富及ヒ人口ハ費用ヨリハ甚々迅速ナル割合ニ於テ増加ス  
可ケレハナリト此想像ノ全ク誤謬ナルヲハ直チニ地方税ノ或ル統計表ヲ思考スル  
ニヨリテ証明スルヲ得可シ今爰ニ引用セント欲スル數字ハ一千八百四十一年以後リ  
バプールの地方ノ費用ナリ

斯ク著ルシク現時ノ固有ノモノタル富ノ生産ノ増加ハ一千八百四十一年後速カニ始  
リタルトハ之レヲ言ハストモ世人ノヨク知認スル所ロナル可シ而シテ恐ラクハ王國  
ノ都府ニシテ最後ノ二十五年間ニ起リタル商業ノ先例ナキ發達ニヨリテリバプールの  
ノ如ク繁榮シタル都府ハ一モ之レ無カル可シ一千八百四十一年ニ於テリバプールの  
撰擧區ノ一部分ヲ組織スルリバプールの教區ニ於テ割合ニヨリテ得タル金額ハ八万

一千八百四  
十一年及ヒ  
一千八百八  
十二年ニ於  
テリバプ  
ールの例証

一千七百三十三「ポンド」ナリ此金額ハ徐々ニ増加シ一千八百八十二年ニ於テハ三十  
七万七千二百九十一「ポンド」ニ到レリ一千八百四十一年ニ於テリバプールの教區ニ  
於テ地方税ハ一人毎ニ七「シルリング」四「ペンニー」ノ出費ヲ顯ハセリ一千八百七十  
年ニ於テハ此出費一「ポンド」五「シルリング」三「ペンニー」ヨリ少ナカラサル金額ニ  
到リ一千八百八十二年ニ於テハ一「ポンド」十六「シルリング」七「ペンニー」ニ達スル  
ニ到リタリ

割合ハ同一ノ比例ニ於テ成長スルヲアラス然レモ其成長ハ嚴シキ驚愕ヲ刺衝スルヲ  
充分ナリト謂フ可シ一千八百四十一年ニ於テ此教區ニ於テ割合ハ一「ポンド」毎ニ一  
「シルリング」八「ペンニー」二分ノ一ナリシカ一千八百五十一年ニ於テ割合ハ三「シル  
リング」四「ペンニー」トナリ一千八百六十年ニ於テハ三「シルリング」九「ペンニー」四  
分ノ三トナリ一千八百七十一年ニ於テハ四「シルリング」五「ペンニー」四分ノ一ニシ  
テ而シテ一千八百八十二年ニハ五「シルリング」トナルニ到レリ

地方出費ノ増加ハ富及ヒ人口ノ増加ニ比例スルモノナリトノ理論ハ今引用セン數字



ヨリ十分課課ノモノタルヲ證明セリ何トナレハ王國ニ於テ尤モ富榮ノ一都府ニシテ地方稅カ各人民ノ上ニ賦課スル負擔ハ四十年間ニ四百九十八「ベルセント」増加セリ而シテ得ラレタル凡百ノ財產ノ上ニ賦課セラレタル割合ハ四十年間ニ九十五「ベルセント」増加セルヲ以前ノ數字ニヨリテ證明スレハナリ恐ラクハリバプールの教區ハ例外ニ不幸ナル結果ヲ顯ハセリトノヲ思考スルヲ得可シ然レモハリバプールの撰舉區及ヒ郭外ヲ組織スル地方ノ地方稅及ヒ地方ノ費用ヲ記載スル左ノ著ルシキ數字ヨリ思考スレハリバプールの教區ハ決シテ例外ニ不利益ナル結果ヲ顯ハシタルモノト謂フ可カラスウエスト、デルベイノ百個ノ親族ニ於テ四十年間ニ拂フ割合ハ「一ポンド」ニ於テ「シルリング」七「ペンニー」ヨリ六「シルリング」一「ペンニー」ト二分ノ一ニ増加セリエベルトンは於テハ割合ハ一千八百八十二年ニ於テ「一ポンド」ニ六「シルリング」十「ペンニー」ナリ而シテキルクデールニ於テハ割合ハ六「シルリング」七「ペンニー」二分ノ一ナリキ財政上ノ負擔ヲ増加スル此畫圖ヲ充分ナラシメンカタメニリバプールの借財ハ四十年間ニ四百七十八「ベルセント」ヨリハ許多ニ増

加セリ即チ百二十一萬二千九百九十二「ポンド」ヨリ五百七十九萬五千四百十一「ポンド」ニ増加セリトノヲ記載スルヲ得可シ我輩ハ今再々此數字ヲ考察スル機會ヲ保有セサルヲ得ス然レモ一二瞬間數字ヨリ惹起セシメタル思考ヲ論述スルヲ恐ラクハ望マシキトナル可シ

最後ノ四十年間ニ起リタルモノニシテ今後四十年間ニ起ルヲアラハ其結果ハ如何ナル可キ乎ト詰問スルヲ得可シ地方稅ハ然ルキニ各人民ノ上ニ一人毎ニ八「ポンド」ヨリハ許多ノ出費ヲ賦課スルヲナラン而シテ割合ハウエスト、デルベイノ百眷族ニ於テ「一ポンド」ニ二十四「シルリング」ヨリハ些少ナラサルヲナラン斯ノ如キハ想像上ノ歸結ニシテ實際ニ出來可カラサルヲナリト疑ヒモナク言ハル、トナラン然レモ如何ナル所ニ於テ我輩ハ吾人カ以前ニ望見セシ如ク最後ノ四十年間正確ニシテ且徐々ナル度ヲ以テ進歩セシ費用ノ増加ニ効力アル抵抗ヲ望見スルヲ得可キ乎現今ノ如キ租稅ノ増加スルノミナラス借財ノ増加スル時ニ於テ或ル効力アル抵抗ヲ望見スルハ火焰ニ膏油ヲ注射シテ火ヲ消盡セシムルヲ得可シト想像スルニ異ナラス不道理ノ



甚ハシキモノト謂フ可シ此地方借財ノ増加ハ如何ナルトヲ証明スル乎地方ノ負擔ノ増加ハ廣大ナリシカタメニ歳入ハ出費ニ應センカタメニ不充分トナレリトノ事ヲ證明スルニ外ナラサルナリ

リパブールノ撰舉區ヲ組織スル或ル地方ニ於テハ割合ハ一「ポンド」ニ六「シルリング」ヨリハ許多ナリト雖モ此壓制ナル租稅ト並行シテ増加ノ傾向即チ増加ノ割合ハ未來ニ向ツテ保存サル、モノ、如シ租稅ノ増加ノミナラス借財ノ増加ニ導ヒク所ノ地方費用ノ現在ノ組織ハ屢ハ消費サレシ金錢ノ著ルシキ部分ハ永久ノ工事ニ拂ヒタルモノナルカ故ニ一度拂ヒタル出費ハ消滅ス可キモノニアラストノ基礎ニ於テ保護サル、所トナレリ然レモ地方出費ノ此成長ニシテ最後ノ四十年間永續シタリト思考スル傍ヲニ地方ノ出費ニ關シテノ施政法及ヒ一般ノ政略ヲ根本ヨリ變化スルニアラサルモ其成長ヲ妨クルヲ得可シト想像スルヲ以テ道理ニ合スルモノトナス可キ乎現今尤モ充分ニ證明サル、如ク地方政府ノ成立スル組織ハ格段ニ經濟ニ向ツテ尤モ効用アル或ル安全ヲ怯弱ナラシメ而シテ施政上ノ効力ノ保證ヲ破壞スルモノ、如シ數

兩立セサル  
割合ノ別異  
ノ面積ニヨ  
リテ惹起サ  
レタル混雜

年以前ニ地方政府ノ長官ニヨリテ記載セラレタル言ニ曰ク「地方政府ニ關シテ混雜ナルトアリ割合ニ關シテ混雜ナルトアリ而シテ租稅ノ面積ニ關シテハ凡百ノ事物ヨリハ猶害惡ナル混雜アリ唯是ノミナラス思考スルヲ得可キ租稅徵收ノ種々ノ形體ヲ種々ノ面積ヲ支配セル種々ノ地方政府ニヨリテ使用スル所トナレリ」ト此記載ハ決シテ廣大ノモノニアラサルトハ左ノ實事ニヨリテ澤山ニ證明スルヲ得可シ「田舎地方ニ於テハ通例割合ノ三個ノ面積アリ細小ナル法廷ニ關セル區分、官道ノ地方、及ヒ貧民救助法ノ連合教區是レナリ此三個ノ面積兩立セスシテ各自ヲ壓倒シ非常ノ混雜ヲ生スルトナキニアラス一千八百七十年ノ報告ニ於テ衛生委員カ左ノ說ヲ公布セリ「結果ハ地方政府ノ妨害ト消耗ノ最大ナルモノニシテ金錢及ヒ効力ノ極度ノ損失ヲ呈セリ」ト都府ニ於テ若シ出來可キモノナラハ諸物ノ有様ハ田舎ヨリハ害惡甚クシキトナル可シ例ヘハ撰舉區ニ於テ三個ノ別異ノ割合ヲ賦課スル政府アリトノ通例ニ興起スルナル可シ即チ警察局、都府評議役、及ヒ地方衛生局是レナリ此等ノ近時ノ立法ニ第四ノ者ヲ附加スルヲ得可シ何トナレハ學務局ハ割合ヲ徵收ス可キ權利ヲ保有



且割合ナ  
取スル権力  
ヲ有スル種  
々ノ体ノ無  
數ニコリテ  
起リタル混  
雜

スレハナリ亦田舎ノ支配人カ田舎ノ目的ニ向ツテ都府ノ人民ヨリ割合ヲ徴收セリ此等ノ種々ノ政府カ別異ノ時限、別異ノ官署ノ位置、及ヒ屢ハ別異ノ拂ヒノ規則ニヨリテ割合ヲ徴收セリ許多ノ場所ニ於テ都府ノ評議役カ警察ニ注意シ種々ノ委員ヲ命ジ撰舉區ノ割合ヲ賦課シ揚水器械ヲ支配シ且水道ノ割合ヲ徴收スルヲアリ地方衛生局ハ道路ヲ支配シ道路維持ノ割合ヲ徴收シ且凡白ノ衛生上ノ事務ヲ支配セリ時トシハ若シ揚水器械及ヒ瓦斯製造處カ都府ニヨリテ所持セラル、其ハ一ハ都府評議役ニヨリテ支配サレ他ハ地方衛生局ニヨリテ支配サル、トアリ都府評議役及ヒ地方衛生局カ精密ニ同一ノ人民ヨリ組織セラレタルトテ殆ント信ス可カラサルトナラン實際都府評議役及ヒ地方衛生局ハ名ハ異ナレモ同一体ニ相違ナカル可シ若シ此体ニ二個ノ別異ノ名稱ヲ賦與シタル結果ハ割合カ別異ノ時限ニ於テ官署ノ別異ノ位置ニ於テ徴收セラル、モノナリトノトヲ記憶スレハ斯クテ不要用ニ創造セラレタル混雜ハ如何ニ無量ノモノナルカヲ想像スルト容易ナリ都府評議役ニヨリテ徴收セラレタル撰舉區ノ割合ハ或ル場合ニ於テハ警視局ノ權力ニヨリテ徴收シタル貧民ノ割合ヨリ拂ハ

絶ハス増加  
ノ混雜  
ノ地方機

ル、トアリ他ノ割合例ヘハ墓地ノ割合ノ如キ及ヒ田舎狂人隠匿ノ場所ノ拂ヒノ如キモ貧民ノ割合ヨリ拂ハレタリ衛生局ハ一般ノ地方ノ割合及ヒ瓦斯電氣ノ如キ光輝ノ割合ヲ徴收セリ一般ノ地方ノ割合ハ公共衛生條例ノ下ニ在ル凡百ノ割合ノ如ク市場ノ公園及ヒ鐵道ノタメニ七十五「セント」ノ免除ヲ以テ賦課セラレタリ此等ノ免除ハ撰舉ノ割合或ハ貧民ノ割合ニハ決シテ適合セサルナリ此組織ノ改良セラル、トナク附加セラレタル混雜ハ絶ヘス組織ノ上ニ蓄積スル所トナレリ近時立法ノ固有ノ性質ニシテ新規ノ割合ヲ成立セシムルニ速カナルカ如ク若ルシキモノハ一モ之レアラサル可シ時々刻々種々ノ企ヲ設ケテ人民ノ社會ノ有様ヲ改良セントスルニ際シ公共ニヨリテ賛成スル所トナリシ此等ノ各個ノ企テニシテ立法上ノ認可ヲ得ルニ從ツテ新規ノ割合ヲ創造シ以テ國內ニ其企テノ紀念ヲ留ムルト屢ハナリ斯クテ比較シテ些少ノ時限ノ中ニ國會カ成立セシメタル新規ノ割合ハ左ノ如シ即チ埋葬局割合、公共書齋館及ヒ博物館ノ割合、一般地方ノ割合、水道ノ割合、教區改良ノ割合、動物傳染病ノ割合、撰舉區狂人隠匿所ノ割合、撰舉區書齋館及ヒ博物



館ノ割合。撰舉區洗滌及ヒ洗濯場ノ割合。撰舉區改良ノ割合。撰舉區埋葬局ノ割合是レナリ

教育ノ割合

一千八百七十年ニ於テ初步教育條例ノ可決以後人民ヲ教育スル費用ノ著ルシキ部分ハ割合ニ屬セリトノ實事ニ關シテハ既ニ説明スル所トナレリ教育上ノ見界ヨリシテ學校ノ割合ヲ思考スルハ本論ニ關セサルコトナリ然レモ地方稅ノ關スル所ヨリ學校ノ割合ヲ論述スルコト必要ナル可シ若シ今日一般ノ自由教育ノタメニ強盛ニ顯ハシタル宣言ニシテ許容セラル、ナラハ現今ノ學校ノ割合ハ限リナク増加スルコトナラン若シ自由教育ニシテ一致セラル、ナラハ力役社會ニ共教育ヲ限ルコト出來可カラサルコトナラン何トナレハ若シ一週間ニ三二ポンドヲ得ル職人ニシテ其小兒カ學校ノ費用ノ拂ヒヲ受クルナラハ小賣商人、貧困ノ書記、月給ノ半額ヲ給セラル、官吏、僧侶及ヒ其他熟練シタル許多ノ器械士ニヨリテ得ルヨリハ多カラサル歳入ナルモ尊敬ス可キ風致ヲ有スル人ノ如キニ同一ノ特權ヲ嫌忌スルヲ得可カラサレハナリ且自由教育ニ向テノ此需要ハ速カニ擴張セル勢力ヲ施行ス可キ運命ヲ有スル感覺ノ遺棄ニ外ナラ

自由教育

割合ノ上ニ絶ヘズ増加スル富ハ英國ノ富ハ至大ナルカメニ經濟ハ無用ナリトノ説ニ

サルコトヲ心中ニ記憶スルコト必要ナリ一己人ハ自己ヲシテ許多ノ嗜好及ヒ許多ノ必要ヲ満足セシムル如キ金錢上ノ補助ニ向ツテ一般ノ社會ヲ觀察セサル可カラストノ主義ヲ補助スル主張ナラハ今日之レヲ補助スル傾向ハ益々成長スルコトヲ感セサル人ハ殆ント之レアラサル可シ自由教育ハ今日小兒ニ向ツテ必要ナリト公布セラレタル其教授ニ向ツテ父母ハ他人ニ出費セシムルヲ得ルコトナラン政府ノ移住ニヨリテハ他國ニ人民ノ移住ノ費用ヲ他人ニ賦課スルヲ得ルナラン近時吾カ貧民救助法ヨリ發生シタル局外ノ組織ハ小兒ヲ放棄スルヲ嗜好セシ人々ニ小兒ハ健壯ナル田舎ノ家屋ニ於テ注意シテ養育シ職人ノ多數カ其眷族ニ向ツテ得ルヨリハ許多ノ愉快ヲ得ルコトナラントノ保証ヲ與フルヲ得ヘシ

今日公共ニヨリテ論述サレタル社會改良ノ主意ニレテ地方稅或ハ國稅ノ増加ヲ要スル主張ト結合セサルモノハ殆ント之レアラサル可シ廣大ナル公共ノ費用ヲ含蓄シタルメニ地方稅或ハ國稅ノ廣大ナル増加ニ導ク所ノモノニシテ絶ヘズ出頭セシメラレタル種々ノ工事ニ就テハ既ニ格段ナル注意ヲ示視シタリ此主張ハ疑ヒモナク強盛ニ英



リテ獎勵サ  
ルハ所トナ  
レリ

此説ノ基礎  
ナトハリハ  
ナトハリハ  
ニヨリテ例  
可シルヲ得

國ノ如キ廣大ナル迅速ヲ以テ富、蓄積サル、邦國ニ於テハ費用ノ増加ノタメニ危難  
ノ起ルヲアラストノ流行セル感情ノタメニ獎勵セシメラル、トナル可シ此故ニ此格  
段ナル點ニ數語ヲ言フコト尤モ大切ノコトナラン第一ニ既ニリパブルニマテナシタル  
説明ニ於テ引用シタル或ル統計表ヲ再思スレハ王國ニ於テ確カニ尤モ富榮ナル其都  
府ナルニモ拘ハラズ地方ノ費用ハ遙カニ其都府ノ富及ヒ人口ノ増加ノ著ルシキ一比  
較レテ秀越セルコトヲ望見スルナラン各人民カ以前ヨリハ甚々廣大ナル金額ヲ拂フノ  
ミナラス且財産ハ甚々重キ割合ヲ負擔スルニ到レリ都府カ甚々富榮トナルニ從ツテ  
今日各人民ヨリ徵收スル一「ポンド」六「シルリング」七「ペンニー」ノ仕拂ハ一千八百  
四十一年ニ於テ拂ハレタル七「シルリング」ノ仕拂ノ如ク廣大ナル犠牲ヲ顯ハシタル  
モノト謂フ可カラスト疑ヒモナク論述セラル、トナラン然レトモ斯ノ如キ議論ハ誤謬  
ノモノナリ甚々有害ナル結果ヲ生スル者ナリトノコトヲ證明スルコト困難ノ業ニアラス  
此事ヲ證明センカタメニ尤モ繁榮ナル都府ト雖ト非常ニ貧困ノ有様ヲ有スル數千人  
ノモノヲ見出スルハ正確ノモノナリトノコトヲ心中ニ記憶スルコト必要ナル可シ現時ノ

割合增加ス  
ルニ從ツテ  
貧民増加ス

斯ク著ルシキ國質ナル富ノ巨大ナル蓄積ハ不幸ニシテ貧民ニ於テ生活スル至大ノ數  
ヲ防禦スル能ハサルナリ今貧困ノ淵ニ臨ミタル人幾千ナルヤヲ知ル可カラズ此故ニ  
救區ノ救助ヲ受領スル人民ト受取ヲサル人民ノ間ニハ金錢上ノ依頼ニ於テハ著ルシ  
キ差違アリト想像スルハ誤謬之レヨリ甚々シキハナカル可シ或ル不幸ナル事情即チ  
商業ノ不景氣或ハ食物ノ欠亡ノタメニ貧民ノ數中ニ入ル可キ附加ノ數千人カ救區ヨ  
リ救助ヲ受ク可キ理由ノ必要ニ抵抗センカタメニ行ハレタル競争ハ非常ニ精密ニシ  
テ且嚴重ナルカタメニ其爭論ノ發出モ一見スレハ勢力甚々些少ナルカ如キ或ル事情  
ノタメニ決定セラル、ヲ得可レトノ争フ可カラサルノ証據ヲ賦與スルモノト謂フ可  
シ依頼ト獨立トノ中間ノ平準ハ一髮ノ重力以テ量皿ヲ覆サレムルニ足ルカ如ク精細  
ニ整理セラレタリ實際吾人ノ貧民ノ現今ノ有様ヲ知認スル人ハ割合ニナサレタル附  
加ハ吾人カ今論述セン競争ヲ行フ人ノ抵抗力ヲ衰弱セシムルモノナリトノ説ニ反對  
スルコト稀少ナル可シ此故ニ割合ノ各増加ハ貧民ヲ増加ス可キ傾向ヲ生セサルヲ得ス  
此カタメニ地方費用ノ成長ト結合セル尤モ嚴シキ思考ノ一ヲ了知セシム可シ何トナ



レハ或ル器具アリテ經濟上ノ勢力ヲ行ハンカタメニ働カサル、ニアラスンハ現時ニ於テ廣大ナル費用ハ未來ニ向ツテ猶廣大ナル費用ヲ創造スルナラントノヲ証明スレハナリ許多ノ器具アリテ現今ノ地方ノ費用ヲ減少シ未來ニ於テ其増加ヲ防禦センカタメニ行ハル、ヲ得ルヲハ疑、可カラサルヲナラン種々ノ割合ヲ結合セシメ地方施政ニ集合ヲ導クノ必要ナルヲハ既ニ之レヲ説明セリ又地方ノ資金ニ新規ノ需要ヲナスノ傾向ニ反シテ保護注意スルノ必要ヲ主張シタリ然レモ猶遙カニ論述スル前ニ當リ今日許多ノ補助ヲ受ケタルモノニシテ其結果タルヤ至大ノ經濟ヲ獎勵セスシテ地方出費ノ至大ノ擴張ヲ生出ス可キ種々ノ主張ニ就キテ數語ヲ言フヲ願ハシキトナレ可シ

絶ヘス種々ノ費用ヲ地方ノ資金ヨリ帝國ノ資金ニ移轉セシム可キヲ主張セリ例ヘハ一國ノ貧民ノ割合ヲ主張スル許多ノ人民アリ而シテ一千八百七十二年ニ於テ下院ハ大多數ニヨリテ狂者及ヒ警察ヲ維持スル費用ノ著ルシキ部分ハ帝國ノ貯蓄金ニヨリテ保有セラレサルヲ得サルヲ確定セリ此目的ニ向ツテ帝國ノ貯蓄金ヨリ今日

何故ニ帝國  
貯蓄金ヲ以  
テ地方ノ負  
担ヲ救助ス  
ル可カラサル  
ヤノ理由

(一千八百八十三年)投票サレシ金額ハ一年ニ三百七十九万三千五百「ポンド」ヨリハ些少ナルヲナシ斯ノ如キ主張ハ二個ノ區別サレタル思考ノ位置ヲ了知セシムルヲ明カナリ即チ政治上ノ思考及ヒ財政上ノ思考是レナリ勿論此主意ヲ政治上ノ見堺ヨリ此處ニ於テ論述スルハ不相當ノヲナラン政治上ノ點ヨリ此疑問ヲ論スルハニ當リ唯々地方ノ資金ヨリ帝國ノ資金ニ費用ノ移轉ハ必ス地方自治ノ主義ヲ薄弱ナラシムルトノヲ記載スルヲ要ス政府ニヨリテ用意セラレタル金錢ハ勿論政府ニヨリテ支配セサル可カラス地方政府ニヨリテ支配サル可キ者ニアラサルナリ地方自治ノ主義ハ人民ノ中ニ自信ノ精神ヲ惹起セシメ吾人ヲシテ極度ノ正確ヲ以テ中央集權ノ傾向ニ向ツテ抵抗ヲ試ロシムルヲ得可シ然レモ若シ地方ノ割合ヨリ帝國ノ貯蓄金ニ費用ヲ移轉シテ絶ヘスナサレタル需要ニ若シ許容ヲ與フルナラハ之レヨリ起ル所ノ廣大ナル危難ヲ純粹ノ財政上ノ思考ヨリ顯ハスヲ困難ニアラサル可シ想像ス可キ如何ナル工事ニテモ斯ク有力ニ經濟ニ向ツテノ保証ヲ怯弱ナラシムルモノハ之レアラザル可シ地方ニシテ若シ興起スルヲ得可キ或ル出費ヲ負擔セサル可カラサルヲ知認



セラル、ナラハ各地方ハ經濟ノタメニ利益ヲ受クルヤ必セリ然レモ若シ公共ノ金銭ニシテ消費サル、ナラハ金銭ニ向ツテ規定セル競争アルナル可シ而シテ各都府及ヒ各地方ハ成ル可ク此金銭ノ廣大ナル割合ヲ得ルニヨリテ直接ノ利益ヲ受クルモノナルヲ思考セリ理論上ノ經濟ト實際ノ經濟トノ中間ニハ尤モ廣キ區別アルモノナリ  
 權舉區ノ權舉ヲ求ムル候補人ハ公共ノ金銭ノ費用ヲ儉約ス可キヲ主張スレハ喝采ノ聲四邊ニ響應セシムルヲ得可シ而シテ同時ニ若シ候補人カ自己ノ權舉區ニ向ツテ或ル全ク不必要ナル地方ノ工事ニ消費センカタメニ公共ノ金銭ノ賜與ヲ得セシムルナラハ此喝采ハ禁止セサルノミナラス之レニ反シテ大ニ増加スルヲアルハ又奇異ノトト謂フ可シ經驗ヨリシテ益々人民ノ大部ハ金銭ヲ帝國ノ貯蓄金ヨリ除去スルハ猶水ヲ無盡ノ泉水ヨリ除去スルニ異ナラスト思考セリトノ説ヲ確定スル所トナレ  
 リ流水ハ絶ヘス混々トシテ流れ水ヲ貯蓄スルニ一ノ勤勞、一ノ犧牲ヲ要セスト想像スルモノ、如シ然レモ帝國ノ貯蓄金ハ富ノ泉水ナラサルノミナラス被稅者ノ囊裡ヨリ取去ラスンハ一シルリング一モ得ル能ハサルヲ記憶スルナラハ地方ノ出費ヨリ

帝國ノ貯蓄金ニ移轉セシムルトハ巨大ナル出費ニ導ヒクカタメニ租稅ノ全額ヲ減少セサルトハ直チニ明瞭タルトナラン

租稅ニ關シテ宣言セル許多ノ説ノ思考ナキ著ルシキ例証ヲ舉ケンニ熱心ニ地方ノ費用ヲ帝國ノ貯蓄金ニ移轉セシメントシテ冀望スル人ハ同時ニ「自由ナル朝飯表」及ヒ所得稅ノ不相當ナル反覆ニ向ツテ一様ナル熱心ヲ顯ハセリトノヲ記載スルヲ得可シ若シ地方出費ノ二百萬「ポンド」カ帝國ノ貯蓄金ニ移轉セラル、トアラハ此資金ハ増加セラレタルトナラントノヲ証明スルニハ一時ノ思考ヨリシテ充分ナラントノヲ思考スルヲ得可シ金銭ハ天ヨリ降ルモノニアラス金銭ノ得ラル可キ道ハ唯一アリ  
 租稅ヲ徵收スルト是レナリ然レモ若シ租稅ニシテ増加セラル、ナラハ所得稅ノ如キ直稅ハ増加セラレサルヲ得ス或ハ商品稅ノ如キ間稅モ政府ノ歲入ニ許多ノ金銭ヲ得ル如クニ爲サレサルヲ得サルナリ



第七章

地方税ノ偶事

凡百ノ地方税ハ二三ヲ除クノ外陸地、家屋及ヒ職業ニ使用スル建築ノ上ニ割合ヲ賦課スルノ外ニ出テス我輩ノ言フ所ロノ例外トハ或ル通行税及ヒ給料ノ如キモノ是レナリ而シテ僅少ノ場合ニ於テハ或ル商品即チ論噸ニ於テハ穀物、石炭、及ヒ清酒ノ如キ商品カ些少ノ地方税ヲ賦課セラレタリ然レモ通行税或ハ給料ノ如キハ區別レタル補助ニ向ツテ拂ハレタル價直ナルカ故ニ之レヲ地方税ト思考スルハ困難ナリトノ一屢ハ興起スルナル可シ斯クテ市場進行税ハ市場ノ用意セル便利ノタメニ拂ハル、者ナリ之レニ同シク港灣ノ給料ハ船積ヨリ得タル便利ノタメニ拂ハル、ナリ此通行税及ヒ給料ニシテ市場ノ創造或ハ港灣ノ構造ニヨリテ起リタル出費ニ相當ノ價ヒヨリハ許多ノ金錢ヲ徴收セサルヲアラハ適當ニ協同財産者ニ拂ハレタル地代金トシテ望見スルヲ得可シ斯ノ如キ場合ニ於テ此出費ヲ租税ト思考スルノ不當ナルハ猶電信或ハ郵便ニ向ツテ拂ヒタル全價ヲ租税トシテ思考スルニ異ナラサル可シ既ニ記載セシ

論噸ノ租税及ヒブリートン及ヒ僅少ノ他ノ都府ニ於テ石炭ニ賦課シタル些少ノ租税ヲ除去スレハ英國ニ於テ地方税ヲ賦課セラル、商品ノ場合ハ殆ント之レアラサルナリ地方歳入ノ得ラル、所ロノ割合ノ外ニ歳入ノ他ノ原因ハ共同ニヨリテ有シタル陸地ノ財産及ヒ家屋ノ財産ノ或ル額高ヨリ成立セリ此財産ノ精密ナル額高ヲ確知スルト非常ニ困難ナルカ故ニ其財産ノ支配ト結合セル許多ノ疑問ニ就キテ甚々注意シタル吟味ヲ要セサルヲ得ス論噸ノ地方税ニ關シテハ一千八百六十八年ニ於テ地代及ヒ財産ノ賣却ニヨリテ得タル金額ハ五十八万「ポンド」ノ下ニアリシトテ望見スルヲ得可シ財産ノ地代及ヒ財産ノ賣却ヨリ得タル金額ヲ斯ク合一セサル可カラストハ確カニ稍ヤ奇異ノトト謂フ可シ論噸ニ於テ未來ノ財政上ノ位置ニシテ如何ナル割合ニ於テ共同ノ財産カ賣却サレ通例ノ歳入ニ附加セラル、カヲ決定スルカ如ク廣大ナル實際ノ利益ヲ所持スルノ疑問ハ殆ント之レアラサル可シ容易ニ了解ス可カラサル或ル道理ノ主張サル、ニアラズンハ若シ論噸ニ於テ財産ノ價直ハ迅速ニ騰貴スルモノナルヲ記憶セシハ財産ノ此賣却ヲ正當ナラシムルト困難ナルモノ、如ク然リ



地方税ハ殆  
ント不動産  
ノ上ノ割合  
ヨリ成立ス

地方ノ租税ハ殆ント不動産ノ上ニ賦課シタル割合ヨリ成立スルノミナラス現今ノ組  
織ニ於テハ若シ地方税ヨリ歳入ノ増加ヲ得ルテ必要ナラハ此割合ノ外他ニ依頼ス可  
キモノアラサルヲ記憶スルテ大切ナリ斯クテ論議ノ費用増加スルニ從テ之レニ應  
センカタメニ地方政府ハ割合ヲ増加スルノ權力ヲ有セリ然レモ地方政府ハ國會議院  
ノ格段ナル條例アラスンハ石炭ノ上ニ租税ヲ増加スル能ハサルナリ商品ノ上ニ或ル  
新規ノ租税ヲ賦課スル能ハサルナリ此一事ヨリシテ直チニ帝國ノ財政ト地方ノ財政  
トノ中間ニハ著要ナル區別アルヲ了知セシムルニ到ル可シ若シ國費ニシテ増加スル  
ナラハ要スル所ノ附如ノ歳入ハ許多ノ異ナレル方法ニ於テ得ラル可シ或ル成立ス  
ル租税ヲ増加シ新規ノ租税ヲ賦課スルヲ得可シ然レモ地方ノ費用ノ増加ニ應センカ  
タメニ必要ナル附加ノ歳入ハ陸地、家屋及ヒ建築物ノ上ニ増加セル割合ヲ賦課スルニ  
ヨリテ得ラル可シ各租税ハ其租税ニ固有ノ不公平ヲ所持セリトノハ既ニ之レヲ陳  
述シタリ租税ト或ル格段ナル不利益即チ不正ノ結合セルハ正確ノト謂フ可シ斯ク  
テ所得税ト結合セル許多ノ偽詐ヲ排斥スルニ甚ク難シ精密ナル金額ヲ知認スル能ハ

サル許多ノ所得ハ屢ハ其所得ノ拂ハサル可カラサルヨリハ些少ノ金額ヲ拂フアリ  
而シテ之レカタメニ資金及ヒ月給ヨリ得タル所得ノ如キ精密ニ知認スルヲ得可キ所  
得ノ上ニ附加ノ負擔ヲ與ヘスンハアラヌ若シ所得税ト結合シテ偽詐ヲ施行スルヲ  
ラスンハ「ポンド」ニ五「シルリング」ノ租税ハ今日「ポンド」ニ六「シルリング」ノ租  
税ニヨリテ得ラル、モノト同一ナラントノ「ハ實事ニ近キ」ナル可シ商品税ニ屬ス  
ル重要ナル不公平ハ甚ク別異ノ原因ニ基ツケリ斯クテ茶ノ上ニ賦課シタル租税ノ如  
キハ價直ニ比例シテ租税ヲ賦課スルヲ能ハサルヲ顯ハセリ此故ニ茶質ノ廉價ナル  
モノハ富人ニヨリテ消費セラル、費用多キ茶ヨリハ三倍乃至四倍ノ重税ヲ賦課セラ  
ル、ニ到レリ此故ニ若シ所得税或ハ茶税ニシテ附加ノ歳入ノ必要ナルキニ増加セラ  
ル、ナラハ我輩カ以前ニ顯ハセシ如ク歳入ヲ得ル各規則ニ附屬セル格段ナル不公平  
ノタメニ尤モ影響セラル、人々ハ例外ニ不相當ニシテ不利益ナル位置ニ置カル、ナ  
ラントハ明瞭ナリト謂フ可キナリ

若シ地方税ノ偶事ニシテ吟味セラル、ナラハ各租税ニ附着スル格段ナル不公平ニ關







此等ノ數字ハ著ルシキ區別ヲ以テ陸地ノ他ノ財産ト比例シテ絶ヘス地方税ニ減少スル金額ヲ拂ヘルコトヲ証明スルモノト謂フ可シ斯ノ如キ歸結ハ一般ニ信認セラレタルモノト異リト雖モ甚タ明瞭ナル説明ヲナスヲ得可シタトモ既ニ説明セル時限即チ一千八百六十八年ニ到ルマテハ陸地ノ價直絶ヘス増加セント雖モ分量ニ制限アルカタメニ陸地ノ全價直ニナシタル附加ハ無量ニ増加セラル可キ家屋及ヒ建築物ト比較シテハ甚タ些少ナリ此故ニ陸地ノ拂ハル、金額ニヨリテ陸地ノ價直ヲ算定スレハ一千八百十四年ト一千八百四十三年ノ間其價直ノ増加ハ十四「ベルセント」ナリ一千八百十四年ト一千八百六十八年ノ間其價直ノ騰貴ハ二十八「ベルセント」ナリ家屋ハ同時限ノ間價直ノ増加ハ百三十八「ベルセント」及ヒ三百五十六「ベルセント」ニ減セヌ而シテ財産ノ他ノ種類ノ價直ノ増加ハ各々四百二十八「ベルセント」及ヒ一千七百二十七「ベルセント」ナリ

多年ノ間公然ト貧民救助局ト結合シ統計家ヲ以テ有名ナリシバルテイ氏ハ甚タ注意シタル吟味ノ後家屋及ヒ財産ノ他ノ種類ニヨリテ拂ハル、金額大ニ増加シタルカ

メニ一千八百六十四年及ヒ六十五年ニ於テハ一千八百五十一年乃至五十二年ニ反シテ十〇、三「ベルセント」カ陸地ヨリ經過シテ他ノ拂ハル可キ財産ノ上ニ注入セリトノコトヲ記載セリ此故ニ地方費用ノ絶ヘス増加スル割合ハ家屋占有者ニヨリテ拂ハル、モノニシテ陸地ノ所有者ニヨリテ負擔スルモノニ非ラサルコトヲ望見セラル可シ陸地ハ地方税ヲ以テ不相當ニ負擔セシメタルモノナレハ陸地ノ所有者ニ救助ヲ與フルニ帝國貯蓄金ヲ以テス可レト主張スル人ノ需要ニ一致スルコト正當ノモノナルカ或ハ然ラサルカヲ吟味セント欲スル時ニ際シ此歸結ヲ注意ノ心中ニ保有スルコト必要ナリ陸地ノ所有者及ヒ耕作カ地方税ノ現在ノ組織ノタメニ格段ナル困難ニ服從セルコトヲ屢ハ記載スル人ハ割合ハ一般ニ田舎ニ於テハ都府ノ地方ヨリ甚タ低下ナリトノコトヲ明カニ忘却スルモノト謂フ可シ再ヒ地方税ト題スルバルグレーブ氏ノ書ニヨリテ見ルニ氏ハ各地方ニ向ツテ平均ノ割合ヲ顯ハシテワイルサイヤニ於テハ三「シルリング」十一「ペンニー」二分ノ一、サルスバリーニ於テハ七「シルリング」十一「ペンニー」一「サイヤ」ニ於テハ二「シルリング」九「ペンニー」四分ノ三、チエスターニ於テハ五「シ







轉スルニヨリテ凡百ノ割合ヲ廢止ス可キ條例ノ可決セラレタルトアリト想像セヨ若シ農夫ニシテ年々借地人ナリシナラハ地主ハ自然ニ農夫ニ向ツテ言フナラシ「汝ハ今凡百ノ割合ヨリ免除セラレタリ而シテ汝カ斯克テ貯蓄セシ一年ニ二百「ポンド」ハ附加ノ地代トシテ余ニ拂ハサル可カラス」ト若シ借地人ニシテ此附加ノ地代金ニ反對セシナラハ地主ハ或ル他人ニ向ツテ此附加ノ地代金ヲ得ルニ於テ少シモ困難ナキトナラン而シテ之レカタメニ耕作上ノ生産物ノ價直又ハ耕作セシ陸地ノ費用ニ影響スル者アラサル可シ而シテ一年ニ一千二百「ポンド」ニ於テ貸與セシ田地ハ借地人カ地代金トシテ一年ニ一千「ポンド」ヲ仕拂ヒ割合トシテ一年ニ二百「ポンド」ヲ仕拂ヒタル時ノ如キ廉價ニシテ廣大ナル利益ヲ得ルコトナラン若シ農夫ニシテ毎年ノ借地人ニアラスレテ或ル年間陸地ヲ保有セシモノナラハ地主ハ割合ノ免除セラレタル陸地ヨリ貯蓄ノ結果ヲ自己ニ得ルコト能ハサルモ地主ハ貸與セシ年數ノ終リタル後ハ其利益ヲ得ルニ到ルコトナラン此故ニ若シ割合ニシテ廢止セラル、ナラハ利益ハ早晚耕作者ニアラスシテ地主ニヨリテ得ラル、モノナルヤ明カナリ同一ノ道理ヨリシテ若シ割合ニ

地ノ上ニ  
合ハレ  
ハ地主  
ノ利益  
ハ割合  
ノ上ニ  
テアリ  
ス

シテ減少セラレタルナラハ地代ハ結局精密ニ割合ノ減少ニ一様ナル金額ニヨリテ増加セラル、モノナラントノトハ直チニ証明スルヲ得可シ然レモ若シ約束期限ノアルナラハ地代ハ其期限ノ免除スルマテハ増加スルヲ得ス此故ニ其期限ノ間ニハ借地人ハ自己ニ減少ヨリ起ル利益ヲ得ルコト可シ此故ニ若シ借地農夫ニシテ拂ハル、割合ノ金額ノタメニ地主ノ利益ヲ得ル如ク同一ノ利益ヲ得ルモノナリト想像スルハ誤レルノ甚クシキモノト謂フ可シ地代ニシテ若シ全ク競争ノタメニ規定サル、モノニシテ少シモ習慣ノタメニ規定サル、モノニアラスンハ割合ノ増加ハ年々借地人タル農夫ニハ損失ヲ取ルモノニアラス割合ノ減少スルモ利益ヲ受クルモノニアラス約束期限ノ間保有セル耕地ノ場合ニ於テハ割合ノ増加ヨリ起ル負擔ノ非常ナルハ其期限ノ經過スルニ到ルマテ農夫之レヲ受ケサルヲ得ス猶明瞭ニ割合ハ眞實ニ陸地ノ占有者ニヨリテ拂ハル、モノニアラス然レモ地主ニヨリテ拂ハル、モノナルトテ顯ハサンカタメニ恐クハ稍ヤ相違セル見塚ヨリ此疑問ヲ思考スルコト願ハシキトナラン或ル林段ナル時限ニ於テ工業ニ相當セル利益ハ或ハ割合アルトハ熟知セラレタル經濟學